



取扱説明書

ビジネスプロジェクター

EB-U32

EB-S31

EB-W31

EB-W420

EB-X36

EB-S04

EB-X31



マニュアル中の表示の意味

プロジェクターを使用する前に

本機の特長	8
かんたん投写	8
らくらく無線投写	8
柔軟な接続性	9
コンピュータと接続する	9
モバイルデバイスと接続する	10

プロジェクターの各部名称と働き	11
プロジェクターの各部名称 - 前面	11
プロジェクターの各部名称 - 背面	12
プロジェクターの各部名称 - 底面	13
プロジェクターの各部名称 - 操作パネル	14
プロジェクターの各部名称 - リモコン	15

プロジェクターを準備する

プロジェクターの設置	19
プロジェクターの設置・取り付け	20
投写距離	20

プロジェクターを接続する	22
コンピュータを接続する	22
コンピュータケーブルを接続して映像と音声を入力する	22
USBケーブルを接続して映像と音声を入力する	23
HDMIケーブルを接続して映像と音声を入力する	24
スマートフォン・タブレット端末を接続する	25
ビデオ機器を接続する	26
HDMIケーブルで接続する	26
コンポーネントビデオケーブルで接続する	27
S-ビデオケーブルで接続する	27

コンピュータケーブルで接続する	28
USB機器を接続する	29
USB機器のデータを投写する	29
USB機器を接続する	29
USB機器を取り外す	30
書画カメラを接続する	30
リモコンに電池を取り付ける	31
リモコンを操作する	32
レンズカバーを開く	33

プロジェクターの基本機能を使用する

プロジェクターの電源を入れる	35
ホーム画面	36
プロジェクターの電源を切る	38
メニューの言語を選択する	39
設置モードを選択する	40
リモコンで設置モードを変更する	40
メニューから設置モードを変更する	40
映像の高さを調整する	42
映像の形状を補正する	43
自動タテ補正	43
ヨコ補正スライダーで映像のゆがみを補正する	43
台形補正ボタンで映像のゆがみを補正する	44
Quick Corner機能で映像のゆがみを補正する	45



ズームリングで映像の大きさを調整する	48
ワイド・テレボタンで映像の大きさを調整する	49
フォーカスリングで映像のピントを調整する	50
投写映像を切り替える	51
映像のアスペクト比を設定する	53
映像のアスペクト比を切り替える	53
アスペクトモードの種類	53
各アスペクトモードの投写イメージ	54
カラーモードを設定する	56
カラーモードを変更する	56
カラーモードの種類	56
オートアイリスを設定する	57
音量ボタンで音量を調整する	59

プロジェクトターの便利な機能

2つの映像を同時に投写する	61
2画面投写できない入カソースの組み合わせ	62
2画面投写中の制限事項	63
PC Free機能で投写する	64
サポートファール形式	64
PC Free使用時の注意事項	64
PC Freeのスライドショーを開始する	65
PC Freeで動画を投写する	66
PC Freeの表示オプション	67

映像と音声を一時的に遮断する	69
映像を一時的に停止する	70
画面の一部を拡大表示する	71
リモコンでコンピュータのマウス操作をする	72
リモコンでポインターを表示する	73
ユーザーロゴを設定する	74
複数台のプロジェクトターから投写した映像の色差補正	77
プロジェクトターにIDを設定する	77
操作対象のプロジェクトターIDをリモコンで選択する	77
複数のプロジェクトターの映像品質を合わせる	78
セキュリティ機能	80
パスワードプロジェクトの種類	80
パスワードを設定する	80
パスワードプロジェクトの種類を設定する	81
パスワードを入力する	82
操作パネルのボタン操作を制限する	83
操作パネルのボタンロックを解除する	84
セキュリティキーボードを取り付ける	84

ネットワーク上のプロジェクトターを使用する

無線LANでの映像投写	87
無線LANユニットを取り付ける	87
プロジェクトターの無線LANを設定する	88
Windowsで無線LANを設定する	90
OS Xでの無線LANを設定する	91
無線LANのセキュリティを設定する	91
QRコードを使用してモバイルデバイスに接続する	93
クイックワイヤレスを使用する (Windowsのみ)	95



プロジェクトクターを監視および制御する

EasyMP Monitorについて	97
Webブラウザを使ってネットワークプロジェクトクターを制御する	98
メールでプロジェクトクターの異常を通知する	100
異常通知メールの見方	100
SNMPを使ってプロジェクトクターを監視する	102
ESC/VP21コマンドを使ってプロジェクトクターを監視・制御する	103
ESC/VP21コマンドを使用するための準備をする	103
ESC/VP21コマンドリスト	103
通信プロトコル	104

メニューの設定

プロジェクトクターメニューを操作する	106
ソフトキーボードを操作する	107
ソフトキーボードで入力可能な文字	107
画質メニュー	108
映像メニュー	110
設定メニュー	112
拡張設定メニュー	114
ネットワークメニュー	116
ネットワークメニュー - 基本設定メニュー	117
ネットワークメニュー - 無線LANメニュー	117
ネットワークメニュー - セキュリティメニュー	118
ネットワークメニュー - メールメニュー	120

ネットワークメニュー - その他メニュー	120
ネットワークメニュー - 初期化メニュー	121
節電メニュー	122
情報メニュー	124
情報メニュー - プロジェクトクター情報	124
Event ID一覧	125
初期化メニュー	126
メニュー設定を別のプロジェクトクターにコピーする (一括設定機能)	127
USBメモリーを使って一括設定する	127
USBケーブルを使って一括設定する	128
一括設定でエラーが発生したときは	129

プロジェクトクターをメンテナンスする

レンズを清掃する	132
本機を掃除する	133
エアフィルターと吸排気口をメンテナンスする	134
エアフィルターおよび吸排気口を清掃する	134
エアフィルターを交換する	134
ランプをメンテナンスする	137
ランプを交換する	137
ランプ点灯時間を初期化する	140
リモコンの電池を交換する	141



困ったときに

トラブルの対処方法	144
インジケータの見方	145
ヘルプの見方	148
映像や音声に関するトラブル	149
映像が表示されない	149
USBディスプレイの映像が表示されない	150
「映像信号が入力されていません」というメッセージが表示される	150
ノート型コンピュータから映像を出力する	151
Macのノート型コンピュータから映像を出力する	151
「この信号は本プロジェクトでは受けられません」というメッセージが表示される	151
映像の一部が表示されない	152
映像がゆがむ	152
映像にノイズが入る、乱れる	153
映像がぼやける	153
映像の明るさや色合いが違ふ	154
音が出ない、小さい	154
PC Freeで画像ファイル名が正しく表示されない	155
プロジェクター、リモコンの操作に関するトラブル	156
電源が入らない、予期せず切れる	156
リモコンで操作できない	156
パスワードが入力できない	157
ネットワークに関するトラブル	158
Webブラウザを使って設定を変更できない	158
異常が起きたときにメール通知されない	158
ネットワーク経由で投写した映像が乱れる	158

付録

オプション・消耗品一覧	161
オプション	161
消耗品	162
スクリーンサイズと投写距離	163
対応解像度	167
本機仕様	169
接続端子	170
外形寸法図	171
USBディスプレイのシステム要件	172
IEC60950-1 A2対応安全規格対応シンボルマーク	173
用語解説	175
一般のご注意	177
使用限定について	177
本機を日本国外へ持ち出す場合の注意	177
瞬低（瞬時電圧低下）基準について	177
JIS C 61000-3-2適合品	177
表記について	178
商標について	178
ご注意	179
著作権について	179




マニュアル中の表示の意味

安全に関する表示

本製品および取扱説明書には、製品を安全にお使いいただくために絵表示が使われています。人体への危害や財産への損害を防ぐために、次の絵表示で表記された説明は、内容をよくお読みいただいた上で、説明に従ってお取り扱いください。

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

一般情報に関する表示

注意	注意して取り扱わないと、本機の故障や損傷の原因となるおそれがある内容を記載しています。
	知っておくと便利な関連情報を記載しています。
【ボタン名】	リモコンまたは操作パネルのボタン名称を示しています。 例： 【戻る】 ボタン
[メニュー/設定名]	プロジェクターのメニュー、設定の名称を示しています。 例： [画質]メニューを選択する  [画質] > [アドバンスト]
関連項目	関連事項を記載しているページを示しています。
	関連事項や、より詳しい説明を記載しているページを示しています。

プロジェクターを使用する前に

本機の特長と各部の名称について説明します。

関連項目

- 「本機の特長」 [p.8](#)
- 「プロジェクターの各部名称と働き」 [p.11](#)

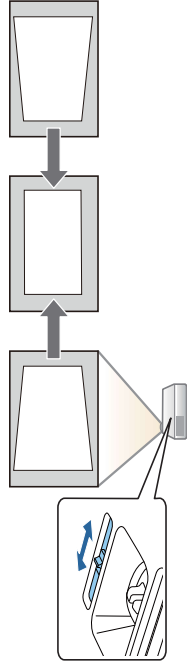
本機は、すばやく簡単に投写準備をすることができ、状況に応じてさまざまな機器と接続できる柔軟性を備えたプロジェクターです。

関連項目

- 「プロジェクターを使用する前に」 [p.7](#)
- 「かんたん投写」 [p.8](#)
- 「らくらく無線投写」 [p.8](#)
- 「柔軟な接続性」 [p.9](#)

かんたん投写

- 電源コードをコンセントに差し込むだけで本機の電源をオンにします（ダイレクトパワーオン）。
- 映像信号を検出して、自動的に本機の電源をオンにします。（オートパワーオン）。
- ホーム画面を使って、入力ソースやよく使う機能を簡単に選択できます。
- リアルタイムで自動的に投写映像のタテ方向のゆがみを補正し、常にゆがみのない映像を表示します（自動タテ補正）。
- ヨコ補正スライダを使って、投写映像のヨコ方向のゆがみをすばやく補正できます。本機をスクリーンに対して平行に設置できないときに便利です（スライド式ヨコ補正）。

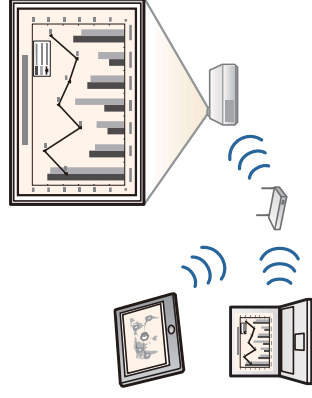


関連項目

- 「本機の特長」 [p.8](#)
- 「プロジェクターの電源を入れる」 [p.35](#)
- 「自動タテ補正」 [p.43](#)
- 「ヨコ補正スライダで映像のゆがみを補正する」 [p.43](#)
- 「Quick Corner機能で映像のゆがみを補正する」 [p.45](#)
- 「拡張設定メニュー」 [p.114](#)

らくらく無線投写

- EasyMP Network Projectionを使うと、ネットワーク経由で本機を共有し、ネットワークに接続したコンピューターの画面を投写できます。詳しくは、『EasyMP Network Projection操作ガイド』をご覧ください。



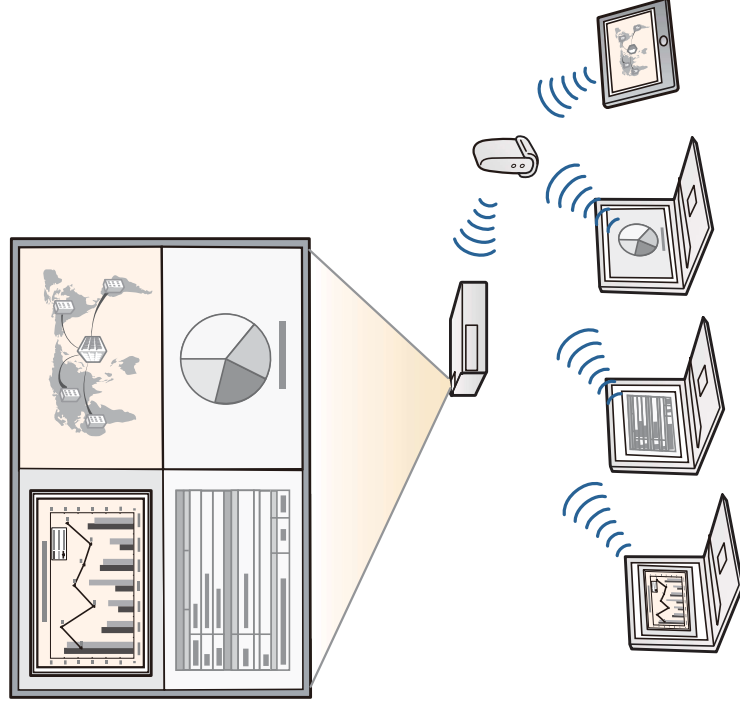
- Epson iProjectionを使うと、本機とモバイルデバイスが無線で接続できます。Epson iProjectionはApp Store、Google playからダウンロードできます。



App Store、Google playへ接続する際の通信料はおお客様の負担となります。



- EasyMP Multi PC Projectionを使うと、投写画面を分割して最大4つの画面を同時に投写できます。ネットワーク上のコンピューター、Epson iProjectionがインストールされているスマートフォンやタブレット端末の画面を投写できます。
詳しくは、『EasyMP Multi PC Projection操作ガイド』をご覧ください。



- 無線LAN経由で投写するときは、無線LANユニットを取り付けてから無線LAN設定をしてください（EB-W31/EB-X36/EB-X31/EB-S31/EB-W420/EB-S04）。お使いの機種によっては、無線LANユニットが同梱されていないことがあります。

- 無線LANユニットが内蔵されている機種では、無線LANユニットの取り付けは不要です（EB-U32）。
- 必要なソフトウェアおよび取扱説明書は以下のWebサイトからダウンロードできます。
<http://www.epson.jp/download/>

関連項目

- 「本機の特長」 p.8
- 「無線LANでの映像投写」 p.87
- 「QRコードを使用してモバイルデバイスに接続する」 p.93

柔軟な接続性

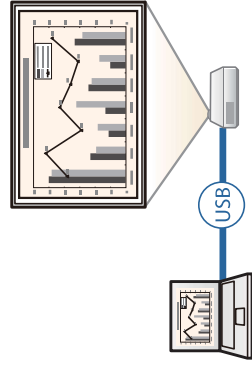
本機はさまざまな機器と簡単に接続ができます。

関連項目

- 「本機の特長」 p.8
- 「コンピューターと接続する」 p.9
- 「モバイルデバイスと接続する」 p.10

コンピューターと接続する

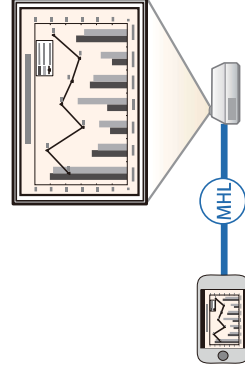
USBケーブルを接続して、映像の投写と音声の出力ができます（USBディスプレイ）。

**関連項目**

- 「柔軟な接続性」 p.9

モバイルデバイスと接続する

- 本機のHDMI/MHL端子とモバイルデバイスをMHLケーブルで接続できます。

**関連項目**

- 「柔軟な接続性」 p.9

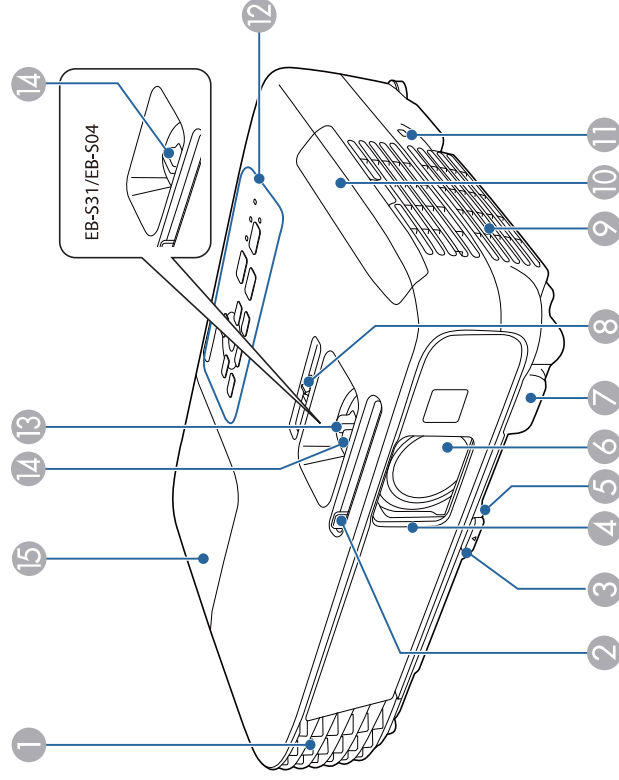
本機の各部名称とその働きについて説明します。

関連項目

- 「プロジェクターを使用する前に」 p.7
- 「プロジェクターの各部名称 - 前面」 p.11
- 「プロジェクターの各部名称 - 背面」 p.12
- 「プロジェクターの各部名称 - 底面」 p.13
- 「プロジェクターの各部名称 - 操作パネル」 p.14
- 「プロジェクターの各部名称 - リモコン」 p.15

プロジェクターの各部名称 - 前面

本書では断りがない限りEB-W420のイラストを用いて説明しています。



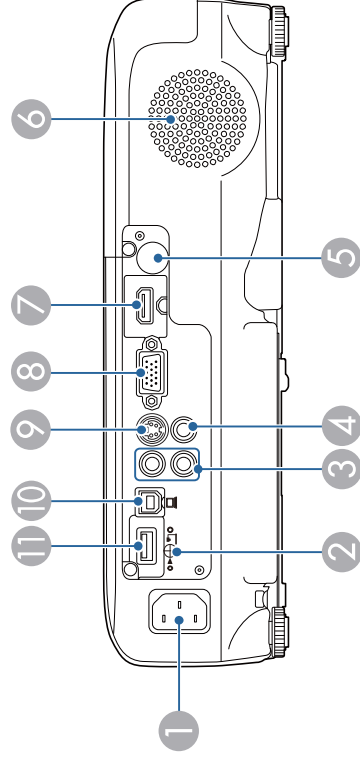
名称	働き
① 排気口	<p>本機内部を冷却した空気の吐き出し口です。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>警告</p> <p>排気口をのぞかないでください。ランプが破裂した場合、細かいガラス破片やガスが飛散して、けがの原因となります。万一、ガラス破片が目や口に入ったときは、直ちに医師の診断を受けてください。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>注意</p> <p>投写中は手や顔を排気口に近づけたり、熱による悪影響を受けるものを排気口の近くに置かないでください。排気口から温風が出るため、やけどや変形、事故の原因となります。</p> </div>
② スライド式レンズカバー操作部	ツマミをスライドさせてレンズカバーを開閉します。
③ フットレバー	フットレバーを押して、フロントフットを伸縮させます。
④ レンズカバー	本機を使用しないときに閉じて、投写レンズを保護します。投写中に閉めると映像と音声を消すことができます。
⑤ フロントフット	机上設置時に、フットを伸ばして映像の高さを調整します。
⑥ 投写レンズ	ここから映像を投写します。
⑦ リモコン受光部	リモコン信号を受信します。
⑧ ヨコ補正スライダ	映像のヨコ方向のゆがみを補正します。
⑨ 吸気口(エアフィルター)	本機内部を冷却するための空気を取り込みます。



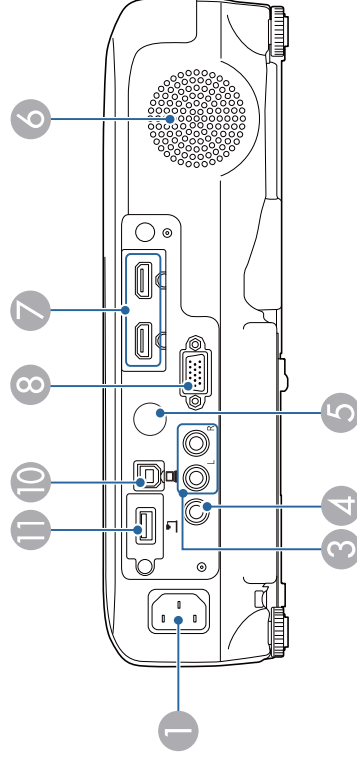
名称	働き
⑩ エアフィルターカバー	エアフィルターの清掃・交換時に開閉します。
⑪ セキュリティースロット	Kensington社製のマイクロセーバーセキュリティシステムに対応したセキュリティスロットです。
⑫ 操作パネル	本機の手動操作をします。
⑬ ズームリング (EB-U32/EB-W31/ EB-X36/EB-X31/EB- W420)	映像の大きさを調整します。
⑭ フォーカスリング	映像のピントを合わせます。
⑮ ランプカバー	ランプ交換時に開閉します。

関連項目

- 「プロジェクターの各部名称と働き」 [p.11](#)
- 「ズームリングで映像の大きさを調整する」 [p.48](#)
- 「フォーカスリングで映像のピントを調整する」 [p.50](#)
- 「インジケータの見方」 [p.145](#)



EB-U32



名称	働き
① 電源端子	電源コードを接続します。
② 無線LANユニット固定ネジ (EB-W31/EB-X36/ EB-X31/EB-S31/EB- W420/EB-S04)	無線LANユニットカバーを固定するネジです。
③ 音声入力端子	コンピュータ端子、S-ビデオ端子、ビデオ端子に接続された機器の音声を入力します。
④ ビデオ端子	ビデオ機器のコンポジットビデオ信号を入力します。

プロジェクターの各部名称 - 背面

EB-W31/EB-X36/EB-X31/EB-S31/EB-W420/EB-S04

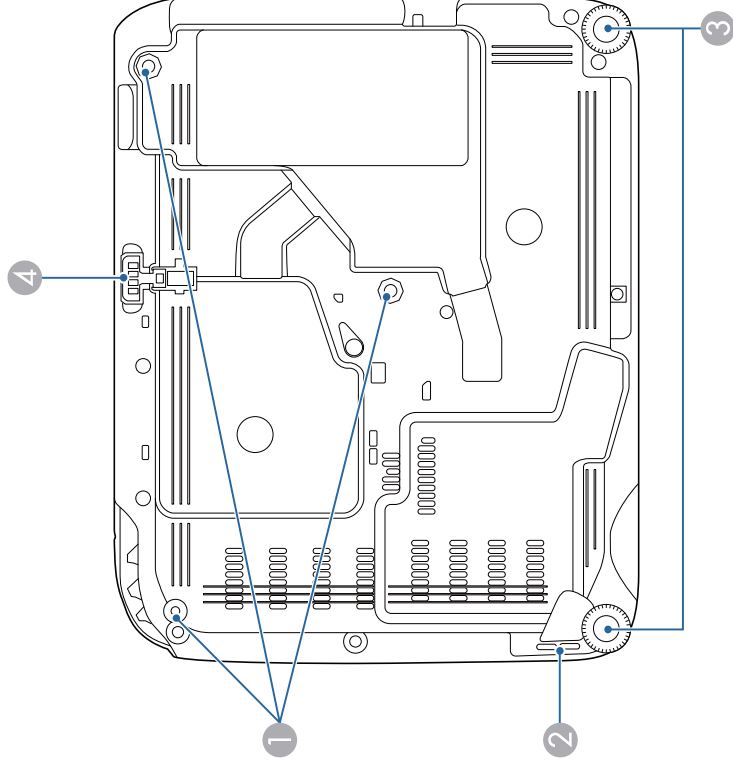
名称	働き
⑤ リモコン受光部	リモコン信号を受信します。
⑥ スピーカー	音声を出力します。
⑦ HDMI 端子 (EB-X36/EB-X31/EB-S31/EB-W420/EB-S04) HDMI/MHL 端子 (EB-W31) HDMI1、HDMI2/MHL端子 (EB-U32)	HDMIに対応したビデオ機器やコンピューターの信号を入力します。 また、HDMI/MHL 端子は MHL (Mobile High-Definition) に対応したモバイルデバイスの信号を入力します。 本機はHDCPに対応しています。
⑧ コンピューター端子	コンピューター映像信号やビデオ機器のコンポーネントビデオ信号を入力します。
⑨ S-ビデオ端子 (EB-W31/EB-X36/EB-X31/EB-S31/EB-W420/EB-S04)	ビデオ機器のS-ビデオ信号を入力します。
⑩ USB-B 端子	USBケーブルでコンピューターと接続して、コンピューターの映像を投写したり、ワイヤレスマウス機能を使用したりします。
⑪ USB-A 端子	USBメモリーやデジタルカメラを接続して、動画や画像をPC Freeで投写します。 オプションの書画カメラを接続します。 無線LANユニットを接続します (EB-W31/EB-X36/EB-X31/EB-S31/EB-W420/EB-S04)。 オプションのクイックワイヤレス用USBキーを接続します。

関連項目

- 「プロジェクターの各部名称と働き」 [p.11](#)
- 「PC Free機能で投写する」 [p.64](#)

- 「リモコンでコンピューターのマウス操作をする」 [p.72](#)
- 「セキュリティケーブルを取り付ける」 [p.84](#)

プロジェクターの各部名称 - 底面



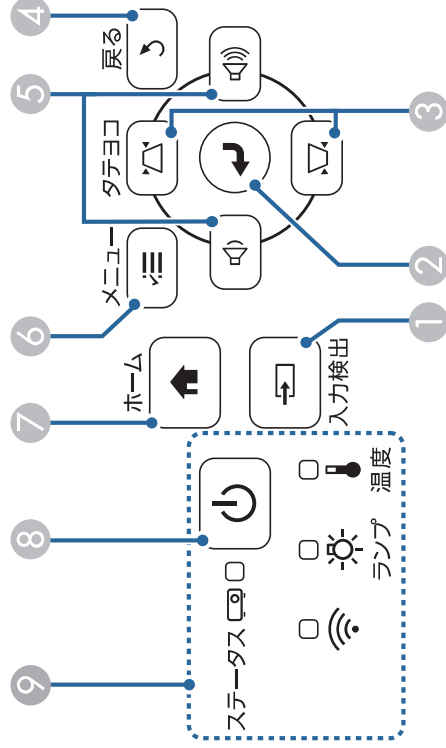
名称	働き
① 天吊り固定部 (3箇所)	天井からプロジェクターを吊り下げるときは、オプションの天吊り金具を取り付けます。
② セキュリティケーブル取付け部	市販の盗難防止用ワイヤーロックをこの部分に通して施錠します。
③ リアフット	机上設置時に、フットを伸縮させて水平方向の傾きを調整します。

名称	働き
④ フロントフット	机上設置時に、フットを伸ばして映像の高さを調整します。

関連項目

- 「プロジェクターの各部名称と働き」 p.11
- 「セキュリティケーブルを取り付ける」 p.84

プロジェクターの各部名称 - 操作パネル



名称	働き
① 【入力検出】ボタン	映像信号が入力されている入カソースに順番に切り替えます。

名称	働き
② 【決定】ボタン 【↵】	メニューやヘルプを表示中に押すと、選択項目を決定して、次の階層に進みます。 コンピューター端子からアナログRGB信号を投写しているときに押すと、[映像]メニューの[トラッキング]、[同期]、[表示位置]の設定を最適にします。 以降は【決定】ボタンと記載します。
③ 台形補正ボタン/上下ボタン	台形補正画面を表示して、タテヨコ方向の台形ゆがみを補正します。 メニューやヘルプを表示中に押すと、メニュー項目を選択します。
④ 【戻る】ボタン	実行中の機能を終了します。 メニューを表示中に押すと、前のメニュー階層に戻ります。
⑤ 音量ボタン/左右ボタン またはワイド・テ レ左右ボタン	<ul style="list-style-type: none"> EB-U32/EB-W31/EB-X36/EB-X31/EB-W420 : : スピーカーの音量を下げます。 : スピーカーの音量を上げます。 EB-S31/EB-S04 : : 投写映像のサイズを大きくします。 : 投写映像のサイズを小さくします。 台形補正画面を表示中は、ヨコ方向のゆがみを補正します。 メニューやヘルプを表示中に押すと、メニュー項目を選択します。
⑥ 【メニュー】ボタン	メニュー画面を表示/終了します。
⑦ 【ホーム】ボタン	ホーム画面を表示/終了します。
⑧ 電源ボタン 【⏻】	本機の電源をオン/オフします。 以降は電源ボタンと記載します。

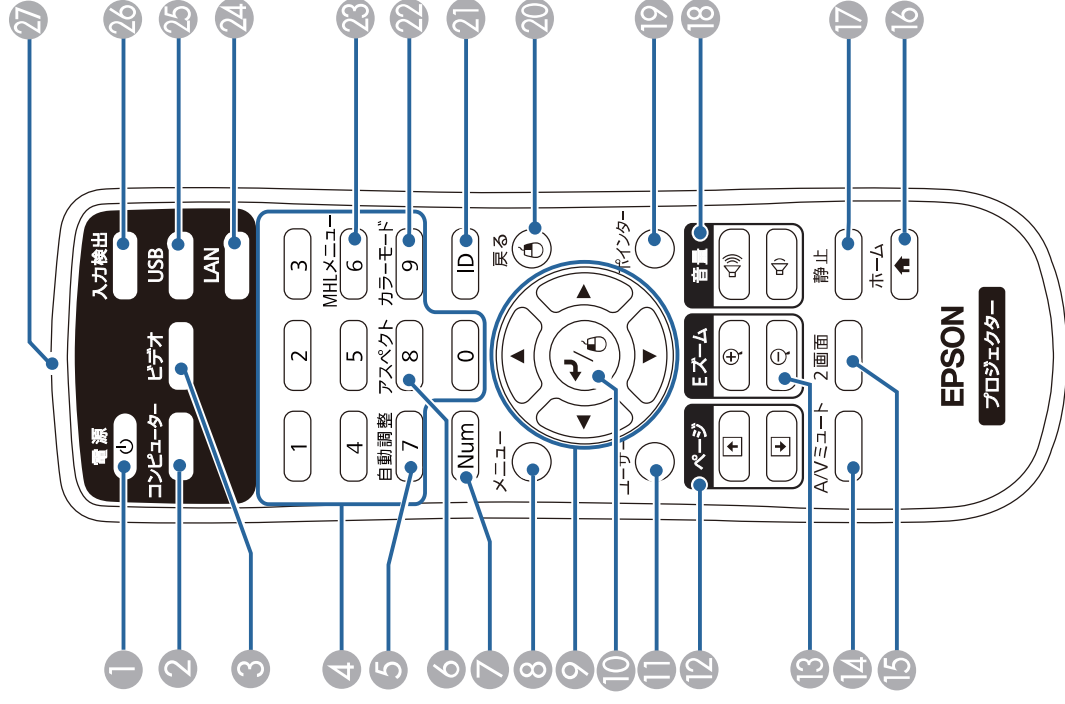


名称	働き
⑨ インジケーター	本機の状態を表示します。

関連項目

- 「プロジェクターの各部名称と働き」 [p.11](#)
- 「ホーム画面」 [p.36](#)
- 「台形補正ボタンで映像のゆがみを補正する」 [p.44](#)
- 「映像メニュー」 [p.110](#)
- 「インジケーターの見方」 [p.145](#)

プロジェクターの各部名称 - リモコン





名称	働き
① 電源ボタン 【 ⏻ 】	本機の電源をオン/オフします。以降は電源ボタンと記載します。
② 【 コンピューター 】ボタン	コンピューター端子からの映像に切り替えます。
③ 【 ビデオ 】ボタン	s-ビデオ端子、ビデオ端子、HDMI 端子からの映像に切り替えます。
④ テンキーボタン	【 Num 】ボタンを押しながらからテンキーボタンを押して、メニュー内で数字を入力します。
⑤ 【 自動調整 】ボタン	コンピューター端子からアナログRGB信号を投写しているときに押し、【映像】メニューの【トラッキング】、【同期】、【表示位置】の設定を最適にします。
⑥ 【 アスペクト 】ボタン	アスペクトモードを切り替えます。
⑦ 【 Num 】ボタン	数字を入力するときに、このボタンを押しながらからテンキーボタンを押します。
⑧ 【 メニュー 】ボタン	メニュー画面を表示/終了します。
⑨ 上下左右ボタン	メニューやヘルプの表示中に押しすと、メニュー項目を選択します。
⑩ 【 決定 】ボタン 【 ↵ 】	メニューやヘルプの表示中に押しすと、選択項目を決定して、次の階層に進みます。ワイヤレスマウス機能を使用しているときは、マウスの左ボタンとして機能します。以降は【 決定 】ボタンと記載します。
⑪ 【 ユーザー 】ボタン	【設定】メニューの【ユーザーボタン】で設定した機能を実行します。
⑫ 【 ページ 】送り/戻しボタン	USBケーブルやネットワーク経由でプロジェクトターとコンピューターを接続しているときに、コンピューター上のページを送り/戻します。PC Free機能を使用しているときは、画像ファイルを送り/戻します。

名称	働き
⑬ 【 Eズーム 】+/-ボタン	投写映像の一部を拡大表示します。
⑭ 【 AVミュー ト】ボタン	映像と音声を一時的に遮断します。
⑮ 【 2画面 】ボタン	投写画面を分割して、2つの異なる機器の画面を同時に投写します。
⑯ 【 ホーム 】ボタン	ホーム画面を表示/終了します。
⑰ 【 静止 】ボタン	映像を一時停止します。
⑱ 【 音量 】上げ/下げボタン	スピーカーの音量を調整します。
⑲ 【 ポイン ター】ボタン	投写中の映像にポインターを表示します。
⑳ 【 戻る 】ボタン	実行中の機能を終了します。メニューの表示中に押しすと、前のメニュー階層に戻ります。ワイヤレスマウス機能を使用しているときは、マウスの右ボタンとして機能します。
㉑ 【 ID 】ボタン	リモコンで操作対象のプロジェクトターのIDを選択するときに、このボタンを押しながらからテンキーボタンを押します。
㉒ 【 カラー モード】ボタン	カラーモードを変更します。
㉓ 【 MHL メニュー】ボタン	HDMI/MHL端子に接続された機器の設定メニューを表示します。
㉔ 【 LAN 】ボタン	ネットワーク経由で接続している機器からの映像に切り替えます。
㉕ 【 USB 】ボタン	USBディスプレイとUSB-A 端子に接続された機器からの映像に切り替えます。
㉖ 【 入力検出 】ボタン	映像信号が入力されている入力ソースに順番に切り替えます。
㉗ リモコン発光部	リモコン信号を出力します。



関連項目

- 「プロジェクターの各部名称と働き」 [p.11](#)
- 「コンピューターを接続する」 [p.22](#)
- 「映像のアスペクト比を設定する」 [p.53](#)
- 「カラーモードを設定する」 [p.56](#)
- 「2つの映像を同時に投写する」 [p.61](#)
- 「PC Free機能で投写する」 [p.64](#)
- 「リモコンでコンピューターのマウス操作をする」 [p.72](#)
- 「リモコンでポインターを表示する」 [p.73](#)
- 「ネットワーク上のプロジェクターを使用する」 [p.86](#)
- 「映像メニュー」 [p.110](#)
- 「拡張設定メニュー」 [p.114](#)

プロジェクトターを準備する

プロジェクトターの準備方法を説明します。

関連項目

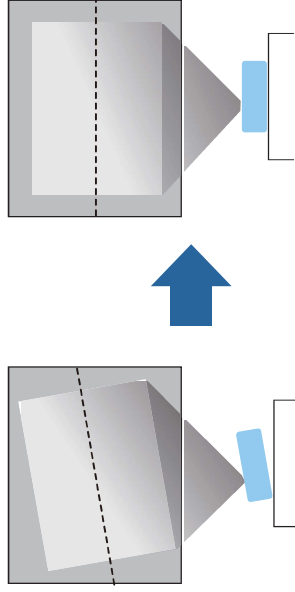
- 「プロジェクトターの設置」 [p.19](#)
- 「プロジェクトターを接続する」 [p.22](#)
- 「リモコンに電池を取り付ける」 [p.31](#)
- 「リモコンを操作する」 [p.32](#)
- 「レンズカバーを開く」 [p.33](#)

平らな場所にプロジェクターを置いて映像を投写します。

常に特定の位置に固定して使用するとき、天井からプロジェクターを取り付けられることもできます。天井からプロジェクターを吊り下げるときは、オプションの天井吊り金具が必要です。

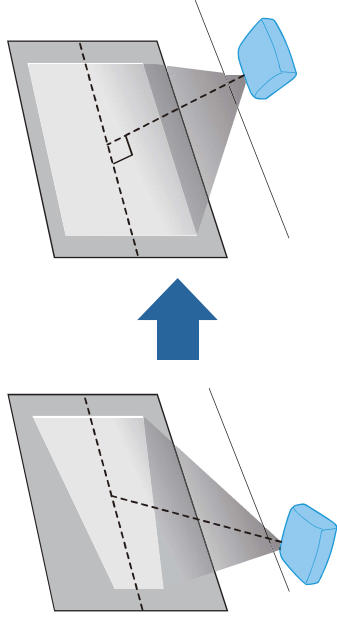
プロジェクターの設置位置を決めるときは、以下の点に注意してください。

- プロジェクターは水平で安定した場所に置くか、本製品に対応した金具を使用して取り付けます。



- 通気のためにプロジェクターの周囲に十分なスペースを確保します。通気の妨げになるものをプロジェクター上面や周囲に置かないでください。
- 必ず接地接続を行います。

- 投写面に対してプロジェクターを平行に設置します。



投写面に対して平行に設置できないときは、台形補正機能を使って映像を補正します。

警告

- 天井からプロジェクターを吊り下げるときは、天井り金具の取り付けが必須となります。プロジェクターを正しく設置しないと、落下により破損やけがの原因となることがあります。
- プロジェクターの天井り固定部に、ネジゆるみ止め用接着剤・潤滑剤・油などを使用しないでください。プロジェクターにそれらの溶剤が付着すると、プロジェクターのケースが割れ、天井り金具からプロジェクターが落下するおそれがあります。
- 本機の吸気口・排気口をふさがらないでください。吸気口・排気口をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

注意

- 本機を縦置きして投写しないでください。故障の原因となります。
 - 本機を標高1,500 m以上の場所で使用するときは、[拡張設定]メニューの[高地モード]を[オン]にして、本機の内部温度が適切に調節されるようにしてください。
- [拡張設定] > [動作設定] > [高地モード]

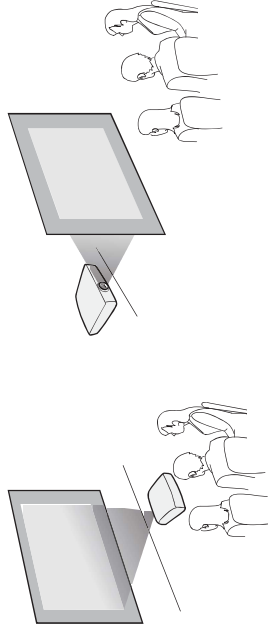
関連項目

- 「プロジェクターを準備する」 p.18
- 「プロジェクターの設置・取り付け」 p.20
- 「投写距離」 p.20
- 「映像の形状を補正する」 p.43
- 「拡張設定メニュー」 p.114
- 「オプション」 p.161

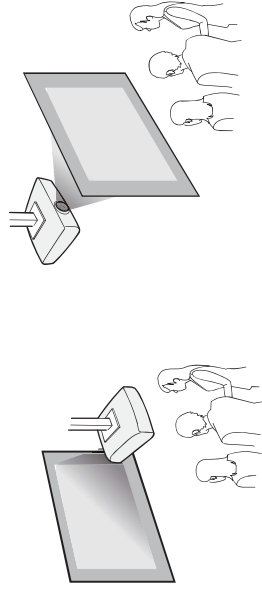
プロジェクターの設置・取り付け

本機を以下の方法で設置、取り付けします。

フロント/リア



フロント・天吊り/リア・天吊り



天井または裏面から投写するときは、「拡張設定」メニューの「設置モード」を設定します。

関連項目

- 「プロジェクターの設置」 p.19
- 「設置モードを選択する」 p.40

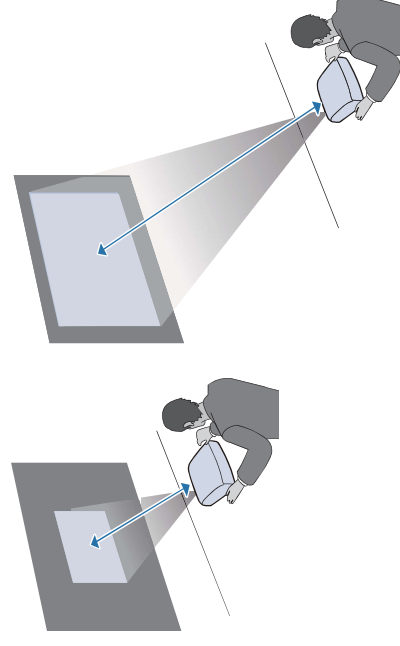
投写距離

本機からスクリーンまでの距離に応じて、映像の大きさが決まります。本機をスクリーンから遠ざけるほど、投写される映像は大きくなります。

下図を参考にして、本機からスクリーンまでのおおよその距離を決めてください。



台形補正後は、映像が少し小さくなります。





関連項目

- 「プロジェクターの設置」 [p.19](#)
- 「スクリーンサイズと投写距離」 [p.163](#)



コンピューター、携帯端末、ビデオ機器、オーディオ機器をプロジェクターに接続して、プレゼンテーション資料を投写したり、動画や画像を投写したりできます。また、音声をプロジェクターから出力することもできます。

イラストはEB-W420のものです。

- USB端子、映像出力端子、またはHDMI端子を搭載したコンピューターを接続できます。
- DVDプレーヤー、ゲーム機器、デジタルカメラ、スマートフォンなどの機器を接続して、動画を投写できます。
- プレゼンテーション資料や動画に音声が入っているときは、オーディオケーブルを接続して本機から音声を出力できます。
- USB機器(USBメモリーやデジタルカメラ)、オプシヨンのエプソン製書画カメラを接続すると、コンピューターを使用せずに映像を投写できます。

関連項目

- 「プロジェクターを準備する」 [p.18](#)
- 「コンピューターを接続する」 [p.22](#)
- 「スマートフォン・タブレット端末を接続する」 [p.25](#)
- 「ビデオ機器を接続する」 [p.26](#)
- 「USB機器を接続する」 [p.29](#)
- 「書画カメラを接続する」 [p.30](#)

コンピューターを接続する

プロジェクターとコンピューターを接続します。

関連項目

- 「プロジェクターを接続する」 [p.22](#)
- 「コンピューターケーブルを接続して映像と音声を出力する」 [p.22](#)
- 「USBケーブルを接続して映像と音声を出力する」 [p.23](#)
- 「HDMIケーブルを接続して映像と音声を出力する」 [p.24](#)

コンピューターケーブルを接続して映像と音声を出力する

プロジェクターとコンピューターをコンピューターケーブルで接続します。お使いの機種によっては、コンピューターケーブルが同梱されていないことがあります。

市販のRCAオーディオケーブルを接続することで、本機のスピーカーから音声を出力できます。




映像出力用のVGA端子を搭載していないMacをお使いのときは、VGA変換アダプターが必要です。お使いのMacに対応した変換アダプターは、Appleにお問い合わせください。

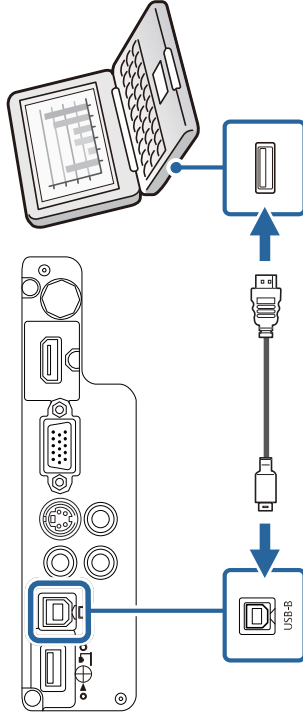
- 1** コンピューターの映像出力端子にコンピューターケーブルを接続します。
- 2** ケーブルのもう一方のコネクターを本機のコンピューター端子に接続します。

USBケーブルを接続して映像と音声を出力する


お使いのコンピューターがシステム要件を満たしている場合は、コンピューターのUSB端子から映像と音声をプロジェクターに送信できます。この機能をUSBディスプレイといいます。お使いの機種によっては、USBケーブルが同梱されていないことがあります。

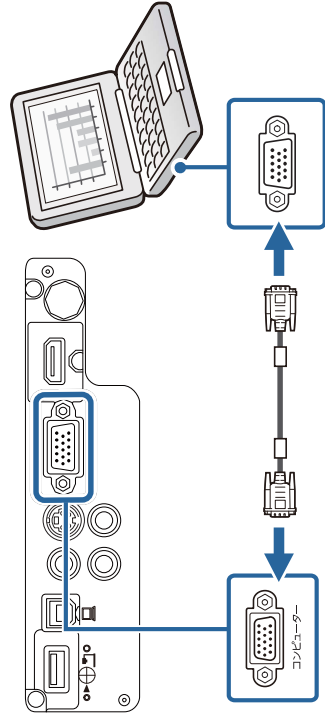
 USBハブを使用すると正しく動作しません。USBケーブルを直接本機に接続してください。

- 1** 本機のUSB-B端子にUSBケーブルのType Bコネクターを接続します。

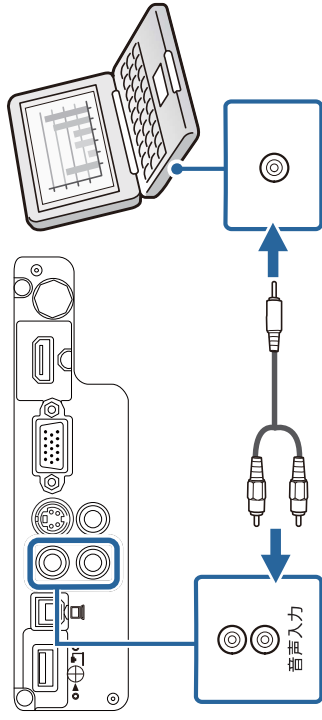


- 2** USBケーブルのTypeAコネクターをコンピューターのUSB端子に接続します。
- 3** 本機の電源を入れます。
- 4** 以下のいずれかの操作でドライバーをインストールします。

 本機とコンピューターを初めてUSBケーブルで接続したときは、ドライバーのインストールが必要です。



- 3** VGAコネクターのネジを締めます。
- 4** オーディオケーブルをコンピューターのヘッドフォンスピーカージャックまたは音声出力端子に接続します。
- 5** ケーブルのもう一方のコネクターを本機の音声入力端子に接続します。



関連項目

- 「コンピューターを接続する」 p.22



- Windows 2000の場合：[コンピューター] > [EPSON_PJ_UD] > [EMP_UDSE.EXE]の順にダブルクリックします。
- Windows XPの場合：コンピューターの画面にメッセージが表示されてドライバーがインストールされます。自動的にインストールされないときは、[マイコンピュータ] > [EPSON_PJ_UD] > [EMP_UDSE.EXE]の順にダブルクリックします。
- Windows Vista/Windows 7/Windows 8/Windows 8.1の場合：ダイアログボックスが表示されたら、[EMP_UDSE.EXEの実行]を選択します。
- OS Xの場合：Epson USBディスプレイのセットアップフォルダーが表示されます。[USB Display Installer]を選択して画面の指示に従います。自動的に表示されないときは、[EPSON_PJ_UD] > [USB Display Installer]の順にダブルクリックします。

5

画面の指示に従います。

映像が投写されるまでは、USBケーブルを抜いたり、プロジェクトの電源を切ったりしないでください。



お使いのコンピューターがWindows 2000またはWindows XPの場合に、コンピューターの再起動を促すメッセージが表示されたときは、[いいえ]を選択します。

コンピューターの映像が投写されます。映像に音声が入っているときは、音声も出力されます。



- 映像が投写されないときは、以下のいずれかの操作を行います。
 - Windowsの場合：[すべてのプログラム] > [EPSON Projector] > [Epson USB Display] > [Epson USB Display Ver.x.xx]の順にクリックします。
 - OS Xの場合：[アプリケーション]フォルダーの[USB Display]をダブルクリックします。
- 投写が終了したら、以下のいずれかの操作を行います。
 - Windowsの場合：USBケーブルを取り外します。[ハードウェアの安全な取り外し]を使用する必要はありません。
 - OS Xの場合：メニューバーまたは[Dock]の[USB Display]アイコンメニューから[切断]を選択し、USBケーブルを取り外します。

関連項目

- 「コンピューターを接続する」 p.22
- 「USBディスプレイのシステム要件」 p.172

HDMIケーブルを接続して映像と音声を出力する

HDMI端子を搭載したコンピューターを使用しているときは、市販のHDMIケーブルでプロジェクトとコンピューターを接続して映像と音声を出力できます。

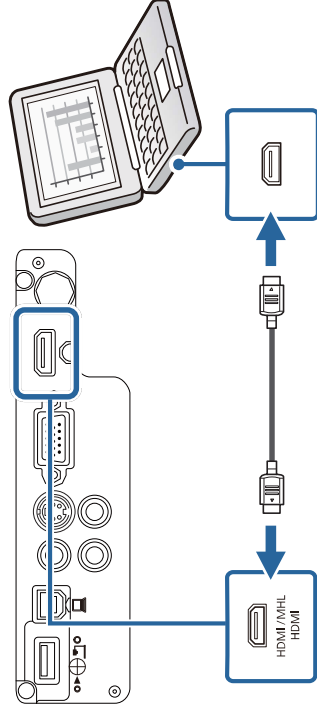


映像出力用のHDMI端子を搭載していないMacをお使いのときは、HDMI変換アダプターが必要です。お使いのMacに対応した変換アダプターは、Appleにお問い合わせください。2009年以前に発売されたMacはHDMI端子からの音声出力に対応していないことがあります。

- 1 コンピューターのHDMI出力端子にHDMIケーブルを接続します。



- ケーブルのもう一方のコネクターを本機のHDMI端子に接続します。



関連項目

- 「コンピューターを接続する」 p.22
- 「拡張設定メニュー」 p.114

スマートフォン・タブレット端末を接続する

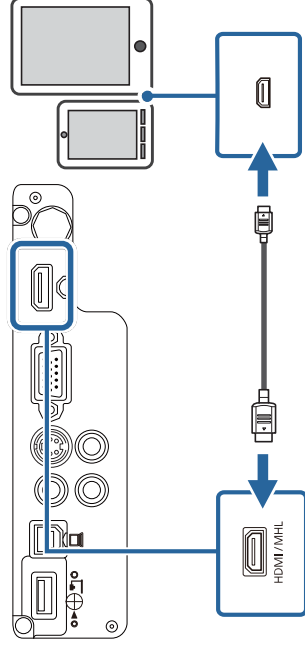
市販のMHLケーブルでスマートフォン、タブレット端末をプロジェクトターに接続して、映像と音声を出力できます（EB-U32/EB-W31）。

- MHLケーブルの接続に対応していないスマートフォン、タブレット端末もあります。
- スマートフォン、タブレット端末の機種や設定によっては、正しく投写できないことがあります。
- お使いのスマートフォン、タブレット端末がMHLに対応しているか、またMHLの設定方法や操作方法については、スマートフォン、タブレット端末メーカーにお問い合わせください。

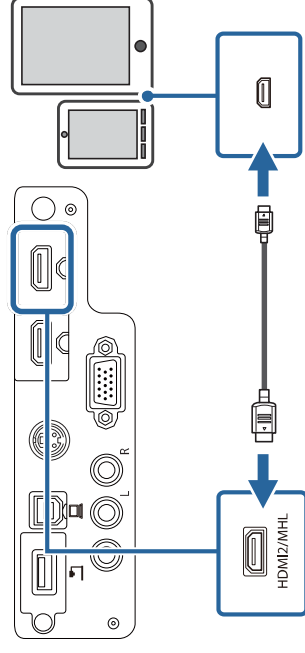
- スマートフォン、タブレット端末のMHL端子にMHLケーブルを接続します。

- ケーブルのもう一方のコネクターを本機の HDMI/MHL端子に接続します。

EB-W31



EB-U32



注意

MHL規格に対応していないケーブルを接続すると、スマートフォン、タブレット端末が高温になったり、液もれや破裂が生じたりするおそれがあります。

映像の投写中は、接続しているスマートフォン、タブレット端末が充電されません。市販のMHL-HDMI変換アダプターを使用して接



続しているときは、スマートフォン、タブレット端末の充電や、プロジェクトクターのリモコンを使ったスマートフォン、タブレット端末の操作ができないことがあります。



映像が正しく投写されないときは、MHLケーブルを一度外し、再度接続します。

関連項目

- 「プロジェクトクターを接続する」 [p.22](#)

ビデオ機器を接続する

プロジェクトクターにビデオ機器を接続します。

注意

接続に使用するケーブルのコネクターの形状と向きを確認します。形状が合わないコネクターを無理に端子に押し込まないでください。お使いの機器、プロジェクトクターの破損や故障の原因となります。



接続する機器の端子が特有の形状をしているときは、その機器に同梱またはオプションのケーブルで接続してください。

関連項目

- 「プロジェクトクターを接続する」 [p.22](#)
- 「HDMIケーブルで接続する」 [p.26](#)
- 「コンポーネントビデオケーブルで接続する」 [p.27](#)
- 「S-ビデオケーブルで接続する」 [p.27](#)

- 「コンポジットケーブルで接続する」 [p.28](#)

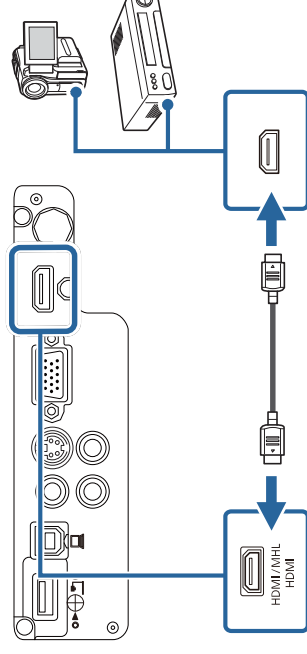
HDMIケーブルで接続する

HDMI端子を搭載したビデオ機器を使用しているときは、市販のHDMIケーブルでプロジェクトクターとビデオ機器を接続して映像と音声を出力できます。

注意

あらかじめビデオ機器の電源を切ってください。ビデオ機器の電源が入った状態で接続すると、故障の原因となります。

- 1 ビデオ機器のHDMI出力端子にHDMIケーブルを接続します。
- 2 ケーブルのもう一方のコネクターを本機のHDMI端子に接続します。



関連項目

- 「ビデオ機器を接続する」 [p.26](#)
- 「拡張設定メニュー」 [p.114](#)



コンポーネントビデオケーブルで接続する

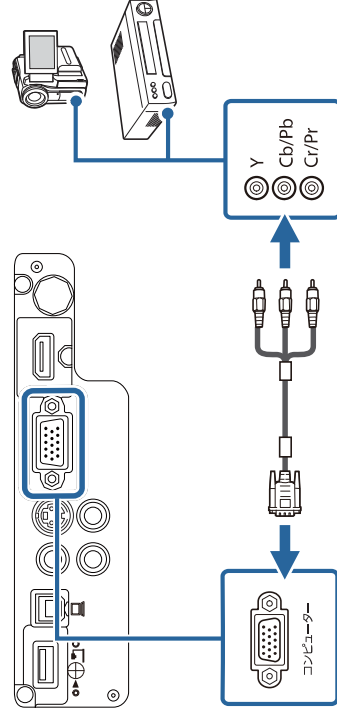
コンポーネントビデオ端子を搭載したビデオ機器を使用しているときは、市販のコンポーネントビデオケーブルでプロジェクターとビデオ機器を接続します。コンポーネント端子によっては、コンポーネントビデオケーブルに加えてアダプターケーブルが必要になることがあります。市販のRCAオーディオケーブルを接続することで、本機のスピーカーから音声を出力できます。

「抵抗なし」と表記されているオーディオケーブルをお使いください。

1 コンポーネントコネクタをビデオ機器のコンポーネントビデオ出力端子(緑、青、赤)に接続します。

コンポーネントビデオ出力端子は、通常Y、Pb、PrまたはY、Cb、Crと表示されます。アダプターケーブルを使用するときは、コネクタをコンポーネントビデオケーブルに接続します。

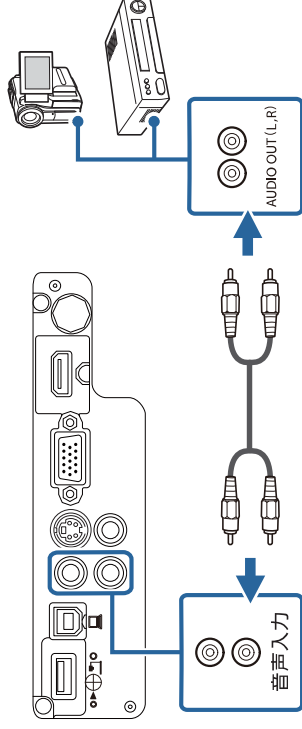
2 VGAコネクタを本機のコンピューター端子に接続します。



3 VGAコネクタのネジを締めます。

4 ビデオ機器の音声出力端子にオーディオケーブルを接続します。

5 ケーブルのもう一方のコネクタを本機の音声入力端子に接続します。



映像の色が正しく投写されないときは、[映像]メニューの[入力信号方式]を変更してください。

● [映像] > [アドバンスト] > [入力信号方式]

関連項目

- 「ビデオ機器を接続する」 p.26
- 「映像メニュー」 p.110

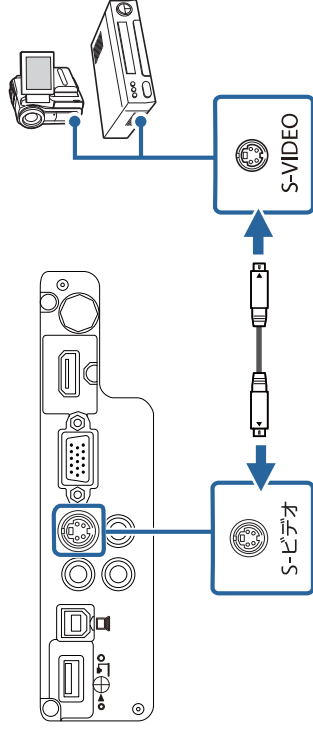
S-ビデオケーブルで接続する

S-ビデオ端子を搭載したビデオ機器を使用しているときは、市販のS-ビデオケーブルでプロジェクターとビデオ機器を接続します (EB-W31/EB-X36/EB-X31/EB-S31/EB-W420/EB-S04)。

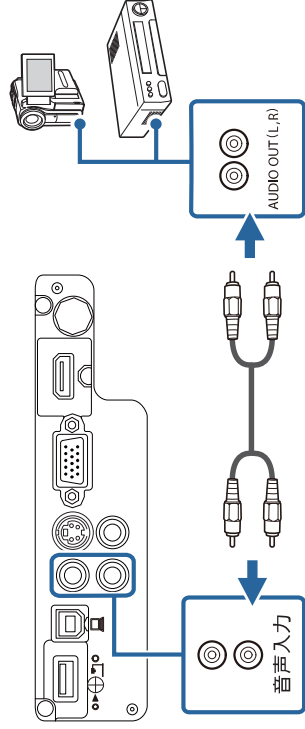
市販のRCAオーディオケーブルを接続することで、本機のスピーカーから音声を出力できます。

「抵抗なし」と表記されているオーディオケーブルをお使いください。

- 1 ビデオ機器のs-ビデオ出力端子にs-ビデオケーブルを接続します。
- 2 ケーブルのもう一方のコネクターを本機のs-ビデオ端子に接続します。



- 3 ビデオ機器の音声出力端子にオーディオケーブルを接続します。
- 4 ケーブルのもう一方のコネクターを本機の音声入力端子に接続します。



関連項目

- 「ビデオ機器を接続する」 p.26

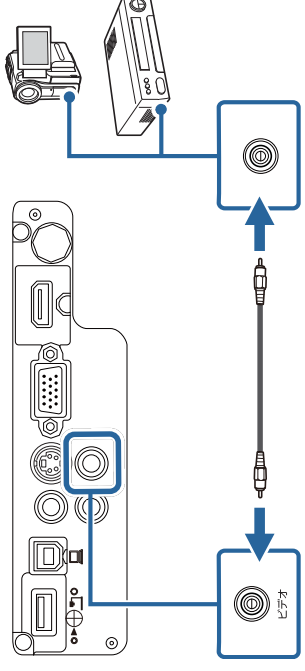
コンポジットケーブルで接続する

コンポジットビデオ端子を搭載したビデオ機器を使用しているときは、市販のRCAビデオケーブルまたはAVケーブルでプロジェクトケーブルとビデオ機器を接続します。

市販のRCAオーディオケーブルを接続することで、本機のスピーカーから音声を出力できます。

「抵抗なし」と表記されているオーディオケーブルをお使いください。

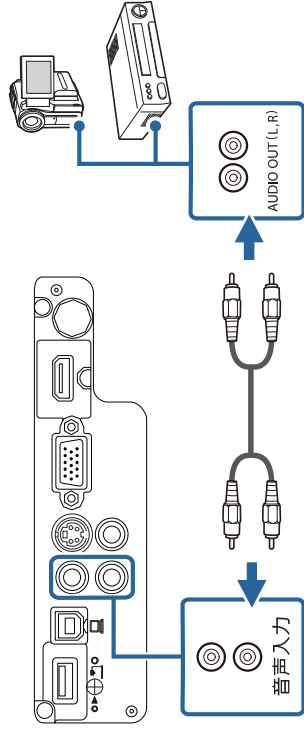
- 1 コンポジットケーブルの黄色のコネクターをビデオ機器のビデオ出力端子(黄)に接続します。
- 2 ケーブルのもう一方のコネクターを本機のビデオ端子に接続します。



- 3 ビデオ機器の音声出力端子にオーディオケーブルを接続します。



- 4** ケーブルのもう一方のコネクターを本機の音声入力端子に接続します。



関連項目

- 「ビデオ機器を接続する」 p.26

USB機器を接続する

プロジェクトにUSB機器を接続します。

関連項目

- 「プロジェクトを接続する」 p.22
- 「USB機器のデータを投写する」 p.29
- 「USB機器を接続する」 p.29
- 「USB機器を取り外す」 p.30

USB機器のデータを投写する

以下のUSB機器をプロジェクトに接続すると、コンピューターやビデオ機器を接続しなくても映像を投写できます。

- USBメモリー

- デジタルカメラ、スマートフォン
- USBハードドライブ
- マルチメディアストレージビューワー



- デジタルカメラ、スマートフォンはUSBマスストレージクラスに準拠したUSB機能が搭載されている必要があります。TWAIN準拠の機器では投写できません。
- USBハードドライブは以下の要件を満たしている必要があります。
 - USBマスストレージクラスに準拠していること (対応していないUSBマスストレージクラスの機器もあります)
 - フォーマット形式がFATまたはFAT32であること
 - USBハードドライブに付属のACアダプターから電源供給ができること (USBケーブルから電源供給を受けるハードドライブは推奨しません)
 - ハードドライブのパーティションは1つのみであること

PC Freeを使用して、USB機器内の映像ファイルを投写できます。

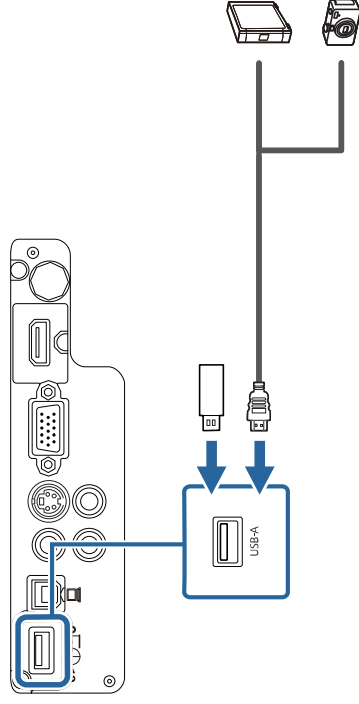
関連項目

- 「USB機器を接続する」 p.29
- 「PC Free機能で投写する」 p.64

USB機器を接続する

USB機器をプロジェクトのUSB-A端子に接続して、映像を投写します。

- 1** USB機器に電源アダプターが付属しているときは、USB機器をコンセントに接続します。
- 2** 本機のUSB-A端子にUSBケーブル(またはUSBメモリー)を接続します。



注意

- USB機器に付属のUSBケーブル、または指定されたUSBケーブルを使用してください。
- USBハブや長さ3メートル以上のUSBケーブルを使用しないでください。機器が正しく動作しないことがあります。

関連項目

- 「USB機器を接続する」 [p.29](#)

書画カメラを接続する

エプソン製書画カメラをプロジェクターに接続して、カメラから読み込んだ映像を投写します。

接続方法は、お使いの書画カメラの機種によって異なります。詳しくは、書画カメラの取扱説明書をご覧ください。

関連項目

- 「プロジェクターを接続する」 [p.22](#)

3 USBケーブルのもう一方のコネクターをUSB機器に接続します。

関連項目

- 「USB機器を接続する」 [p.29](#)

USB機器を取り外す

USB機器による投写が終了したら、プロジェクターから機器を取り外します。

- 1** USB機器の電源を切り、電源アダプターを抜きます。
- 2** プロジェクターからUSB機器を取り外します。



本機に付属の単3形電池2個をリモコンに取り付けます。

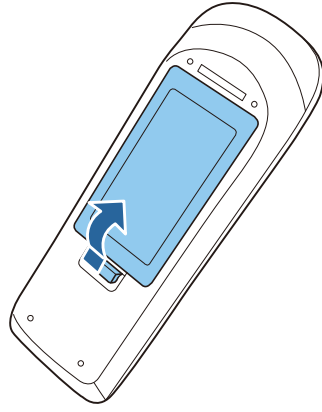
注意

電池を取り扱う前に、「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。

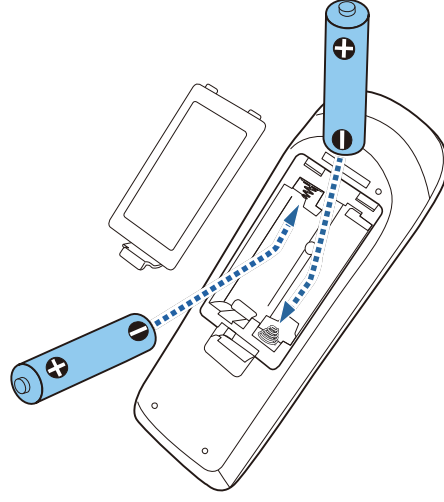
警告

電池ホルダー内の表示を確認し、(+)(-)を正しく入れてください。電池の使い方を誤ると、電池の破裂・液もれにより、火災・けが・製品腐食の原因となることがあります。

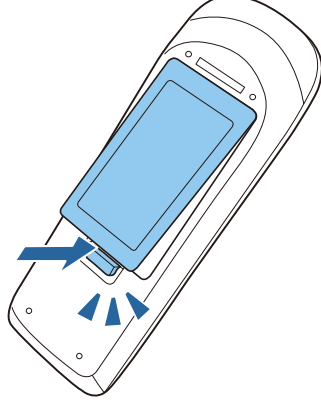
1 電池カバーを開きます。



2 電池の+と-の向きを確認してリモコンにセットします。



3 電池カバーを閉め、カチッと音がするまで押し込みます。



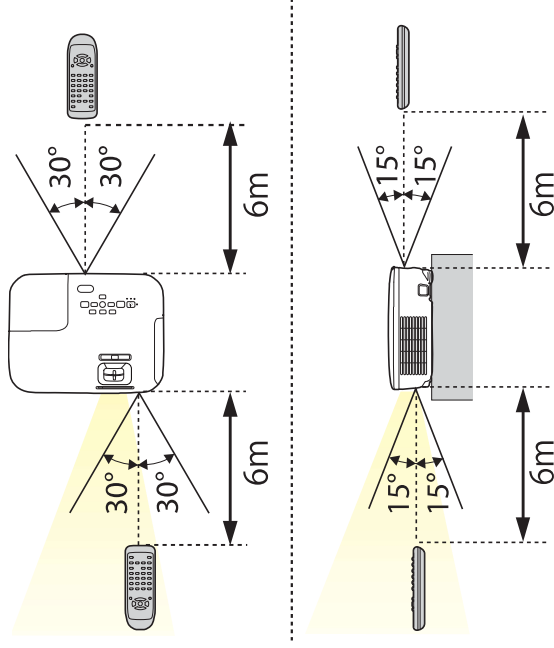
関連項目


- 「プロジェクターを準備する」 p.18



リモコンを使用して、室内の離れた場所からプロジェクターを制御できます。

リモコンは、本機のリモコン受光部に対して下図の角度で使用してください。



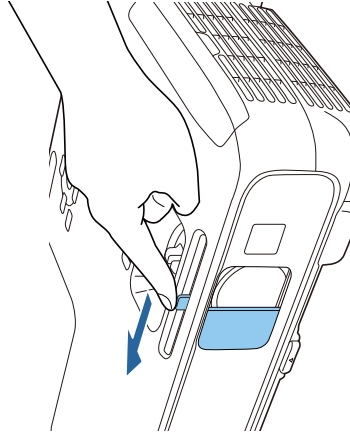
 蛍光灯の強い光や直射日光が当たる環境ではリモコンを使用しないでください。プロジェクターが操作に反応しないことがあります。リモコンを長期間使用しないときは、電池を取り外しておきます。

関連項目

- 「プロジェクターを準備する」 [p.18](#)



- 1 レンズカバー操作部をカチッと音がするまでスライドして、レンズカバーを開きます。



- 2 レンズを保護したり、一時的に映像と音声を消すときは、レンズカバーを閉じます。

関連項目

- 「プロジェクターを準備する」 p.18

プロジェクターの基本機能を使用する

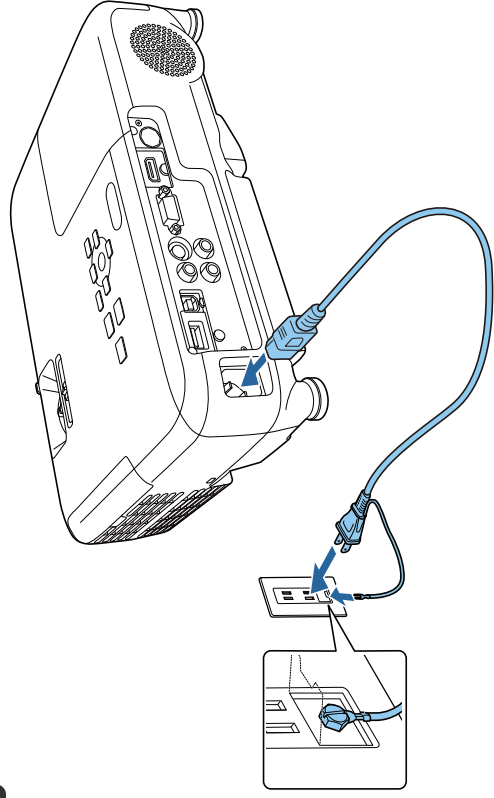
プロジェクターの基本機能を使用します。

関連項目

- 「プロジェクターの電源を入れる」 [p.35](#)
- 「プロジェクターの電源を切る」 [p.38](#)
- 「メニューの言語を選択する」 [p.39](#)
- 「設置モードを選択する」 [p.40](#)
- 「映像の高さを調整する」 [p.42](#)
- 「映像の形状を補正する」 [p.43](#)
- 「ズームリングで映像の大きさを調整する」 [p.48](#)
- 「ワイド・テレボタンで映像の大きさを調整する」 [p.49](#)
- 「フォーカスリングで映像のピントを調整する」 [p.50](#)
- 「投写映像を切り替える」 [p.51](#)
- 「映像のアスペクト比を設定する」 [p.53](#)
- 「カラーモードを設定する」 [p.56](#)
- 「音量ボタンで音量を調整する」 [p.59](#)

プロジェクターの電源を入れた後、使用するコンピューターまたはビデオ機器の電源を入れます。

1 本機とコンセントを電源コードで接続します。



警告

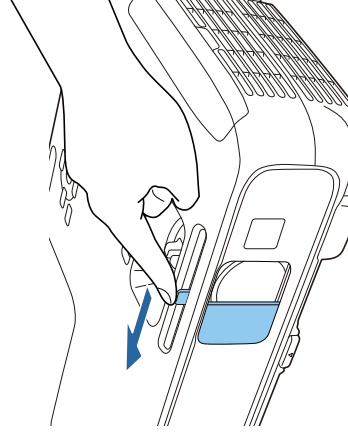
必ず接地接続を行ってください。接地接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、接地接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。

本機の電源インジケータが青色に点灯します(スタンバイ状態)。スタンバイ状態は、プロジェクターに電力が供給されている、電源が入っていない状態です。

2 操作パネルまたはリモコンの電源ボタンを押して本機の電源を入れます。

「ピッ」と確認音が鳴り、ステータスインジケータが青色に点滅します(ウォームアップ状態)。ウォームアップが終わると、ステータスインジケータが青色に点灯します。

3 本機のレンズカバーを開きます。



映像が投写されないときは、以下を試してください。

- レンズカバーが完全に開いていることを確認します。
- 接続されているコンピューターまたはビデオ機器の電源を入れます。
- ノート型コンピューターを使用するときは、コンピューターの画面出力を切り替えます。
- DVDなどのメディアを挿入して再生します。
- 操作パネルまたはリモコンの【入力検出】ボタンを押して入力ソースを検出します。
- リモコンで投写したい入力ソースに対応するボタンを押します。
- ホーム画面が表示されたら、投写したい入力ソースを選択します。

警告

- 投写中は本機のレンズをのぞきまないでください。目に損傷を与えるおそれがあります。特にお子様のご注意ください。
- 投写中に本などで投写光を遮らないでください。投写光を遮ると、光の当たった部分が高温になって溶けたり、やけどや火災の原因となります。また、反射した光でレンズ部が高温になり、本機が故障する原因となります。投写を中断するときは、AVミュート機能を使うか、本機の電源を切ってください。
- 本機の光源には、高圧の水銀ランプを使用しています。水銀ランプの性質上、振動や衝撃、使用時間の経過によってランプが破裂したり、点灯しなくなったりすることがあります。ランプが破裂すると、細かいガラス破片やガスが飛散して、けがの原因となります。次のことを守って安全にお使い下さい。
 - ・ランプを分解したり、衝撃を与えたりしないでください。
 - ・使用中は本機に顔を近づけないでください。
 - ・天吊り設置しているときは、ランプカバーを開ける際に細かいガラス破片が落ちてくる可能性があります。清掃やランプ交換の際には、ガラス破片でけがをしないように、また破片が目や口に入らないように十分注意してください。
- ランプが破裂した場合、すみやかに換気してください。万一、目や口にガラス破片が入ったときは、直ちに医師の診察を受けてください。



- [拡張設定]メニューの[ダイレクトパワーオン]が[オン]に設定されているときは、本機に電源コードを接続したときに自動で電源が入ります。停電復旧時などにコンセントに電源プラグが差し込まれた状態になっていると、本機の電源がオンになりますのでご注意ください。
- [拡張設定] > [動作設定] > [ダイレクトパワーオン]
- [拡張設定]メニューの[オートパワーオン]を有効にしているときは、映像信号が入力されたときに自動で電源が入ります。(事前に[節電]メニューの[待機モード]が[通信オン]に設定されている必要があります。)
- [拡張設定] > [動作設定] > [オートパワーオン]

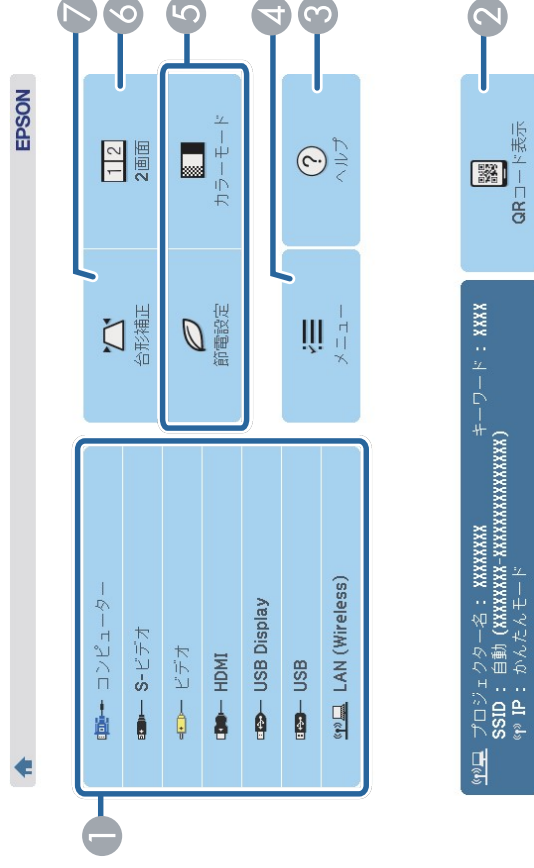
関連項目

- 「プロジェクトターの基本機能を使用する」 p.34
- 「ホーム画面」 p.36
- 「拡張設定メニュー」 p.114
- 「節電メニュー」 p.122

ホーム画面

ホーム画面を使うと、入カソースやよく使う機能を簡単に選択できます。ホーム画面は操作パネルまたはリモコンの【ホーム】ボタンを押すと表示されます。また、本機の電源投入時に、選択された入カソースからの信号がないときにも、ホーム画面が表示されます。

操作パネルやリモコンの上下左右ボタンの項目を選択して、【決定】ボタンを押します。





①	投写したい入カソースを選択します。
②	QRコードを表示して、スマートフォンやタブレット端末のデータを投写します。
③	ヘルプ画面を表示します。
④	プロジェクターのメニューを表示します。
⑤	[拡張設定] メニューの [ホーム画面設定] に割り当てた機能を実行します。
⑥	投写画面を分割して、2つの異なる機器の画面を同時に投写します。
⑦	映像のゆがみを補正します。



10分間操作がないと、ホーム画面は自動的に消えます。

関連項目

- 「プロジェクターの電源を入れる」 [p.35](#)
- 「コンピューターを接続する」 [p.22](#)
- 「映像の形状を補正する」 [p.43](#)
- 「QRコードを使用してモバイルデバイスに接続する」 [p.93](#)
- 「プロジェクターメニューを操作する」 [p.106](#)
- 「拡張設定メニュー」 [p.114](#)
- 「ヘルプの見方」 [p.148](#)

使用後にプロジェクターの電源を切ります。



本機を長くお使いいただくために、使用しないときは本機の電源を切ってください。ランプの寿命は、メニューの設定、環境条件、および使用状況によって異なります。投写映像の明るさは、投写時間の経過にしたがって低下します。

- 1** 操作パネルまたはリモコンの電源ボタンを押します。
シャットダウン確認画面が表示されます。

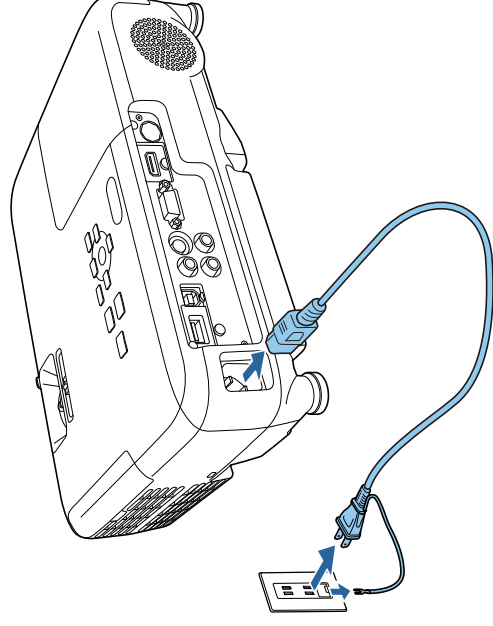


- 2** 再度電源ボタンを押します。(電源を切らないときは、他のボタンを押します。)
「ピッピッ」と確認音が2回鳴った後、投写映像が消え、ステータスインジケーターが消灯します。

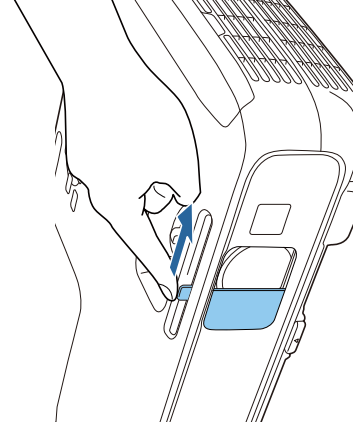


クールダウンは必要ありません。本機をすぐに片付けたり移動したりできません。

- 3** 本機を搬送または保管するときは、電源インジケーターが青色に点灯していることを確認してから電源コードを抜いてください。



- 4** プロジェクターのレンズカバーを閉めます。



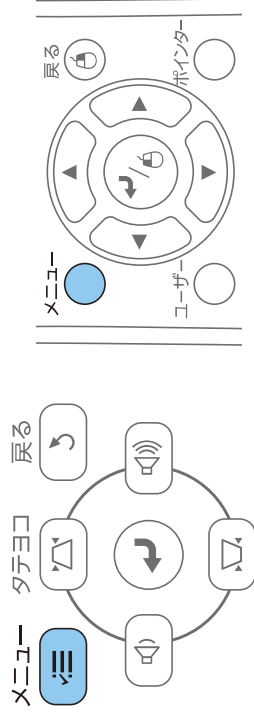
関連項目

- 「プロジェクターの基本機能を使用する」 [p.34](#)



メニューおよびメッセージの言語を変更します。

- 1 本機の電源を入れます。
- 2 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。



- 6 【メニュー】ボタンまたは【戻る】ボタンを押してメニューを終了します。

関連項目

- 「プロジェクターの基本機能を使用する」 p.34

- 3 【拡張設定】を選択し、【決定】ボタンを押します。



- 4 【言語】を選択し、【決定】ボタンを押します。
- 5 使用する言語を選択し、【決定】ボタンを押します。



- プロジェクターの設置方法によって、設置モードを変更します。
- [フロント] (デフォルト設定) : 机上に設置して、スクリーンの正面から投写します。
 - [フロント・天吊り] : 天吊りまたは壁掛け設置して、映像を上下反転して投写します。
 - [リア] : リアスクリーンの裏側から映像を左右反転して投写します。
 - [リア・天吊り] : 天吊りまたは壁掛け設置して、リアスクリーンの裏側から映像を上下左右反転して投写します。

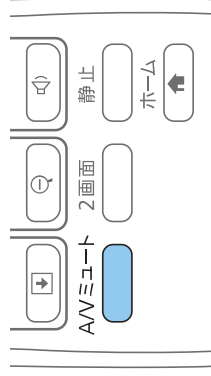
関連項目

- 「プロジェクターの基本機能を使用する」 p.34
- 「リモコンで設置モードを変更する」 p.40
- 「メニューから設置モードを変更する」 p.40
- 「プロジェクターの設置・取り付け」 p.20

リモコンで設置モードを変更する

設置モードを変更して、映像を上下反転します。

- 1 本機の電源を入れ、映像を表示します。
- 2 リモコンの [AVミュート] ボタンを5秒間押します。



映像が一時的に消え、上下反転して再度投写されます。

- 3 元の設置モードに戻すには、[AVミュート] ボタンをもう一度5秒間押します。

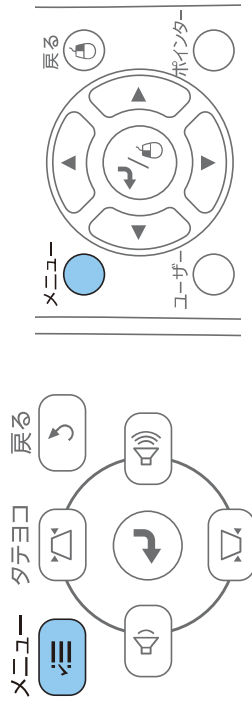
関連項目

- 「設置モードを選択する」 p.40

メニューから設置モードを変更する

メニューから設置モードを変更して、映像を上下左右反転します。

- 1 本機の電源を入れ、映像を表示します。
- 2 操作パネルまたはリモコンの [メニュー] ボタンを押します。



- 3 [拡張設定] を選択し、[決定] ボタンを押します。



関連項目

- 「設置モードを選択する」 p.40

4

【設置モード】を選択し、【決定】ボタンを押します。



5

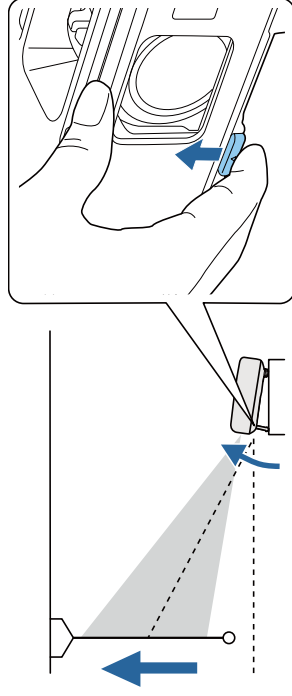
お使いの環境に合わせた設置モードを選択し、【決定】ボタンを押します。

6

【メニュー】ボタンまたは【戻る】ボタンを押してメニューを終了します。

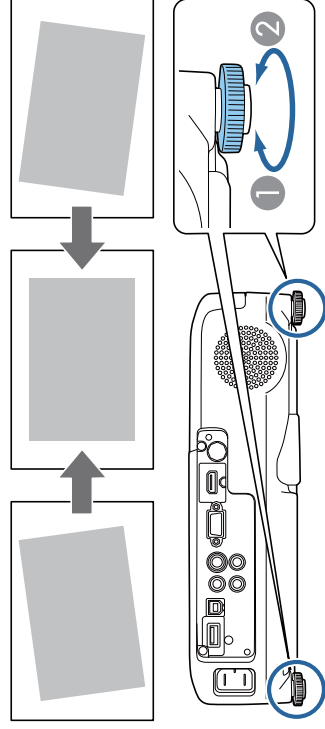
プロジェクターのフットを使って高さを調整します。傾斜角度が大きくなると、ピントが合いにくくなります。傾斜角度が小さくなるようにプロジェクターを設置してください。

- 1** 本機の電源を入れ、映像を表示します。
- 2** フットレバーを押上げ、本機の前面を持ち上げます。



プロジェクターからフロントフットが伸び出します。最大12度まで角度を調整できます。

- 3** フットレバーから指を離してフロントフットを固定します。
- 4** 映像が傾いているときは、リアフットを回して左右の高さを調整します。



- 1** リアフットを伸ばす
- 2** リアフットを縮める

投写映像がゆがむときは、映像の形状を補正します。

関連項目

- 「プロジェクターの基本機能を使用する」 [p.34](#)
- 「映像の形状を補正する」 [p.43](#)



スクリーンの正面にプロジェクターを設置し、水平にすることで、傾きやゆがみのない映像を投写できます。スクリーンに対して斜めにプロジェクターを設置したり、上下に傾けて設置したりしたときは、映像の形状を補正します。

関連項目

- 「プロジェクターの基本機能を使用する」 p.34
- 「自動タテ補正」 p.43
- 「ヨコ補正スライダーで映像のゆがみを補正する」 p.43
- 「台形補正ボタンで映像のゆがみを補正する」 p.44
- 「Quick Corner機能で映像のゆがみを補正する」 p.45

自動タテ補正

プロジェクターを移動したり傾けたりしたときに、自動タテ補正によってタテ方向のゆがみが自動的に補正されます。

プロジェクターを動かすと、調整用の画面が表示された後に投写映像が自動的に補正されます。

自動タテ補正で投写映像を正しく補正できる条件は、以下のとおりです。

- 投写角度が上下約30°
- 「拡張設定」メニューの「設置モード」が「フロント」に設定されていること



自動タテ補正を機能させたくないときは、「設定」メニューの「自動タテ補正」を「オフ」に設定します。

● 「設定」 > 「台形補正」 > 「タテヨコ」 > 「自動タテ補正」

関連項目

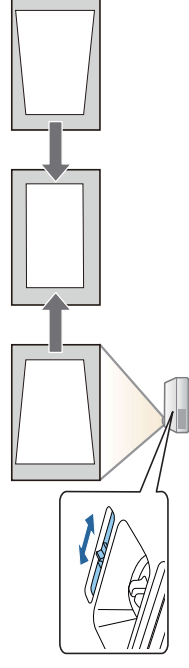
- 「映像の形状を補正する」 p.43
- 「設置モードを選択する」 p.40
- 「設定メニュー」 p.112
- 「拡張設定メニュー」 p.114

ヨコ補正スライダーで映像のゆがみを補正する

ヨコ補正スライダーを使用して、映像のゆがみを補正します。スクリーンに対して斜めに設置しているときなどに使用します。

1 本機の電源を入れ、映像を表示します。

2 スライダーを左右に移動させて、映像が長方形に表示されるように調整します。



補正後は、映像が少し小さくなります。



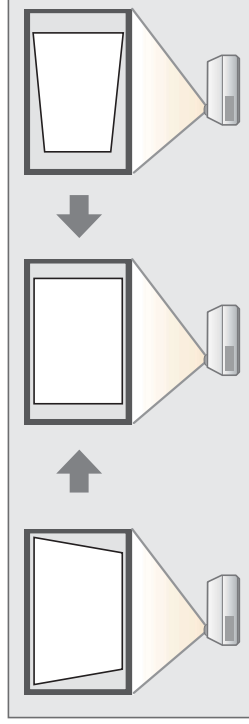
- ヨコ補正スライダーを使用するときは、[設定]メニューの[スライド式ヨコ補正]を[オン]に設定してください。
- [設定] > [台形補正] > [タテヨコ] > [スライド式ヨコ補正]
- [設定]メニューの[タテヨコ]からも映像のゆがみを補正できます。
- [設定] > [台形補正] > [タテヨコ]

関連項目

- 「映像の形状を補正する」 p.43

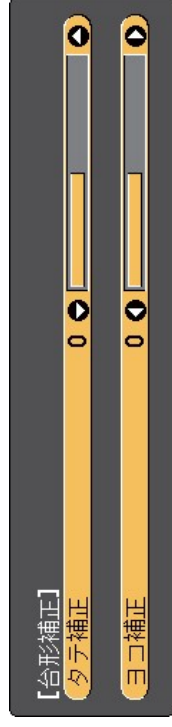
台形補正ボタンで映像のゆがみを補正する

台形補正/上下ボタンを押して、映像のゆがみを補正します。

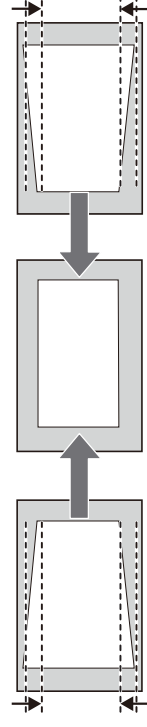
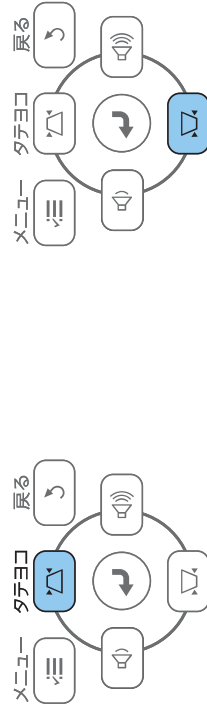
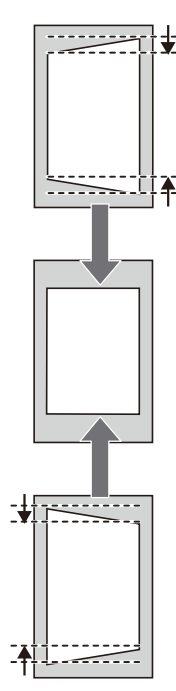


台形補正/上下ボタンで映像を補正できる条件は、投写角度が上下左右約30°のときです。


- 1** 本機の電源を入れ、映像を表示します。
- 2** 操作パネルの台形補正/上下ボタンを押して、台形補正画面を表示します。



3 上下左右ボタンを押して映像の形状を調整します。



補正後は、映像が少し小さくなります。

 [設定]メニューの[タテヨコ]からも映像のゆがみを補正できます。

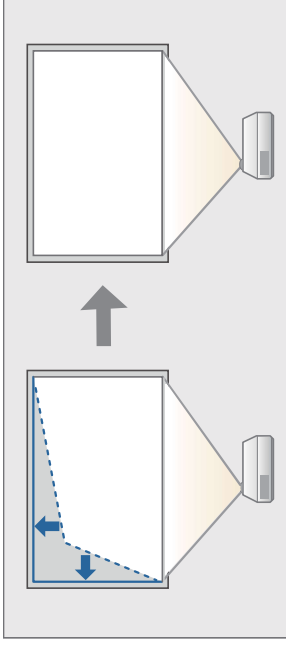
 [設定] > [台形補正] > [タテヨコ]

関連項目

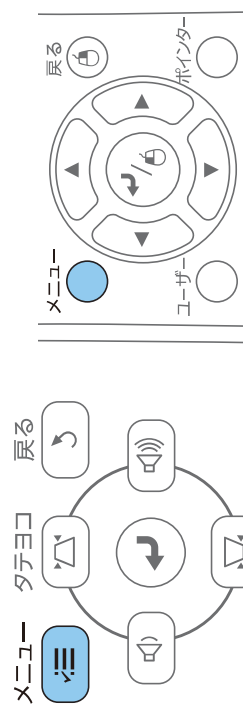
- 「映像の形状を補正する」 p.43
- 「設定メニュー」 p.112

Quick Corner機能で映像のゆがみを補正する

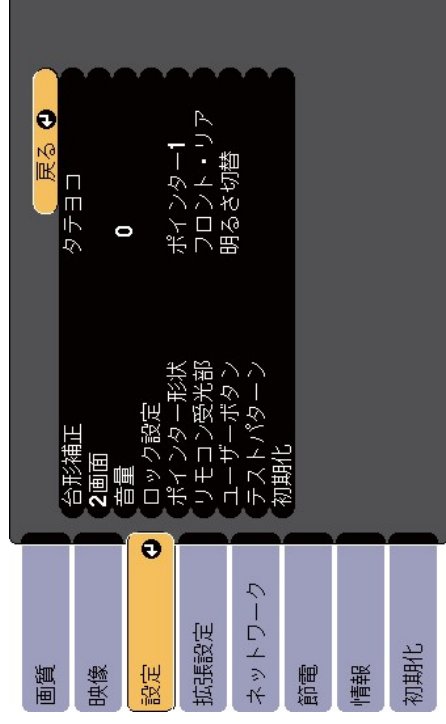
Quick Corner機能を使用して、映像のゆがみと大きさを補正します。



- 1 本機の電源を入れ、映像を表示します。
- 2 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。



- 3 [設定]を選択し、[決定]ボタンを押します。



- 4 [台形補正]を選択し、[決定]ボタンを押します。

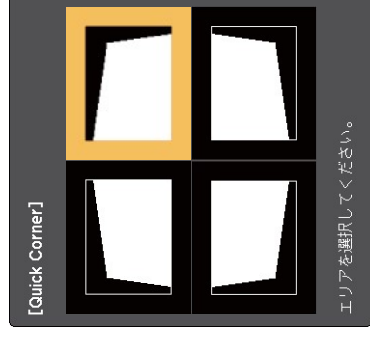


- 5** 【Quick Corner】を選択し、【決定】ボタンを押します。必要に応じて【決定】ボタンをもう一度押します。



Quick Corner調整画面が表示されます。

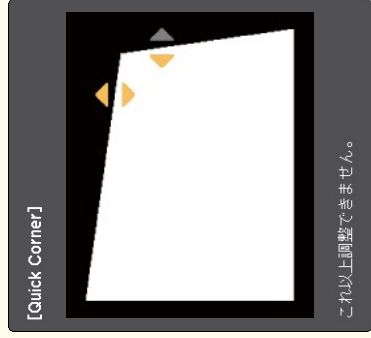
- 6** 上下左右ボタンを押して、調整するコーナーを選択します。その後、【決定】ボタンを押します。



- 7** 上下左右ボタンを押して、映像の形状を調整します。
【決定】ボタンを押すと、Quick Corner調整画面が表示されます。



- 以下の画面で、グレーの三角形で示される方向にはこれ以上調整できません。



- Quick Cornerで補正した結果を初期化するには、Quick Corner調整面が表示されているときに[戻る]ボタンを約2秒間押し、[Quick Corner初期化]を選択します。映像の補正方法をタテヨコに切り替えるときは、[タテヨコへ切替]を選択します。



8 手順6と7を繰り返して、調整が必要なすべてのコーナーを調整します。

9 終了したら、[戻る]ボタンを押します。

Quick Corner実行後は、[設定]メニューの[台形補正]が[Quick Corner]に設定されます。操作パネルの台形補正/上下ボタンを押したときは、Quick Corner調整面が表示されます。

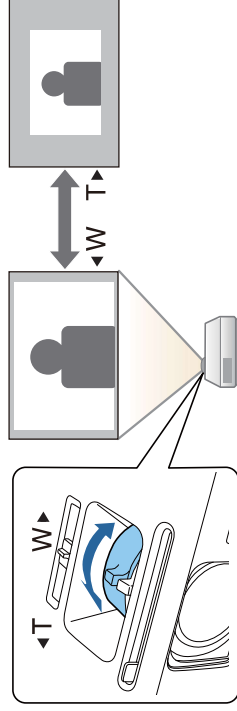
関連項目

- 「映像の形状を補正する」 p.43
- 「設定メニュー」 p.112



ズームリングを使用して、投写映像のサイズを調整します（EB-U32/EB-W31/EB-X36/EB-X31/EB-W420）。

- 1** 本機の電源を入れ、映像を表示します。
- 2** ズームリングを回して、映像を拡大/縮小します。



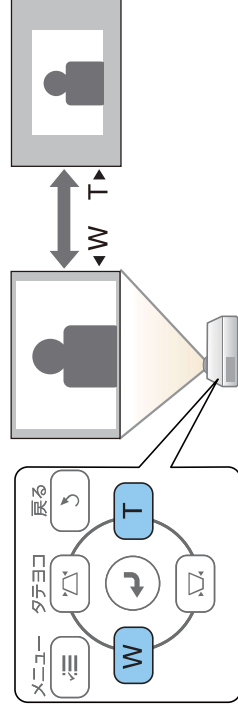
関連項目

- 「プロジェクターの基本機能を使用する」 [p.34](#)



ワイド・テレボタンで投写映像のサイズを調整します（EB-S31/EB-S04）。

- 1** 本機の電源を入れ、映像を表示します。
- 2** 操作パネルのワイドボタンを押して、映像のサイズを大きくします。テレボタンを押して、映像のサイズを小さくします。

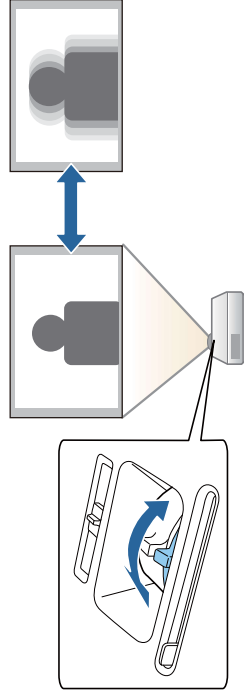


関連項目

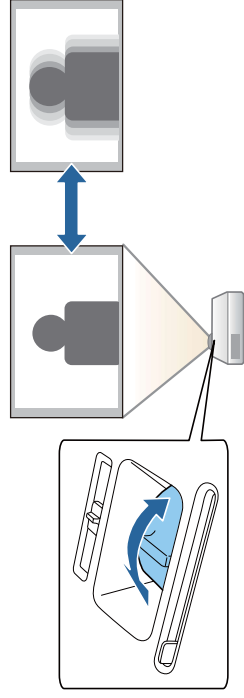
- 「プロジェクターの基本機能を使用する」 p.34

フォーカスリングを使用して、ピントのズレを補正します。

EB-U32/EB-W31/EB-X36/EB-X31/EB-W420



EB-S31/EB-S04



関連項目

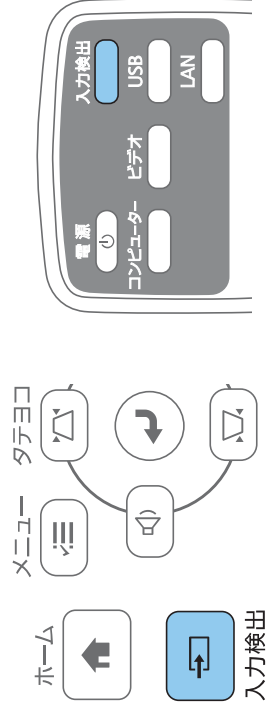
- 「プロジェクターの基本機能を使用する」 p.34



コンピューターとDVDプレーヤーなど複数の機器をプロジェクターに接続しているときは、投写する映像を切り替えます。

- 1** 接続機器の電源が入っていることを確認します。
- 2** ビデオ機器の映像を投写するときは、DVDなどのメディアを挿入して再生します。
- 3** 次のいずれかの操作を行います。

- 目的の機器からの映像が表示されるまで、操作パネルまたはリモコンの【入力検出】ボタンを押します。

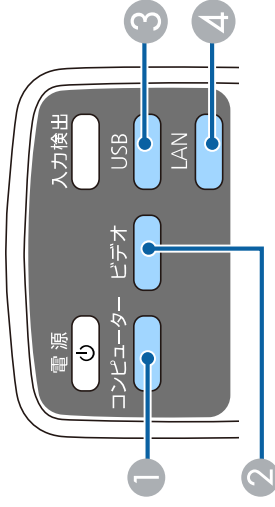


映像信号が検出されないときは、次の画面が表示されます。本機と接続機器が正しく接続されていることを確認してください。



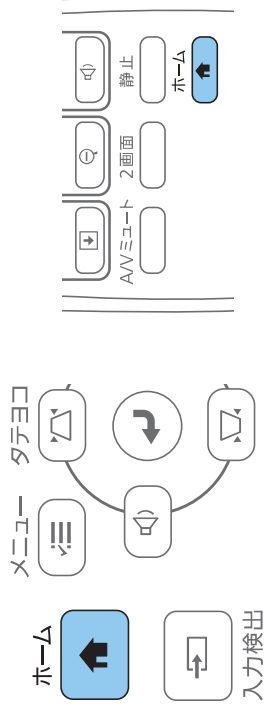


- リモコンで、投写したい入力ソースのボタンを押します。押したボタンに対応する入力ソースが複数あるときは、ボタンを再度押して入力ソースを切り替えます。



- 1 コンピューター入力ソース(コンピューター端子)
- 2 ビデオ、s-ビデオ、HDMI、およびMHL入力ソース(ビデオ、s-ビデオ、HDMI、およびHDMI/MHL端子)
- 3 USB入力ソース(USB-BおよびUSB-A端子)
- 4 ネットワーク入力ソース(LAN)

- 操作パネルまたはリモコンの【ホーム】ボタンを押します。



投写する入力ソースを選択します。

コンピューター	1 2 2画面
s-ビデオ	カラーモード
ビデオ	?
HDMI	ヘルプ
USB Display	
USB	
LAN (Wireless)	

プロジェクト名: XXXXXXXX キーワード: XXXX
 SSID: 自動 (XXXXXXXX-XXXXXXXXXXXX)
 IP: かんたんモード

QRコード表示

S-ビデオは、EB-W31/EB-X36/EB-X31/EB-S31/EB-W420/EB-S04でのみ使用できます。

関連項目

- 「プロジェクトの基本機能を使用する」 p.34



本機はさまざまな縦横比(アスペクト比)で映像を表示できます。通常は、接続機器からの入力信号によって映像のアスペクト比が決まります。USB Display、USB、LANソースを除く入力信号では、映像をスクリーンに合わせるために、リモコンでアスペクト比を切り替えることができます。

常に特定のアスペクト比で投写するとき、[映像]メニューでアスペクト比を設定します。

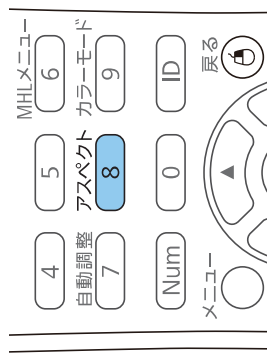
関連項目

- 「プロジェクターの基本機能を使用する」 p.34
- 「映像のアスペクト比を切り替える」 p.53
- 「アスペクトモードの種類」 p.53
- 「各アスペクトモードの投写イメージ」 p.54
- 「映像メニュー」 p.110

映像のアスペクト比を切り替える

投写する映像のアスペクト比を切り替えます。

- 1 本機の電源を入れ、投写する機器の映像に切り替えます。
- 2 リモコンの[アスペクト]ボタンを押します。



- 3 投写中の入力信号で設定可能なアスペクト比を順に切り替えるときは、[アスペクト]ボタンを繰り返し押します。



投写映像に黒帯が発生するときは、コンピューターの解像度に合わせて[映像]メニューの[入力解像度]を[ワイド]または[ノーマル]に設定してください。

関連項目

- 「映像のアスペクト比を設定する」 p.53
- 「映像メニュー」 p.110

アスペクトモードの種類

接続機器からの入力信号に応じて、以下のアスペクト比を選択できます。



- 入力信号のアスペクト比と解像度によっては、特定のアスペクトモードで黒帯が発生したり、映像の端が欠けたりすることがあります。
- [オート]は、入力ソースがHDMI/MHLのときのみ使用できます。

解像度WUXGA(1920 × 1200)またはWXGA(1280 × 800)の場合(EB-U32/EB-W31/EB-W420)

アスペクトモード	説明
オート	入力信号と[入力解像度]の設定に従って、アスペクト比が自動的に設定されます。
ノーマル	入力信号のアスペクト比を維持し、投写エリア内に映像を表示します。
16:9	入力信号のアスペクト比が16:9に変換されます。



アスペクトモード	説明
フル	入力信号のアスペクト比を維持せずに、投写エリア全体に映像を表示します。
ズーム	入力信号のアスペクト比を維持し、投写エリアの横幅に合わせて映像を表示します。
リアル	入力信号のアスペクト比と解像度を維持して表示します。

解像度XGA(1024 × 768)またはSVGA(800 × 600)の場合(EB-X36/EB-X31/EB-S31/EB-S04)

アスペクトモード	説明
オート	入力信号と[入力解像度]の設定に従って、アスペクト比が自動的に設定されます。
4:3	入力信号のアスペクト比が4:3に変換されます。
16:9	入力信号のアスペクト比が16:9に変換されます。

関連項目

- 「映像のアスペクト比を設定する」 p.53

各アスペクトモードの投写イメージ

入力信号のアスペクト比と解像度によっては、特定のアスペクトモードで黒帯が発生したり、映像の端が欠けたりすることがあります。黒帯が発生する領域と映像の欠けが発生する領域は、以下の表をご覧ください。



[リアル]を選択したときのイメージは、入力信号の解像度によって異なることがあります。

解像度WUXGA(1920 × 1200)またはWXGA(1280 × 800)の場合(EB-U32/EB-W31/EB-W420)

アスペクトモード	入力信号のアスペクト比	
	16:10	16:9
ノーマル オート		
16:9		
フル		
ズーム		
リアル		

解像度XGA(1024 × 768)またはSVGA(800 × 600)の場合(EB-X36/EB-X31/EB-S31/EB-S04)

アスペクトモード	入力信号のアスペクト比	
	16:10	16:9
オート		



アスペクトモード	入力信号のアスペクト比		
	16:10	16:9	4:3
4:3			
16:9			

関連項目

- 「映像のアスペクト比を設定する」 [p.53](#)



本機には、投写環境や映像の種類に応じて、明るさ、コントラスト、色を最適化するためのカラーモードを用意しています。環境や映像の種類に合ったカラーモードを選択できます。

関連項目

- 「プロジェクターの基本機能を使用する」 p.34
- 「カラーモードを変更する」 p.56
- 「カラーモードの種類」 p.56
- 「オートアイリスを設定する」 p.57

3 投写中の入力信号で選択できるカラーモードを順に切り替えるには、【カラーモード】ボタンを繰り返し押し押します。

カラーモードは【画質】メニューの【カラーモード】でも設定できます。

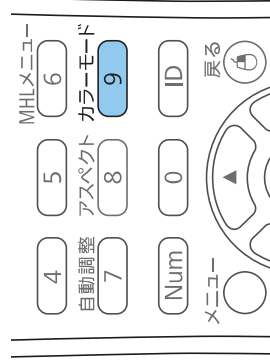
関連項目

- 「カラーモードを設定する」 p.56
- 「画質メニュー」 p.108

カラーモードを変更する

リモコンでカラーモードを変更して、映像を最適化します。

- 1** 本機の電源を入れ、投写する機器の映像に切り替えます。
- 2** リモコンの【カラーモード】ボタンを押してカラーモードを切り替えます。



カラーモードの名称が一時的に投写画面に表示され、映像の表示が切り替わります。

カラーモードの種類

投写している映像の種類に応じて、以下のカラーモードを設定できます。

カラーモード	説明
プレゼンテーション	鮮やかで臨場感のある映像になります。明るい部屋で、プレゼンテーションを行ったり、テレビ番組を楽しむのに適しています。
ダイナミック	一番明るいモードです。明るい部屋での使用に最適です。
シネマ	自然な色合いの映像になります。暗い部屋で映画を楽しむのに適しています。
sRGB	sRGBに準拠した映像になり、色が忠実に再現されます。写真などの静止画を投写するのに適しています。
黒板	黒板(緑色)に投写しても、スクリーンに投写したときのような自然な色合いの映像になります。

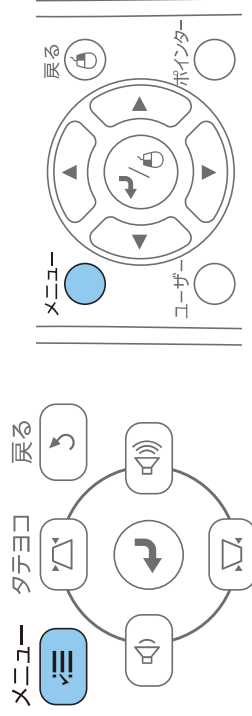
関連項目

- 「カラーモードを設定する」 p.56

オートアイリスを設定する

カラーモードが[ダイナミック]または[シネマ]のとき、映像の明るさに応じて映像を自動的に最適化します。

- 1** 本機の電源を入れ、投写する機器の映像に切り替えます。
- 2** 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。



- 3** 【画質】を選択し、【決定】ボタンを押します。



- 4** 【オートアイリス】を選択し、【決定】ボタンを押します。



- 5** 以下のいずれかを選択し、【決定】ボタンを押します。

- [高速]：シーンが切り替わったとき、すぐに光量を調整します。
- [標準]：標準の光量調整が行われます。



- 6 【メニュー】ボタンまたは【戻る】ボタンを押してメニューを終了します。

関連項目

- 「カラーモードを設定する」 [p.56](#)

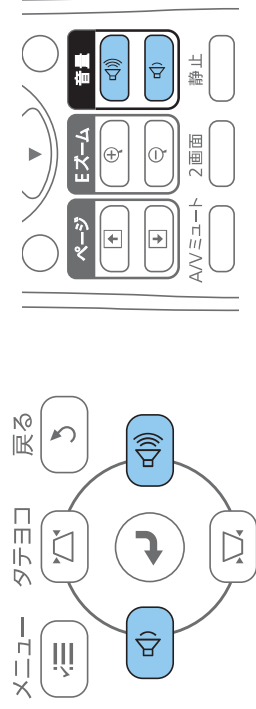


音量ボタンは、プロジェクターの内蔵スピーカーの音量を調整します。音量は接続した入力ソースごとに調整する必要があります。

関連項目

- 「プロジェクターの基本機能を使用する」 p.34
- 「設定メニュー」 p.112

- 1** 本機の電源を入れ、投写する機器の映像に切り替えます。
- 2** 操作パネルまたはリモコンの【音量】ボタンを押して、音量を調整します。



操作パネルの【音量】ボタンは、EB-U32/EB-W31/EB-X36/EB-X31/EB-W420でのみ使用できます。

音量調節画面が表示されます。

- 3** メニューから音量を調整するときは、【設定】メニューの【音量】を設定します。設定値は入力ソースごとに保持されます。



注意

初めから音量を上げすぎないでください。突然大きな音が出て、聴力障害の原因となることがあります。電源を切る前に音量を下げおき、電源を入れた後で徐々に上げてください。

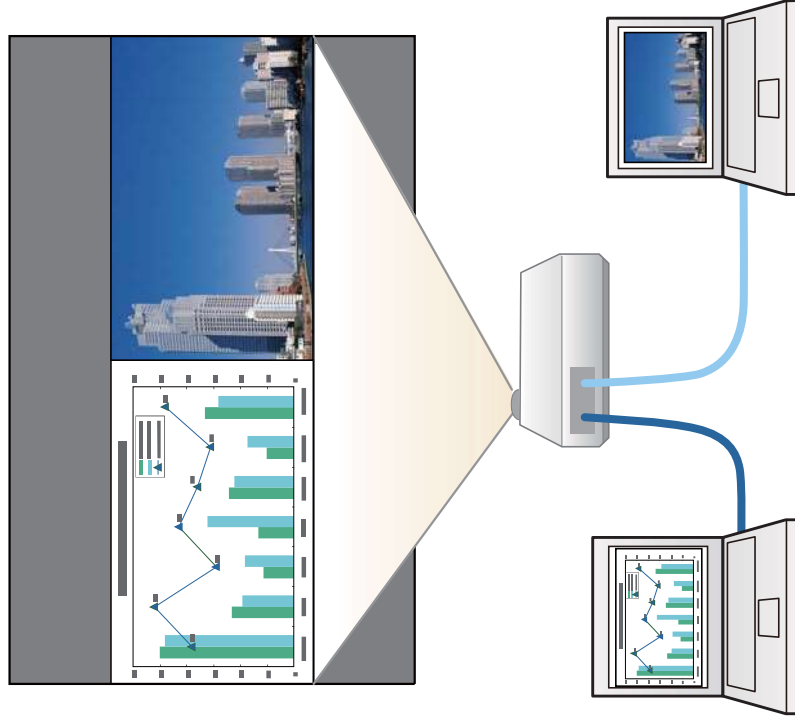
プロジェクターの便利な機能

プロジェクターの各機能を使用します。

関連項目

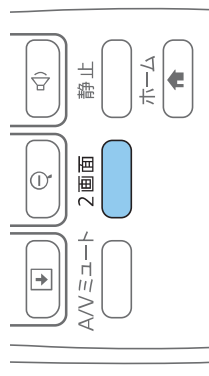
- 「2つの映像を同時に投写する」 [p.61](#)
- 「PC Free機能で投写する」 [p.64](#)
- 「映像と音声を一時的に遮断する」 [p.69](#)
- 「映像を一時的に停止する」 [p.70](#)
- 「画面の一部を拡大表示する」 [p.71](#)
- 「リモコンでコンピューターのマウス操作をする」 [p.72](#)
- 「リモコンでポインターを表示する」 [p.73](#)
- 「ユーザーロゴを設定する」 [p.74](#)
- 「複数台のプロジェクターから投写した映像の色差補正」 [p.77](#)
- 「セキュリティー機能」 [p.80](#)

2画面機能を使用して、2つの機器の映像を同時に投写します。2画面機能はリモコンまたはメニューから実行できます。



2画面機能を使用しているときは、本機の一部の機能が使用できなくなったり、一部の設定が自動的に両方の映像に適用されたりすることがあります。

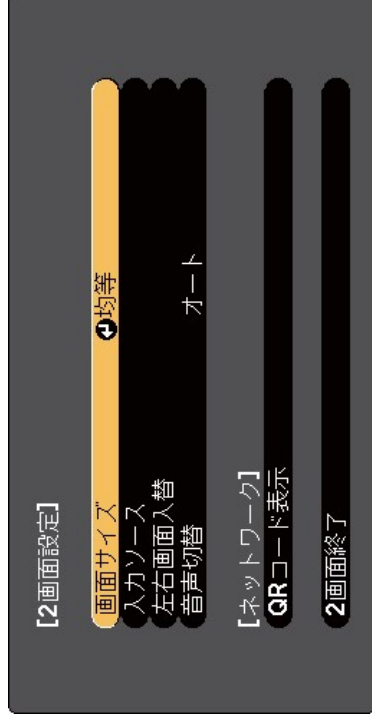
1 リモコンの【2画面】ボタンを押します。



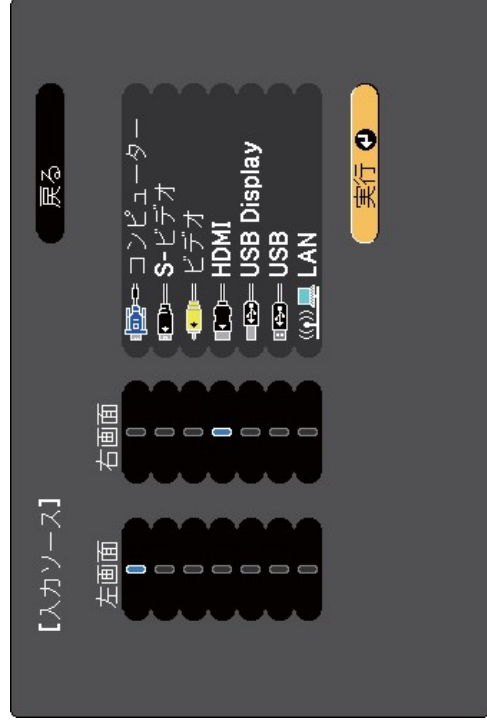
投写している入カソースの映像が左画面に投写されます。

【設定】メニューの【2画面】からも同じ操作ができます。

2 【メニュー】ボタンを押します。
次の画面が表示されます。



3 右画面に投写する入カソースを選択するには、【入カソース】を選択し、【決定】ボタンを押します。入カソースを選択し、【実行】を選択して【決定】ボタンを押します。



- 組み合わせ可能な入カソースのみを選択できます。
- 2画面で投写中は、リモコンで入カソースを切り替える操作をしたときにも入カソース画面が表示されます。

4

左右の映像を切り替えるには、[左右画面入替]を選択し、[決定]ボタンを押します。

投写映像の左右が入れ替わります。



5

一方の映像を縮小してもう一方の映像を拡大するには、[画面サイズ]を選択し、[決定]ボタンを押します。拡大する画面を選択し、[決定]ボタンを押してから、[メニュー]ボタンを押して終了します。



映像信号によっては、[均等]を選択しても左右の映像の大きさが一致しないことがあります。

6

左右画面の音声を切り替えるには、[音声切替]を選択し、[決定]ボタンを押します。音声を出力する画面を選択し、[決定]ボタンを押してから[メニュー]ボタンを押して終了します。



[オート]を選択すると、拡大している方の画面、または左画面の音声が出力されます。

7

2画面機能を終了するには、[2画面]ボタンまたは[戻る]ボタンを押します。

関連項目

- 「プロジェクターの便利な機能」 p.60
- 「2画面投写できない入カソースの組み合わせ」 p.62
- 「2画面投写中の制限事項」 p.63

2画面投写できない入カソースの組み合わせ

以下の入カソースの組み合わせでは、2画面投写はできません。

- コンピューター、ビデオ、S-ビデオ
- USB Display、USB、LAN



関連項目

- 「2つの映像を同時に投写する」 p.61

2画面投写中の制限事項

操作に関する制限事項

2画面で投写中は、以下の操作はできません。

- メニューの設定
- Eズーム
- アスペクトモードの切り替え(アスペクトモードは[ノーマル]に設定されます。)
- リモコンの【ユーザー】ボタンでの操作
- オートアイリス



ヘルプ画面は、映像信号が入力されていないとき、または異常・警告通知が表示されたときのみ表示できます。

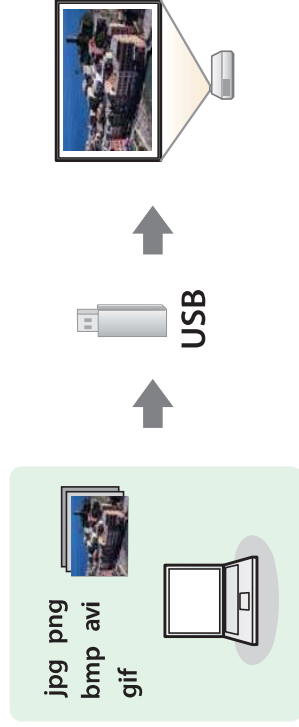
画質調整に関する制限事項

- [画質]メニューで調整した設定([明るさ]、[コントラスト]、[色の濃さ]、[色合い]、[シャープネス])は左画面にのみ適用され、右画面には初期設定が適用されます。[カラーモード]や[色温度]など、映像全体に対する設定は、両方の画面に適用されます。
- 右画面では、[画質]メニューの[ノイズリダクション]は0に、[プログレスシブ変換]は[オフ]に設定されます。
- 映像信号の未入力時にユーザーロゴを表示することはできません。ユーザーロゴを設定していても、青い画面が表示されます。

関連項目

- 「2つの映像を同時に投写する」 p.61
- 「映像のアスペクト比を設定する」 p.53
- 「画面の一部を拡大表示する」 p.71
- 「オートアイリスを設定する」 p.57
- 「カラーモードを設定する」 p.56
- 「映像メニュー」 p.110
- 「設定メニュー」 p.112
- 「拡張設定メニュー」 p.114

PC Free機能は、投写ファイルを格納したUSB機器を本機に接続して映像を投写します。素早く簡単に映像を投写でき、リモコンから映像を操作することもできます。



関連項目

- 「プロジェクターの便利な機能」 [p.60](#)
- 「サポートファイル形式」 [p.64](#)
- 「PC Free使用時の注意事項」 [p.64](#)
- 「PC Freeのスライドショーを開始する」 [p.65](#)
- 「PC Freeで動画を投写する」 [p.66](#)
- 「PC Freeの表示オプション」 [p.67](#)

ファイルの内容	ファイルタイプ(拡張子)	詳細
静止画	.jpg	以下のファイル形式は投写できません。 <ul style="list-style-type: none"> • CMYK形式 • プログレッシブ形式 • 高圧縮 • 解像度が8192 × 8192以上
	.bmp	解像度が1280 × 800以下であること。
	.gif	以下のファイル形式は投写できません。 <ul style="list-style-type: none"> • 解像度が1280 × 800以上 • アニメーションファイル
動画	.png	解像度が1280 × 800以下であること。
	.avi (Motion JPEG のみ)	以下のファイル形式は投写できません。 <ul style="list-style-type: none"> • PCM、ADPCM以外の音声コーデックで保存されたファイル • 解像度が1280 × 720以上 • ファイルサイズが2 GB以上

関連項目

- 「PC Free機能で投写する」 [p.64](#)

サポートファイル形式

以下の形式のファイルをPC Freeで投写できます。

- FAT16/32でフォーマットされたUSB機器にファイルを格納してください。
- Windows以外のファイルシステムでフォーマットしたUSB機器で投写に問題があるときは、Windowsでフォーマットしてください。

PC Free使用時の注意事項

PC Free機能を使用するときは、以下の点に注意してください。

- PC Freeで投写中は、USB機器を本機から取り外さないでください。PC Freeが正しく動作しなくなるおそれがあります。
- セキュリティー機能が搭載されているUSB機器は、使用できないことがあります。

- ACアダプターが付属されているUSB機器を接続するときは、ACアダプターを電源コンセントに接続してください。
- 市販のUSBカードリーダーの中には、本機で使用できないものもあります。
- 本機は、同時に5つまでのメディアを認識できます。
- PC Freeで投写中は映像のゆがみを補正できないため、PC Freeを実行する前に補正してください。
- 以下の機能はPC Freeで投写しているときでも使用できます。
 - 静止
 - AVミュート
 - Eズーム
 - ポインター

関連項目

- 「PC Free機能で投写する」 p.64
- 「映像を一時的に停止する」 p.70
- 「映像と音声を一時的に遮断する」 p.69
- 「画面の一部を拡大表示する」 p.71
- 「リモコンでポインターを表示する」 p.73

PC Freeのスライドショーを開始する

USB機器をプロジェクターに接続した後、入カソースをUSBに切り替えてスライドショーを開始します。



画面下部の「オプション」を選択し、【決定】ボタンを押して、PC Freeの動作設定を変更したり、画面切替効果を追加したりできます。

1 リモコンの【USB】ボタンを押します。

PC Freeファイル一覧画面が表示されます。



- ドライブの選択画面が表示されたときは、上下左右ボタンでドライブを選択して、【決定】ボタンを押します。
- ドライブの選択画面を表示するには、ファイル一覧画面上の【ドライブの選択】を選択して、【決定】ボタンを押します。

2 以下の操作で投写するファイルを探します。

- USB機器のサブフォルダーにあるファイルを投写するときは、上下左右ボタンで該当のフォルダーを選択して、【決定】ボタンを押します。
- ひとつ上のフォルダーに戻るときは、「上へ戻る」を選択して、【決定】ボタンを押します。
- 同一フォルダー内の表示されていないファイルを表示するには、[次のページ]または[前のページ]を選択して【決定】ボタンを押すか、リモコンの【ページ送り/戻し】ボタンを押します。

3 以下のいずれかの操作でファイルを投写します。



- 投写するファイルを1つずつ選択するときは、上下左右ボタンで画像を選択し、【決定】ボタンを押します。(ファイル一覧画面に戻るには、【戻る】ボタンを押します。)
- 同一フォルダー内のすべての画像をスライドショーで表示するには、上下左右ボタンで画面下部の[スライドショー]を選択し、【決定】ボタンを押します。

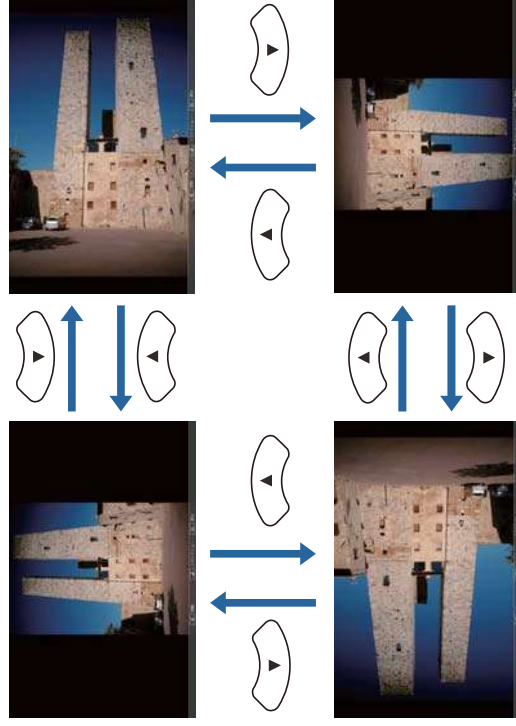


- 画像の切り替え時間を変更できます。画面下部の[オプション]を選択し、【決定】ボタンを押して、表示オプション設定画面で変更してください。
- ファイル名の文字数が表示幅を超える場合や、非対応の記号が含まれている場合は、PC Free機能ではファイル名が短縮または変更されません。

4

投写中は、以下の操作ができます。

- 画像の回転：上下ボタンを押して、画像を回転できます。



- 画像の送り戻し：左右ボタンを押して、表示中の画像の前または次の画像を表示します。

- 5 画像の投写を終了するときは、【戻る】ボタンを押します。ファイル一覧画面が再度表示されます。

- 6 必要に応じてUSB機器の電源を切り、本機から取り外します。

関連項目

- 「PC Free機能で投写する」 p.64
- 「USB機器を接続する」 p.29
- 「PC Freeの表示オプション」 p.67

PC Freeで動画を投写する

USB機器をプロジェクターに接続した後、入力ソースをUSBに切り替えて、動画の投写を開始します。



画面下部の[オプション]を選択し、【決定】ボタンを押して、PC Freeの動作設定オプションを変更できます。

- 1 リモコンの【USB】ボタンを押します。

PC Freeファイル一覧画面が表示されます。



- ファイル名の文字数が表示幅を超える場合や、非対応の記号が含まれている場合は、PC Free機能ではファイル名が短縮または変更されます。
- 同一フォルダー内のすべての動画を連続再生するには、画面下部の[スライドショー]を選択します。

4 投写を終了するときは、[戻る]ボタンを押し、[終了]を選択して[決定]ボタンを押します。

ファイル一覧画面に戻ります。

5 必要に応じてUSB機器の電源を切り、本機から取り外します。



- ドライブの選択画面が表示されたときは、上下左右ボタンでドライブを選択して、[決定]ボタンを押します。
- ドライブの選択画面を表示するには、ファイル一覧画面上部の[ドライブの選択]を選択して、[決定]ボタンを押します。

関連項目

- 「PC Free機能で投写する」 p.64
- 「USB機器を接続する」 p.29
- 「PC Freeの表示オプション」 p.67

2 以下の操作で投写するファイルを探します。

- USB機器のサブフォルダーにあるファイルを投写するときは、上下左右ボタンで該当のフォルダーを選択して、[決定]ボタンを押します。
- ひとつ上のフォルダーに戻るときは、[上へ戻る]を選択して、[決定]ボタンを押します。
- 同一フォルダー内の表示されていないファイルを表示するには、[次のページ]または[前のページ]を選択して[決定]ボタンを押すか、[ページ送り/戻し]ボタンを押します。

3 上下左右ボタンでファイルを選択し、[決定]ボタンを押します。

PC Freeの表示オプション

PC Freeでは、以下の表示オプションを設定できます。PC Freeファイル一覧画面下部の[オプション]を選択し、[決定]ボタンを押します。



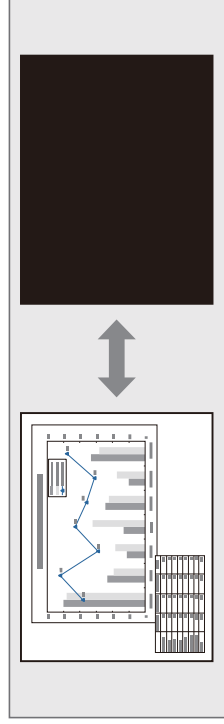
設定	選択肢	説明
	ランダム	画像の切り換え時にランダム効果を入れる

関連項目

- 「PC Free機能で投写する」 p.64

設定	選択肢	説明
表示順序設定	ファイル名順	ファイル名順でファイルを表示
	更新日付順	更新日付順でファイルを表示
ソート方向	昇順	数字やアルファベットの小さい順にファイルを並べる
	降順	数字やアルファベットの大きい順にファイルを並べる
繰り返し再生	オン	スライドショーを連続表示
	オフ	スライドショーを1回のみ表示
表示時間設定	なし	画像の自動送りなし
	1秒～60秒	設定した秒数の間画像を表示した後、自動的に次の画像を表示(高解像度の画像は、設定秒数よりも切り替えが遅れることがあります)
画面切替効果	なし	切り替え効果なし
	ワイプ	画像の切り換え時にワイプ効果を入れる
	ディゾルブ	画像の切り換え時にディゾルブ効果を入れる

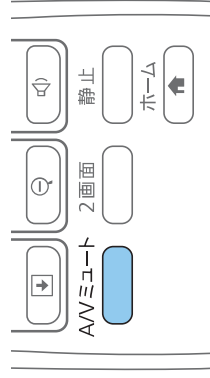
プレゼンテーション中に聴衆の関心を引きたいときなど、投写映像と音声を一時的に消すことができます。遮断中も映像と音声は進んでいるため、遮断した場面から投写を再開することはできません。



リモコンの【AVミュート】ボタンを押したときに、ロゴや写真などを表示するには、【拡張設定】メニューの【AVミュート】で、表示したい画面を設定します。

● 【拡張設定】 > 【表示設定】 > 【AVミュート】

1 リモコンの【AVミュート】ボタンを押して、映像と音声を一時的に遮断します。



2 投写を再開するときは、再度【AVミュート】ボタンを押します。



- 本機のレンズカバーを閉じることで、投写を遮断することもできます。
- AVミュートの実行後30分経過すると、自動的に本機の電源が切れます。この機能は【節電】メニューで無効にできます。
 - 【節電】 > 【レンズカバータイマー】
 - 【節電】 > 【AVミュートタイマー】
- AVミュート中も投写ランプは動作し続けるため、ランプ点灯時間は加算されません。

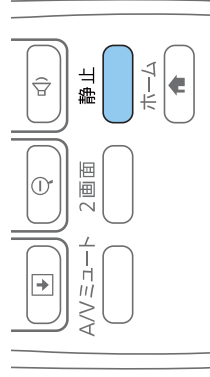
関連項目

- 「プロジェクターの便利な機能」 p.60
- 「拡張設定メニュー」 p.114
- 「節電メニュー」 p.122



動画やプレゼンテーションスライドを一時的に停止して、静止画像として投写します。停止中も映像と音声は進んでいるため、停止した場面から投写を再開することはできません。

- 1 リモコンの【静止】ボタンを押して、動画を停止します。

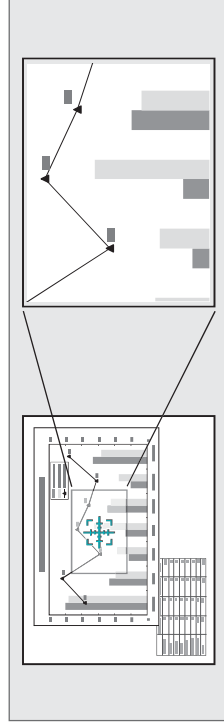


- 2 停止を解除するときは、再度【静止】ボタンを押します。

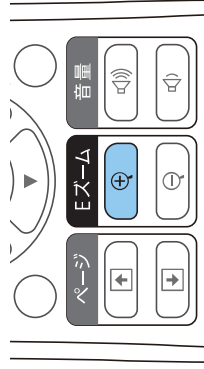
関連項目

- 「プロジェクターの便利な機能」 p.60

映像の一部をズームして拡大表示することで、プレゼンテーションのポイントに注目させることができます。

**関連項目**

- 「プロジェクターの便利な機能」 p.60

1 リモコンの【Eズーム(+)]ボタンを押します。

ズームエリアの中心を示す十字カーソルが画面に表示されます。

2 以下の操作でズームエリアを決めてズームします。

- 十字カーソルの移動：上下左右ボタンでズームしたい位置に十字カーソルを移動します。隣り合う上下左右ボタンを2つ同時に押すと、十字カーソルを斜めに移動できます。
 - ズームイン：【Eズーム(+)]ボタンを繰り返し押します。ズームインの速度を上げるには、【Eズーム(+)]ボタンを長押しします。1~4倍まで、25段階で拡大できます。
 - ズームエリアの移動：ズームイン中に上下左右ボタンを押すと、ズーム表示エリアを移動できます。
 - ズームアウト：【Eズーム(-)]ボタンを押します。
 - ズーム解除：【戻る]ボタンを押します。
- 拡大された映像が投写され、拡大倍率が画面に表示されます。



本機のリモコンをコンピューターのワイヤレスマウスとして使用して、コンピューターの画面を操作できます。



ワイヤレスマウス機能はWindows 2000以降とOS X 10.3.x以降のコンピューターで使用できます。

- 1 本機の**USB-B**、コンピューター、または**HDMI**のいずれかの端子にコンピューターを接続します。

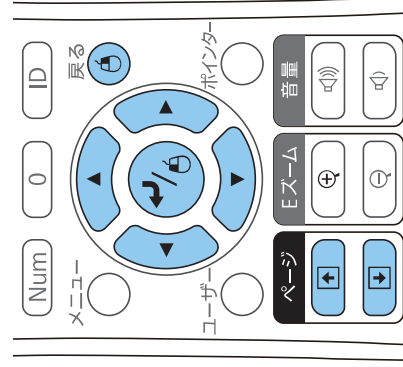


MHLケーブルを使って携帯端末をHDMI/MHL端子に接続して投写しているときは、ワイヤレスマウス機能は動作しません。

- 2 手順1で**USB-B**以外の端子にコンピューターを接続したときは、本機の**USB-B**端子とコンピューターを**USB**ケーブルで接続します（ワイヤレスマウス用）。

- 3 映像を投写します。

- 4 以下の操作で、コンピューターを操作します。



- スライド、ページの送り/戻し：【ページ送り/戻し】ボタンを押します。
- カーソルの移動：上下左右ボタンを押します。隣り合う上下左右ボタンを2つ同時に押すと、ポインターを斜めに移動できます。
- クリック：【決定】ボタンを1回押します（ダブルクリックは2回押します）。右クリックするには【戻る】ボタンを押します。
- ドラッグ&ドロップ：【決定】ボタンを押したまま上下左右ボタンを押してカーソルを移動し、目的の場所で【決定】ボタンを離します。



- コンピューターでマウス機能を左右逆に設定しているときは、リモコンでの操作も左右逆になります。
 - 以下のときは、ワイヤレスマウス機能は動作しません。
 - ・メニューまたはヘルプ画面の表示中
 - ・ワイヤレスマウス以外の機能（音量調整など）を実行しているとき
- ただし、Eズームまたはポインター機能を使用しているときは、ページ送り/戻しができます。

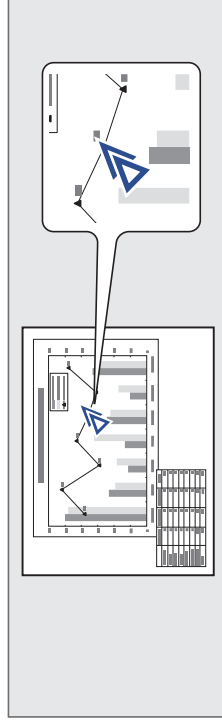
関連項目

- 「プロジェクターの便利な機能」 p.60
- 「画面の一部を拡大表示する」 p.71
- 「リモコンでポインターを表示する」 p.73

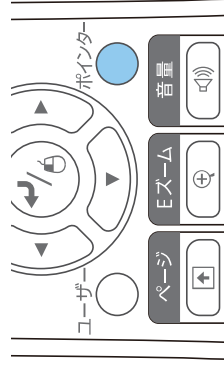
本機のリモコンをポインターとして使用して、画面上の重要な情報に注目させることができます。ポインターの形状は、初期設定では矢印に設定されています。ポインターの形状は、[設定]メニューの[ポインター形状]で変更できます。

関連項目

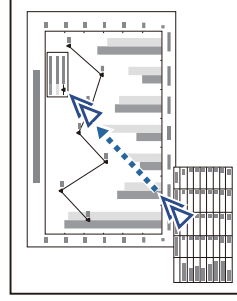
- 「プロジェクターの便利な機能」 p.60
- 「設定メニュー」 p.112



1 リモコンの【ポインター】ボタンを押します。



2 上下左右ボタンでポインターを移動します。隣り合う上下左右ボタンを2つ同時に押すと、ポインターを斜めに移動できます。



3 ポインターを消すときは、【戻る】ボタンを押します。

プロジェクターの電源投入時に表示する画像を設定します。本機が入力信号を検出していないときや、投写映像を遮断しているとき（AVミュート時に）、設定した画像を表示することもできます。この画像をユーザーロゴと呼びます。

写真、グラフィック、会社のロゴなどをユーザーロゴとして設定し、プロジェクターの所有者を明示することで、本機の盗難防止などに役立ちます。また、パスワードプロテクトを設定して、ユーザーロゴを変更できないようにすることができます。



- ユーザーロゴの設定後は、初期設定のロゴに戻せません。
- [パスワードプロテクト]設定画面で[ユーザーロゴ保護]を[オン]にしているときは、[オフ]にしてからユーザーロゴを設定してください。
- 一括設定機能を使用して、複数のプロジェクター間でメニュー設定をコピーすると、ユーザーロゴもコピーされます。複数のプロジェクター間で共有したくない画像は、ユーザーロゴとして設定しないでください。

- 1** ユーザーロゴとして設定する画像を投写します。
- 2** 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。
- 3** 【拡張設定】を選択し、【決定】ボタンを押します。



4 【ユーザーロゴ】を選択し、【決定】ボタンを押します。




確認画面が表示されます。

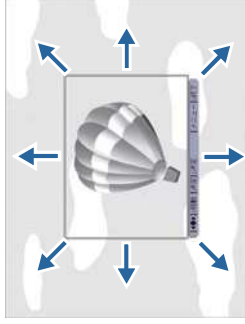


【ユーザーロゴ】を選択すると、台形補正、Eズーム、アスペクトなどの設定が、一時的に無効になります。


5 **【はい】**を選択し、**【決定】**ボタンを押します。
投写している画像上に選択枠が表示されます。

 投写している映像信号によっては、映像信号の解像度に合わせ、画面上に選択枠が表示されることがあります。

6 上下左右ボタンを押して、ユーザーロゴとして使用する範囲を選択枠で囲み、**【決定】**ボタンを押します。



確認画面が表示されます。

 選択枠の大きさ(400 × 300ピクセル)は変更できません。

7 **【はい】**を選択し、**【決定】**ボタンを押します。(選択範囲を変更するときは、**【いいえ】**を選択し、**【決定】**ボタンを押します。)
ユーザーロゴの表示倍率設定画面が表示されます。

8 表示倍率を選択し、**【決定】**ボタンを押します。



確認画面が表示されます。

- 9** **【はい】**を選択し、**【決定】**ボタンを押します。
ユーザーロゴが保存され、完了メッセージが表示されます。
- 10** **【戻る】**ボタンを押して、メッセージを閉じます。
- 11** **【拡張設定】**を選択し、**【決定】**ボタンを押します。
- 12** **【表示設定】**を選択し、**【決定】**ボタンを押します。
- 13** ユーザーロゴを表示するタイミングを設定します。
 - 入力信号を未検出のときに表示する：[背景表示]を[ロゴ]に設定します。
 - 本機の電源投入時に表示する：[スタートアップスクリーン]を[オン]に設定します。
 - **【AVミュート】**ボタンを押したときに表示する：[AVミュート]を[ロゴ]に設定します。

ユーザーロゴが自由に変更されることを防ぐには、[パスワードプロテクト]設定画面で[ユーザーロゴ保護]を[オン]にしてパスワードを設定してください。



関連項目

- 「プロジェクターの便利な機能」 [p.60](#)
- 「映像と音声を一時的に遮断する」 [p.69](#)
- 「パスワードプロテクトの種類を設定する」 [p.81](#)

本機を複数台並べて投写するときは、それぞれの映像の明るさや色合いの違いを補正します。

プロジェクターごとリモコンで補正するため、各プロジェクターにプロジェクターIDを設定してから明るさと色合いを補正します。



- 補正を行っても、それぞれの映像の明るさと色合いは完全に一致しないことがあります。
- 時間の経過とともに、映像の明るさと色合いの違いが目立つことがあります。その場合は、再度補正を行ってください。

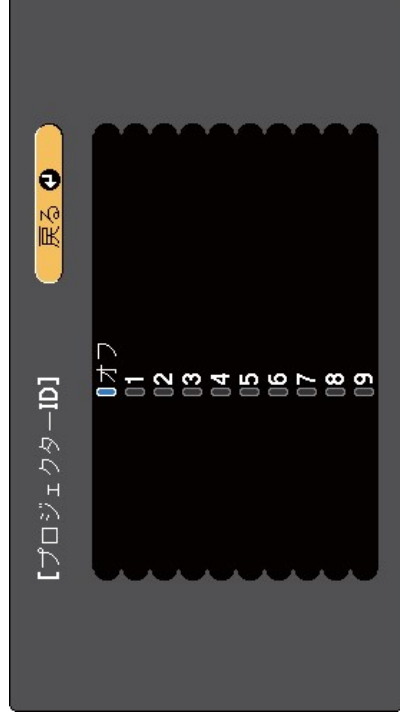
関連項目

- 「プロジェクターの便利な機能」 p.60
- 「プロジェクターにIDを設定する」 p.77
- 「操作対象のプロジェクターIDをリモコンで選択する」 p.77
- 「複数のプロジェクターの映像品質を合わせる」 p.78

プロジェクターにIDを設定する

1台のリモコンから複数のプロジェクターを操作するために、各プロジェクターに一意のIDを指定します。

- 1 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。
- 2 【拡張設定】を選択し、【決定】ボタンを押します。
- 3 【プロジェクターID】を選択し、【決定】ボタンを押します。
- 4 対象のプロジェクターに設定するID番号を選択します。その後、【決定】ボタンを押します。



- 5 【メニュー】ボタンまたは【戻る】ボタンを押してメニューを終了します。

リモコンから操作するすべてのプロジェクターに対して、同様の手順を繰り返します。

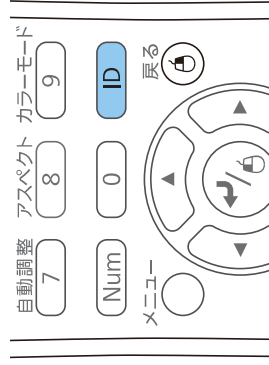
関連項目

- 「複数台のプロジェクターから投写した映像の色差補正」 p.77

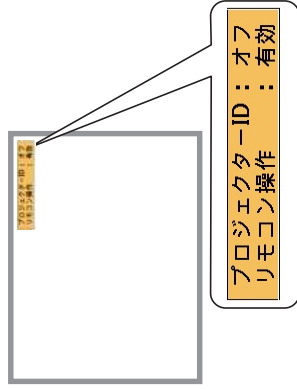
操作対象のプロジェクターIDをリモコンで選択する

プロジェクターのIDを設定した後、リモコンで操作対象のプロジェクターのIDを選択します。

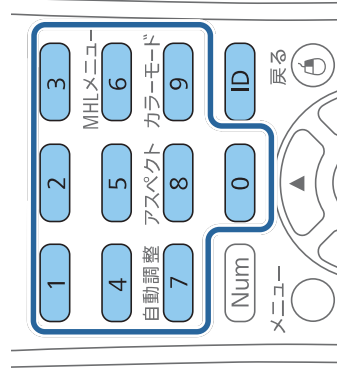
- 1 操作対象のプロジェクターにリモコンを向けて、【ID】ボタンを押します。



プロジェクトクターに設定されたIDが投写画面に表示されます。表示は約3秒後に消えます。



2 [ID] ボタンを押したまま、操作対象のプロジェクトクターIDと同じ数字のボタンを押します。



選択したIDが設定されたプロジェクトクターのリモコン操作が有効になります。

3 [ID] ボタンを押して、IDの設定を確認します。

以下が表示されます。

- リモコン操作：[有効]と表示；現在操作中のプロジェクトクターでリモコン操作ができるよう設定されています。
- リモコン操作：[無効]と表示；リモコン操作ができないように設定されています。上記の手順を繰り返して、リモコン操作を有効にしてください。



- 操作対象のプロジェクトクターIDは、プロジェクトクターの電源を入れるたびに選択する必要があります。電源投入時、リモコンのID設定は0になっています。
- [プロジェクトクターID]を[オフ]に設定しているときは、リモコンで選択したID設定に関わらず、プロジェクトクターをリモコンで操作できます。
- リモコンでIDを0に選択したときは、プロジェクトクターIDの設定に関わらず、すべてのプロジェクトクターを操作できます。

関連項目

- 「複数台のプロジェクトクターから投写した映像の色差補正」 p.77

複数台のプロジェクトクターの映像品質を合わせる

本機を複数台並べて投写するときの映像品質を合わせます。

- 1** 映像品質を合わせたいすべてのプロジェクトクターの電源を入れます。
- 2** 各プロジェクトクターにID番号を設定します。



- 3** 各プロジェクトのカラーモードが同じ設定であることを確認します。
- 4** 1台目のプロジェクトのIDを選択して、リモコン操作を有効にします。
- 5** 【メニュー】ボタンを押し、【画質】メニューを選択して、【決定】ボタンを押します。



- 6** 必要に応じて、映像品質を調整します。
- 7** 2台目以降のプロジェクトのIDを選択して、1台目と映像品質が一致するように画質メニューで調整します。

関連項目

- 「複数台のプロジェクトから投写した映像の色差補正」 [p.77](#)



以下のセキュリティ機能を使用することで、プロジェクターの盗難や誤用・悪用を防止します。

- パスワードプロテクト：パスワードを知らないユーザーが本機を使用できないようにします。また、起動時に表示する画面などの設定を変更できないようにします。本機を使用できるユーザーを制限したり、プロジェクターを持ち出ししても使用できないことで盗難防止の効果があります。
- 操作ボタンロック：操作パネルのボタン操作をできないようにします。イベントや展示会などで投写中にプロジェクターを操作できないようにしたり、学校などで操作できるボタンを制限したいときに便利です。
- セキュリティーケーブール：プロジェクターを固定して盗難を防ぎます。

関連項目

- 「プロジェクターの便利な機能」 p.60
- 「パスワードプロテクトの種類」 p.80
- 「操作パネルのボタン操作を制限する」 p.83
- 「セキュリティケーブールを取り付ける」 p.84

パスワードプロテクトの種類

パスワードを1つ設定して、以下の種類のパスワードプロテクトを設定できます。

- **【電源投入時】**：パスワードを知らないユーザーが本機を起動できないようにします。電源コードで本機とコンセンストを接続後、最初に電源を入れたときに、事前に設定してあるパスワードの入力が要求されます。ダイレクタパワーオンおよびオートパワーオン機能でプロジェクターが起動したときも、パスワードの入力が必要になります。

- **【ユーザーロゴ保護】**：プロジェクターの電源を入れたときや、入力番号が未検出のとき、AVミュート時などに表示されるユーザーロゴの画面設定を変更できないようにします。ユーザーロゴを設定している場合、プロジェクターの所有者が特定されるため、盗難防止につながります。
- **【ネットワーク保護】**：[ネットワーク]メニューの設定を変更できないようにします。

関連項目

- 「セキュリティ機能」 p.80
- 「パスワードを設定する」 p.80
- 「パスワードプロテクトの種類を設定する」 p.81
- 「パスワードを入力する」 p.82

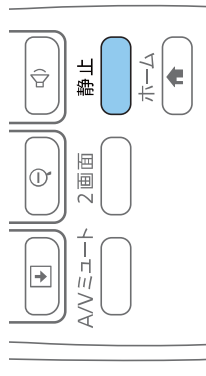
パスワードを設定する

パスワードプロテクトを行うためのパスワードを設定します。



初期設定でパスワードは「0000」に設定されています。異なるパスワードに変更してください。

- 1 リモコンの**【静止】**ボタンを約5秒間押し続けます。

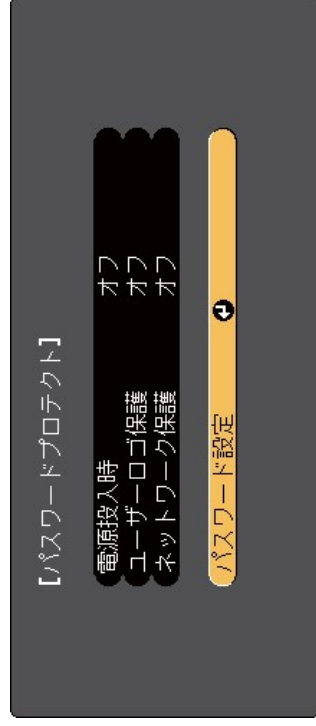


パスワードプロテクト設定メニューが表示されます。



パスワードプロテクトが既に有効になっているときは、パスワードプロテクト設定メニューを表示する前にパスワードの入力が求められます。

- 2** 【パスワード設定】を選択し、【決定】ボタンを押します。



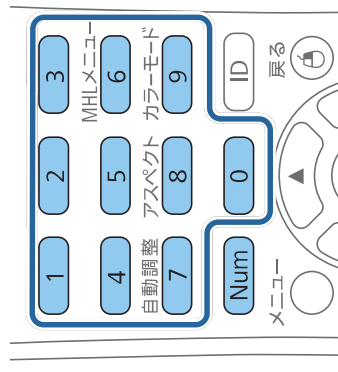
「パスワードを変更しますか？」というメッセージが表示されます。

- 3** 【はい】を選択し、【決定】ボタンを押します。



【いいえ】を選択したときは、パスワードプロテクト設定メニューが再度表示されます。

- 4** リモコンの【Num】ボタンを押したままテンキーボタンを押して、4桁のパスワードを設定します。



入力したパスワードは、「****」と表示されます。4桁目を入力すると、確認画面が表示されます。

- 5** パスワードを再入力します。

「パスワード設定が終了しました。」というメッセージが表示されます。間違えてパスワードを入力した場合は、メッセージが表示されますのでパスワード設定をやり直してください。

- 6** 【戻る】ボタンを押してメニューに戻ります。

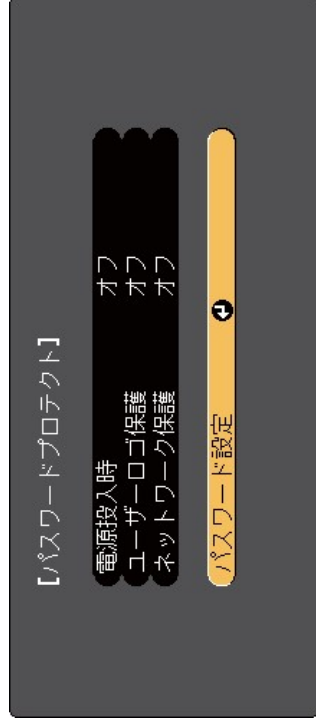
- 7** パスワードを控えて、安全な場所に保管してください。

関連項目

- 「パスワードプロテクトの種類」 p.80

パスワードプロテクトの種類を設定する

パスワードの設定後、パスワードプロテクト設定メニューで設定したいパスワードプロテクトの種類を選択します。



【パスワード】

設定されているパスワードを入力してください。

#操作については「取扱説明書」を参照してください。

このメニューが表示されないときは、メニューが表示されるまで約5秒間リモコンの【静止】ボタンを押し続けてください。

- プロジェクターの無断使用を防止したいときは、[電源投入時]を[オン]に設定します。
- ユーザーログなどの表示設定の変更を防止したいときは、[ユーザーログ保護]を[オン]に設定します。
- ネットワーク設定の変更を防止したいときは、[ネットワーク保護]を[オン]に設定します。

パスワードプロテクトステッカーを本機に貼り付けることで、盗難防止効果を向上できます。



リモコンは必ず安全な場所に保管してください。リモコンを失くすとパスワードを入力できなくなります。

関連項目

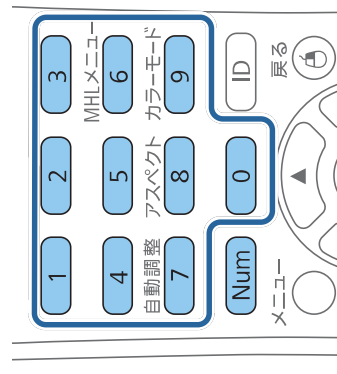
- 「パスワードプロテクトの種類」 p.80

パスワードを入力する

パスワード画面が表示されたときは、正しいパスワードを入力します。



- 1 リモコンの【Num】ボタンを押したままテンキーボタンを押してパスワードを入力します。



パスワード画面が閉じます。

- 2 誤ったパスワードを入力したときは、再入力用の画面が表示されます。正しいパスワードを入力します。

注意

- 誤ったパスワードを3回連続で入力すると、「プロジェクトの動作を停止します。」というメッセージが約5分間表示され、プロジェクトはスタンバイ状態になります。電源プラグを抜いて差し直してから、本機の電源を入れます。パスワード入力画面が表示されたら、正しいパスワードを入力してください。
- パスワードを忘れたときは、画面に表示される「[問い合わせコード]:xxxx」の番号を控えて、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。
- 上記の操作を繰り返し、誤ったパスワードを連続30回入力したときは、「プロジェクトの動作が停止します。各修理窓口へ修理を依頼してください。」というメッセージが表示され、それ以上パスワードを入力できなくなります。お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。
- パスワードに関してお問い合わせいただいた際は、お客様のお名前や連絡先などをお聞きし、お客様から返送いただいた「お客様情報+正式保証書発行カード」と照合して本人様であることを確認させていただきます。同梱の「お客様情報+正式保証書発行カード」に必要事項を記入して、必ず返送してください。

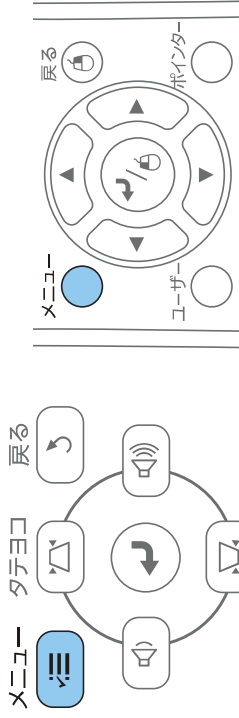
関連項目

- 「パスワードプロジェクトの種類」 p.80

操作パネルのボタン操作を制限する

操作パネルのボタンをロックして、本機の無断使用を防止します。操作パネルのすべてのボタンをロックする設定と、電源ボタン以外のすべてのボタンをロックする設定があります。リモコンからは通常どおり操作できます。

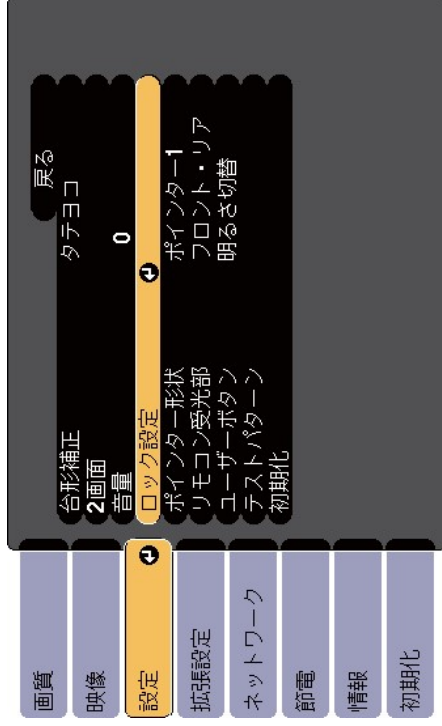
- 1** 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。



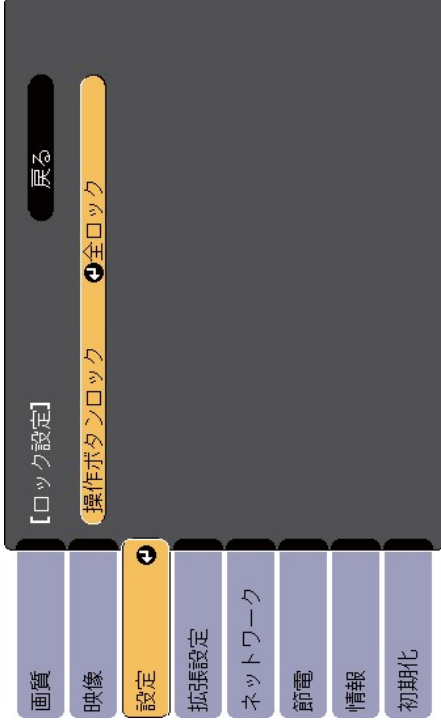
- 2** 【設定】を選択し、【決定】ボタンを押します。



- 3** 【ロック設定】を選択し、【決定】ボタンを押します。



4 [操作ボタンロック]を選択し、【決定】ボタンを押します。



5 ロックの種類を選択し、【決定】ボタンを押します。

- [全ロック]：操作パネルのすべてのボタンをロックします。
- [操作ロック]：電源ボタン以外のすべてのボタンをロックします。

確認メッセージが表示されます。

6 [はい]を選択し、【決定】ボタンを押します。

操作パネルのボタンがロックされます。

関連項目

- 「セキュリティ機能」 p.80
- 「操作ボタンロックを解除する」 p.84

操作ボタンロックを解除する

以下の方法で、操作ボタンロックを解除します。

- 操作パネルの【決定】ボタンを約7秒間押し続けます。メッセージが表示され、ロックが解除されます。
- [設定]メニューの[操作ボタンロック]を[オフ]に設定します。
 [設定] > [ロック設定] > [操作ボタンロック]

関連項目

- 「操作パネルのボタン操作を制限する」 p.83
- 「設定メニュー」 p.112

セキュリティキーブルを取り付ける

盗難防止のために、2種類のセキュリティキーブルを本機に取り付けることができます。

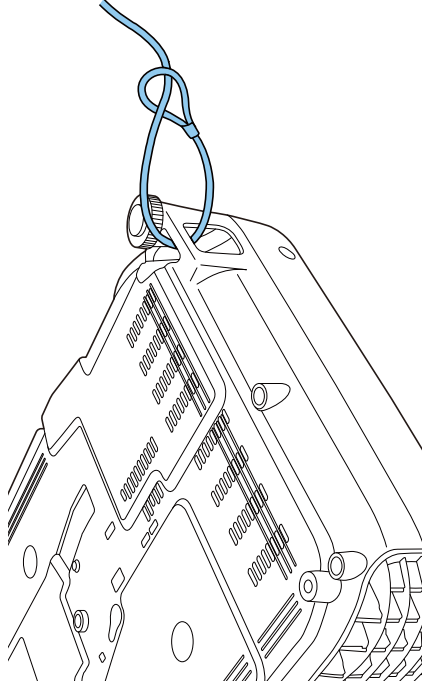


- Kensington社製のマイクロサーバーセキュリティシステムを本機のセキュリティスロットに取り付けます。



マイクロサーバーセキュリティシステムについての詳細は、<http://www.kensington.com/>をご覧ください。

- ワイヤケーブルを、本機のセキュリティケーブル取付け部に取り付けて、部屋の建具や動かないものに固定します。



市販の盗難防止用ワイヤロックを使用できます。ワイヤロックの施錠方法は、ワイヤロックに添付の取扱説明書をご覧ください。

関連項目

- 「セキュリティ機能」 p.80

ネットワーク上のプロジェクターを使用する

ネットワーク経由でプロジェクターから映像を投写するための設定について説明します。

関連項目

- 「無線LANでの映像投写」 [p.87](#)
- 「QRコードを使用してモバイルデバイスに接続する」 [p.93](#)
- 「クイックワイヤレスを使用する (Windowsのみ)」 [p.95](#)



無線LAN経由でプロジェクターから映像を投写できます。

- 無線LAN経由で投写するときは、無線LANユニットを取り付けて、プロジェクターとコンピューターの無線LAN設定をしてください (EB-W31/EB-X36/EB-X31/EB-S31/EB-W420/EB-S04)。
- 無線LANユニットが内蔵されている機種では、無線LANユニットの取り付けは不要です (EB-U32)。
- プロジェクターと無線で接続するには2種類の方法があります。
- オプションのクイックワイヤレス用USBキーを使用する (Windowsのみ)
- プロジェクターの[ネットワーク]メニューから、無線LAN設定をする

無線LANユニットの取り付けとプロジェクターのネットワーク設定が終わったら、EPSON Projector Software CD-ROM (同梱されている場合) またはダウンロードしたソフトウェアから、ネットワークソフトウェアをインストールします。無線LAN経由で映像を投写するには、以下のネットワークソフトウェアを使用します。

- EasyMP Network Projectionを使用すると、コンピューターの映像を無線LAN経由で投写できます。詳しくは、『EasyMP Network Projection 操作ガイド』をご覧ください。
- EasyMP Multi PC Projectionを使用すると、ネットワークに接続された複数のコンピューターの映像を同時に投写して、ミーティングをより活発にできます。詳しくは、『EasyMP Multi PC Projection 操作ガイド』をご覧ください。

関連項目

- 「ネットワーク上のプロジェクターを使用する」 p.86
- 「無線LANユニットを取り付ける」 p.87
- 「プロジェクターの無線LANを設定する」 p.88
- 「Windowsで無線LANを設定する」 p.90
- 「OS Xでの無線LANを設定する」 p.91
- 「無線LANのセキュリティーを設定する」 p.91

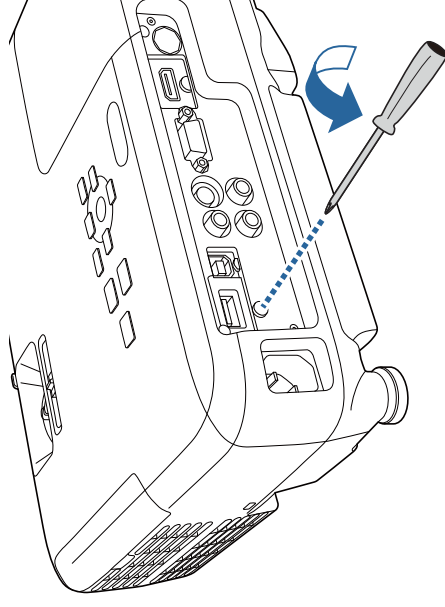
無線LANユニットを取り付ける

無線LAN経由でプロジェクターを使用するときは、無線LANユニットを取り付けます (EB-W31/EB-X36/EB-X31/EB-S31/EB-W420/EB-S04)。オプションの無線LANユニット以外は取り付けられないでください。

注意

無線LANユニットのインジケーターが青色に点灯または点滅しているときや、無線LAN経由で映像を投写しているときは、無線LANユニットを取り外さないでください。無線LANユニットの破損や故障の原因となります。

- 1 無線LANユニットカバーの固定ネジを+のドライバーで外します。



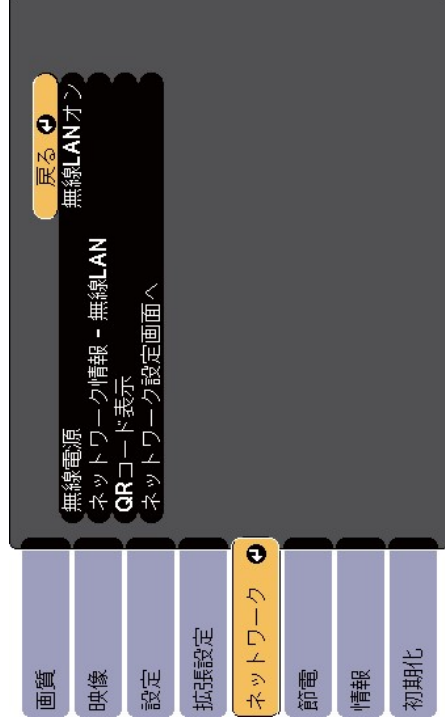
- 2 無線LANユニットをUSB-A端子に差し込みます。



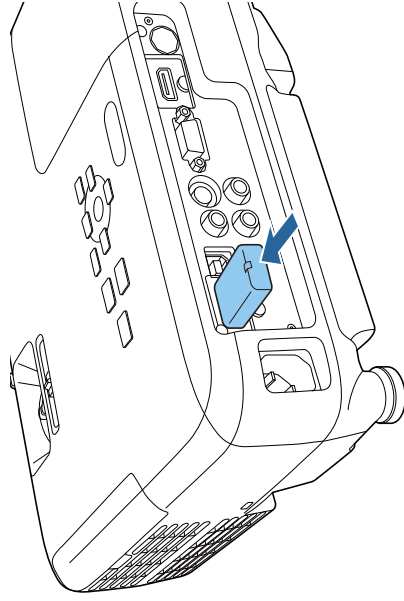
プロジェクターの無線LANを設定する

無線LAN経由でコンピューターの映像を投写するには、事前にプロジェクターのネットワーク設定が必要です。

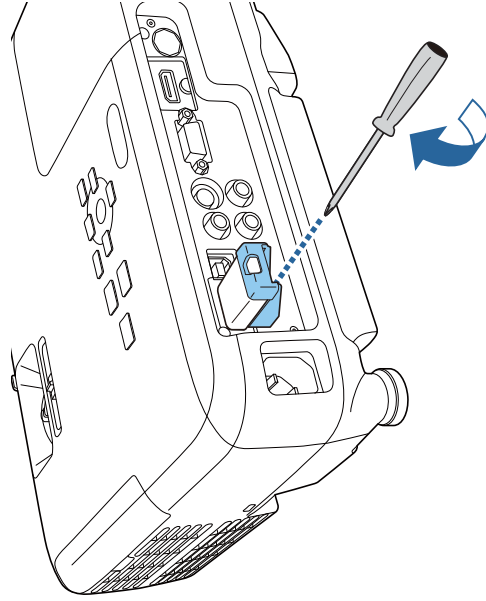
- 1** 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。
- 2** 【ネットワーク】を選択し、【決定】ボタンを押します。



- 3** 【無線電源】を【無線LANオン】に設定します。

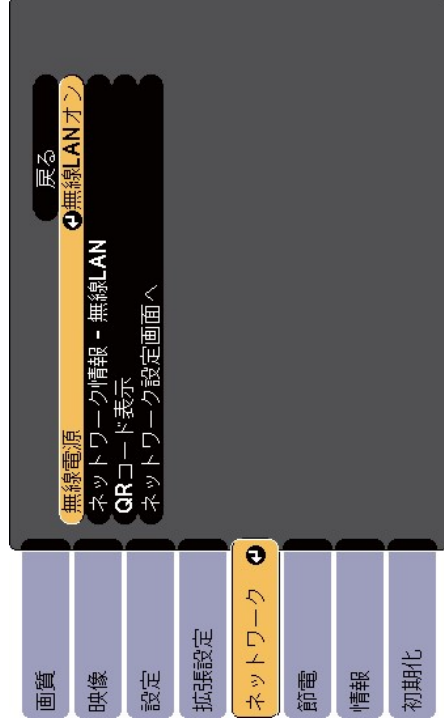


- 3** 無線LANユニットカバーを取り付けて、固定ネジを締めます。



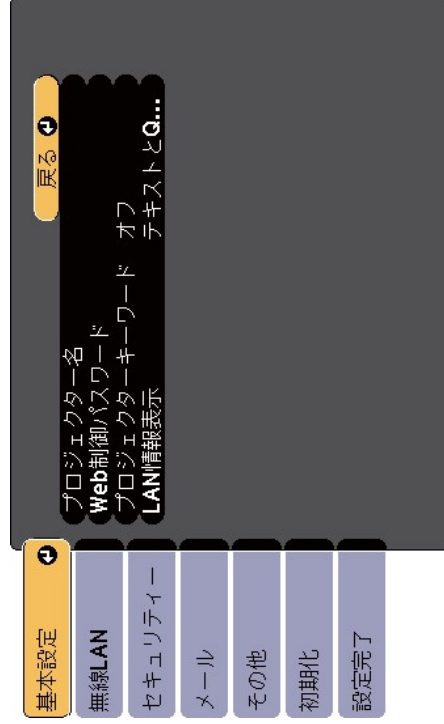
関連項目

- 「無線LANでの映像投写」 p.87



4 [ネットワーク設定画面へ]を選択し、[決定]ボタンを押します。

5 [基本設定]を選択し、[決定]ボタンを押します。



6 必要に応じて以下を設定します。

- [プロジェクト名]：ネットワーク上で本機を識別するための名前を入力します。半角英数字で16文字以内で入力します。

- [Web制御パスワード]：Web制御で本機の設定や制御をするときの認証用パスワードを設定します。半角英数字で8文字以内で入力します。(デフォルトのユーザー名はEPSONWEB、デフォルトのパスワードはadminです。)

- [プロジェクトキーワード]：他のユーザーが誤って映像を投写しないように、セキュリティパスワードを有効にできます。プロジェクトキーワードがオンに設定されているプロジェクトから映像を投写するには、投写画面に表示されるキーワードをネットワークソフトウェアで入力する必要があります。



名前、パスワード、およびキーワードの入力には、表示されたスクリーンキーボードを使用します。リモコンの上下左右ボタンを押して文字を選択し、[決定]ボタンを押して入力します。

7 [無線LAN]を選択し、[決定]ボタンを押します。



8 [接続モード]を選択します。

- [かんたんモード]：1台のコンピューターと無線で直接接続できません。



- [マニユアルモード]：無線LANアクセスポイント経由でコンピュータと接続できます。

- 9** [マニユアルモード]を選択した場合は、[アクセスポイント検索]を行って接続する無線LANアクセスポイントを選択します。



手でSSIDを割り当てるときは、[SSID]を選択してSSIDを入力します。

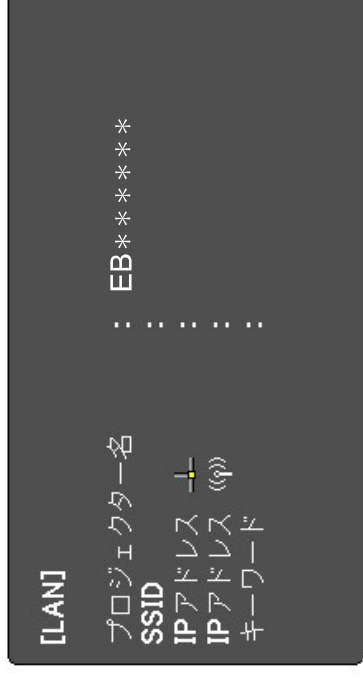
- 10** [マニユアルモード]の場合は、必要に応じてプロジェクトにIPアドレスを割り当てます。

- DHCPを使用できるネットワークの場合は、[IP設定]を選択して、[DHCP]を[オン]にします。
- DHCPを使用できないネットワークの場合は、[IP設定]を選択して[DHCP]を[オフ]にし、プロジェクトの[IPアドレス]、[サブネットマスク]、[ゲートウェイアドレス]を入力します。

- 11** 設定したSSIDやIPアドレスがLAN待機画面に表示されないようにするには、[SSID表示]または[IPアドレス表示]を[オフ]に設定します。

- 12** 設定が終わったら、[設定完了]を選択します。画面の指示に従って設定を保存してメニューを終了します。

- 13** リモコンの[LAN]ボタンを押します。
LAN待機画面に正しいIPアドレスが表示されていれば、設定完了です。



無線LAN設定が完了したら、コンピュータの無線LAN設定をしてください。ネットワークソフトウェアを起動して、無線LAN経由で映像をプロジェクトに送ります。



EasyMP Network Projectionを使用するときは、プロジェクトの無線LAN設定で選択した接続モードを選択してください。

関連項目

- 「無線LANでの映像投写」 p.87

Windowsで無線LANを設定する

コンピュータとプロジェクトを接続するには、コンピュータで無線LAN設定をします。

- 1** Windowsタスクバーのネットワークアイコンをダブルクリックし、無線ユーザーインターフェイスウェアを起動します。



2 マニュアルモードで接続するときは、プロジェクトターが接続しているネットワークのネットワーク名(SSID)を選択します。

3 [接続]をクリックします。

関連項目

- 「無線LANでの映像投写」 p.87

OS Xでの無線LANを設定する

コンピューターとプロジェクトターを接続するには、コンピューターで無線LAN設定をします。

1 画面上部にあるメニューバーのAirMacアイコンをクリックします。

2 マニュアルモードで接続するときは、AirMacがオンに設定されていることを確認し、プロジェクトターが接続しているネットワークのネットワーク名(SSID)を選択します。

関連項目

- 「無線LANでの映像投写」 p.87

無線LANのセキュリティーを設定する

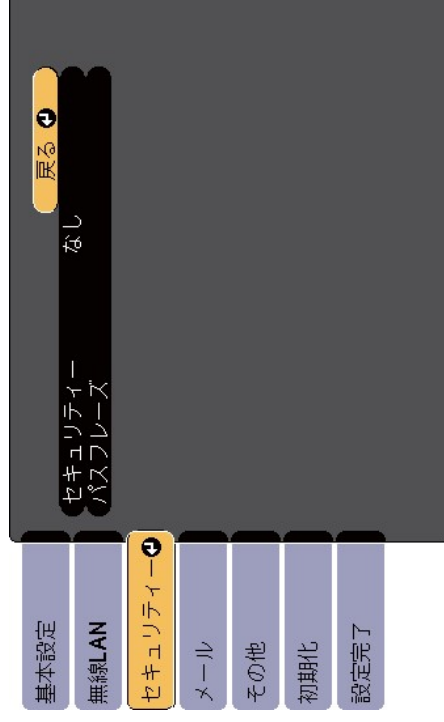
プロジェクトターの無線通信に使うセキュリティーを設定できます。無線LANの設定に合わせて、以下のいずれかのセキュリティーを設定します。

- WPA2-PSKセキュリティー
- WPA/WPA2-PSKセキュリティー



無線LANのネットワーク設定については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

- 1** 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。
- 2** [ネットワーク]を選択し、【決定】ボタンを押します。
- 3** [ネットワーク設定画面へ]を選択し、【決定】ボタンを押します。
- 4** [セキュリティー]を選択し、【決定】ボタンを押します。



- 5** 無線LANの設定に合わせて、セキュリティーを設定します。
- 6** 設定が終わったら、[設定完了]を選択し、画面の指示に従って設定を保存してメニューを終了します。



関連項目

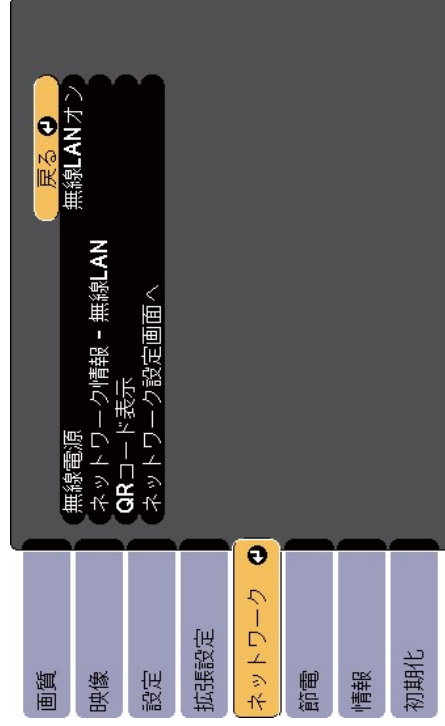
- 「無線LANでの映像投写」 [p.87](#)
- 「ネットワークメニユー - セキュリティメニユー」 [p.118](#)

プロジェクターの無線LAN設定が完了したら、LAN待機画面に投写されるQRコードをEpson iProjectionで読み取って、スマートフォンやタブレット端末などのモバイルデバイスを接続できます。

- お使いのモバイルデバイスに、最新版のEpson iProjection (V1.3.0以降) がインストールされていることを確認してください。
- Epson iProjectionは、App StoreまたはGoogle playから無料でダウンロードできます。App Store、Google playへ接続する際の通信料はお客様の負担となります。
- iOS版iProjectionを初めて使用するときは、WiFiプロファイルの登録が必要です。

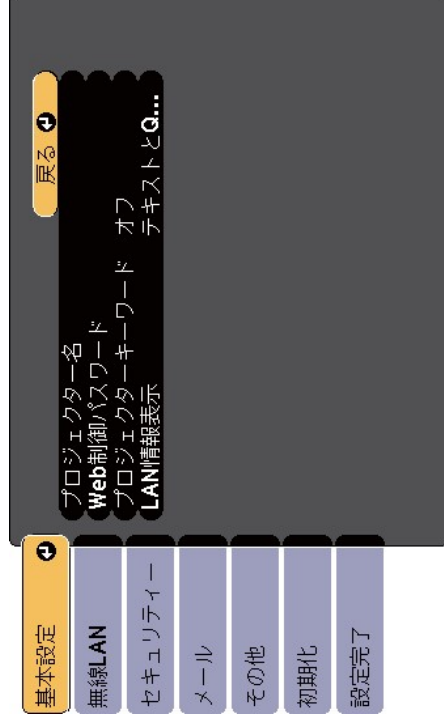
1 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。

2 【ネットワーク】を選択し、【決定】ボタンを押します。



3 【ネットワーク設定画面へ】を選択し、【決定】ボタンを押します。

4 【基本設定】を選択し、【決定】ボタンを押します。

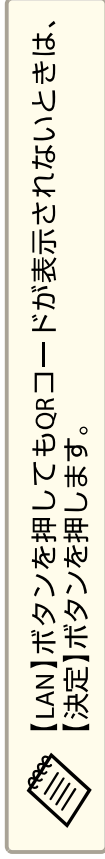


5 【LAN情報表示】で【テキストとQRコード】を選択します。

6 【設定完了】を選択します。画面の指示に従って設定を保存してメニューを終了します。

7 リモコンの【LAN】ボタンを押すか、ネットワークメニューで【QRコード表示】を選択します。

QRコードが投写画面に表示されます。



8 モバイルデバイスにインストールされているEpson iProjectionを起動します。

9 投写されているQRコードを読み取ってプロジェクターに接続します。



投写画面に近づいて、正面からQRコードを読み取ります。QRコードがモバイルデバイスのQRコードリーダーのガイド内に収まっていることを確認します。画面から離れすぎると、正しく読み取れないことがあります。

接続が完了して、モバイルデバイスの映像が投写されます。アプリケーション画面をタップして、投写するファイルを選択します。

関連項目

- 「ネットワーク上のプロジェクトターを使用する」 [p.86](#)



クイックワイヤレス用USBキーを使用すると、無線LANに対応したWindowsコンピュータとプロジェクト用USBキーを簡単に無線接続できます。



クイックワイヤレス用USBキーはプロジェクト用USBキーと同梱されています。

- 1** 無線LANユニットが内蔵されているか、または取り付けられているか確認します。
- 2** プロジェクターの電源を入れます。
- 3** リモコンの【LAN】ボタンを押します。
LAN待機画面が表示されます。SSIDおよびIPアドレスが表示されていることを確認します。
- 4** 以下のいずれかの方法でクイックワイヤレス用USBキーを接続します。
 - 無線LANユニットを取り外して、クイックワイヤレス用USBキーを接続します (EB-W31/EB-X36/EB-X31/EB-S31/EB-W420/EB-S04)。
 - クイックワイヤレス用USBキーをプロジェクト用USB-A端子に接続します (EB-U32)。ネットワーク情報の更新が終了したことを通知するメッセージが表示されます。
- 5** クイックワイヤレス用USBキーを取り外します。
無線LANユニットを取り外したときは、再度無線LANユニットを取り付けます。
- 6** クイックワイヤレス用USBキーをコンピュータのUSB端子に接続します。



Windows Vistaで自動再生ウィンドウが表示されたときは、[LaunchQWRD.exeの実行]を選択し、[許可]を選択します。

- 7** 画面の指示に従って、クイックワイヤレス用ドライバーをインストールします。



Windowsファイアウォールのメッセージが表示されたときは、[はい]をクリックしてファイアウォールを無効にします。

しばらくすると、コンピュータの映像がプロジェクト用USBキーから投写されます。投写されないときは、リモコンの【LAN】ボタンを押すか、コンピュータを再起動します。

- 8** 資料や映像を投写します。

- 9** 投写が終了したら、Windowsタスクバーの[ハードウェアの安全な取り外し]を選択し、コンピュータからクイックワイヤレス用USBキーを取り外します。



再度無線LANに接続するには、コンピュータの再起動が必要になります。

関連項目

- 「ネットワーク上のプロジェクト用USBキーを使用する」 [p.86](#)

プロジェクトを監視および制御する

ネットワーク経由でプロジェクトの監視と制御を行う方法について説明します。

関連項目

- 「EasyMP Monitorについて」 [p.97](#)
- 「Webブラウザを使ってネットワークプロジェクトを制御する」 [p.98](#)
- 「メールでプロジェクトの異常を通知する」 [p.100](#)
- 「SNMPを使ってプロジェクトを監視する」 [p.102](#)
- 「ESC/VP21コマンドを使ってプロジェクトを監視・制御する」 [p.103](#)



EasyMP Monitorを使用すると、ネットワークに接続されたプロジェクトエクターの状態をコンピューターに表示して確認したり、コンピューターから制御したりできます (Windowsのみ)。詳しくは、『EasyMP Monitor操作ガイド』をご覧ください。

EasyMP Monitorは以下のWebサイトからダウンロードしてください。

<http://www.epson.jp/download/>

関連項目

- 「プロジェクトエクターを監視および制御する」 p.96



コンピューターのWebブラウザを使って、ネットワークに接続されたプロジェクトのメニュー設定や制御を離れた場所から操作できます。



- コンピューターとプロジェクトをネットワークに接続できる状態におきます。無線LANで接続するときは、[マニュアルモード]で接続してください。
- Webブラウザは、Microsoft Internet Explorer 8.0以降を使用してください。OS Xをお使いの場合は、Safariを使用してください。メニュー設定の中には、Webブラウザからは設定できない項目があります。
- [節電]メニューで[待機モード]を[通信オン]に設定すると、本機がスタンバイ状態(電源オフ)のときも、Webブラウザを使った設定や制御ができます。

1 本機の電源がオンになっていることを確認します。

2 ネットワークに接続されているコンピューターでWebブラウザを起動します。

3 ブラウザーのアドレス入力部にプロジェクトのIPアドレスを入力し、コンピューターのEnterキーを押します。
Web制御画面が表示されます。



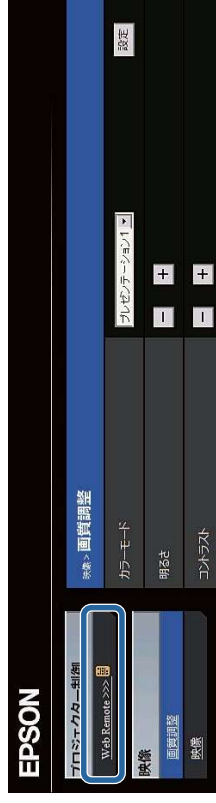
- Web制御画面を表示するには、ログインが必要です。ログイン画面が表示されたら、ユーザー名とパスワードを入力します。(デフォルトのユーザー名はEPSONWEB、デフォルトのパスワードはadminです。)
- パスワードは、[ネットワーク]メニューの[Web制御パスワード]で変更できます。
☛ [ネットワーク] > [基本設定] > [Web制御パスワード]

4 設定したいメニューを選択し、画面の指示に従って設定します。



- 以下の項目はWebブラウザでは設定できません。
テストパターン、ポインター形状、ユーザーボタン、ユーザーロゴ、言語、ランプ点灯時間初期化、ネットワークの初期化
- 以下の項目はWebブラウザでのみ設定できます。
 - SNMPコミュニティ名(半角英数字で32文字以内)
 - Monitor/パスワード(半角英数字で16文字以内)
 - HTTPポート追加(Web制御に使用するポート番号で、80(デフォルト)、843、3620、3621、3625、3629、4352、4649、5357、10000、10001、41794以外の番号)

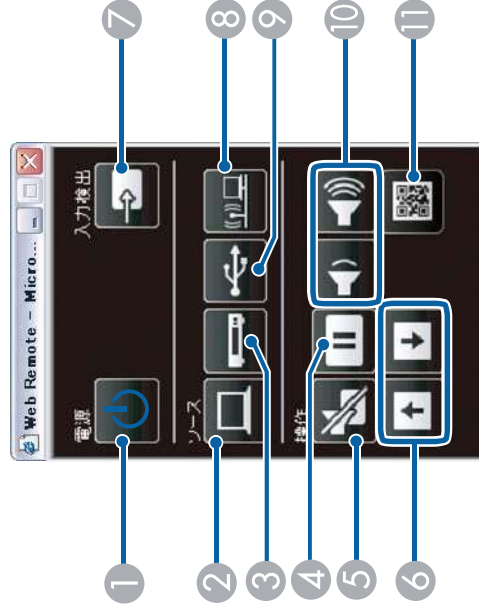
5 投写映像を操作するには、**Web Remote**を選択します。



6 アイコンを選択して、本機の実行操作をします。



- 「ネットワークメニュー - 基本設定メニュー」 [p.117](#)
- 「節電メニュー」 [p.122](#)



- 1 電源ボタン
- 2 映像の入カソースをコンピューターに切替
- 3 映像の入カソースをビデオ、S-ビデオ、またはHDMI/MHLに切替
- 4 静止ボタン
- 5 AVミュートボタン
- 6 ページ送り/戻しボタン
- 7 映像の入力検出
- 8 映像の入カソースをネットワークに切替
- 9 映像の入カソースをUSBディスプレイ、またはUSB機器に切替
- 10 音量ボタン
- 11 QRコード表示ボタン



S-ビデオは、EB-W31/EB-X36/EB-X31/EB-S31/EB-W420/EB-S04でのみ使用できます。

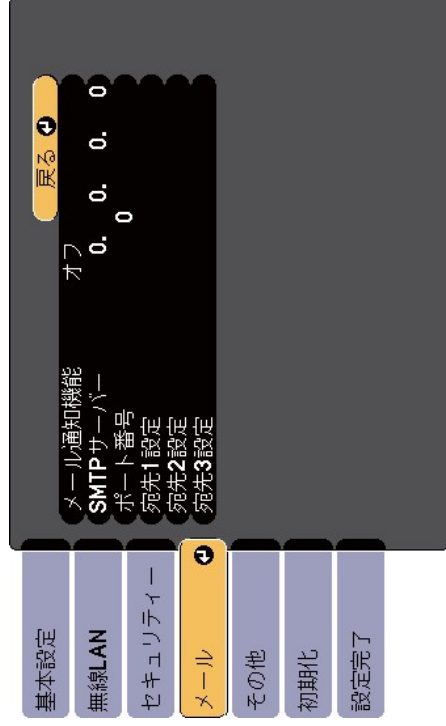
関連項目

- 「プロジェクターを監視および制御する」 [p.96](#)

プロジェクターが異常/警告状態になったとき、異常状態が電子メールで通知されるようにメール通知機能を設定できます。

[節電]メニューで[待機モード]を[通信オン]に設定すると、本機がスタンバイ状態(電源オフ)のときも、通知メールを送信できます。

- 1 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。
- 2 【ネットワーク】を選択し、【決定】ボタンを押します。
- 3 【ネットワーク設定画面へ】を選択し、【決定】ボタンを押します。
- 4 【メール】を選択し、【決定】ボタンを押します。



- 5 【メール通知機能】を[オン]に設定します。

- 6 【SMTPサーバー】にIPアドレスを入力します。



127.x.x.x、224.0.0.0～255.255.255のIPアドレスは使用できません(xは0～255の数値)。

- 7 【ポート番号】にSMTPサーバーのポート番号を1～65535の数値で入力します(デフォルトは25)。

- 8 宛先を選択し、メールアドレスとメール通知する異常/警告の種類を選択します。宛先は3つまで設定できます。



メールアドレスは半角英数字で32文字以内で入力します。

- 9 設定が終わったら、【設定完了】を選択します。画面の指示に従って設定を保存してメニューを終了します。



本機に致命的な異常が発生し、瞬時に起動停止状態になったときは、メールが送信できないことがあります。

関連項目

- 「プロジェクターを監視および制御する」 p.96
- 「異常通知メールの見方」 p.100
- 「節電メニュー」 p.122

異常通知メールの見方

通知メールを送信する設定をしているとき、本機が異常/警告状態になると、以下の情報を含むメールが送信されます。

- メール差出人：宛先1のアドレス
- メール件名：[Epson Projector]
- 1行目：異常が生じたプロジェクター名
- 2行目：異常が生じたプロジェクターのIPアドレス
- 3行目：異常の内容



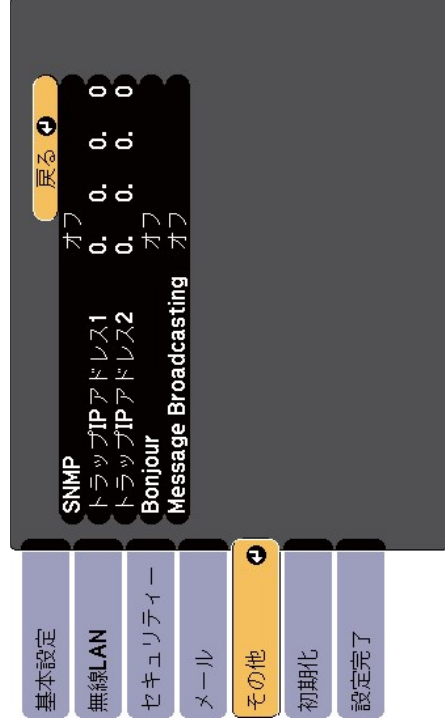
関連項目

- 「メールでプロジェクトの異常を通知する」 [p.100](#)



コンピューターにSNMP(Simple Network Management Protocol)ソフトウェアをインストールして、プロジエクターを監視できます。SNMPによる管理は、ネットワーク管理者が行います。SNMPソフトウェアを使用するとき、本機のSNMP設定をします。

- 1** 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。
- 2** 【ネットワーク】を選択し、【決定】ボタンを押します。
- 3** 【ネットワーク設定画面へ】を選択し、【決定】ボタンを押します。
- 4** 【その他】を選択し、【決定】ボタンを押します。



- 5** 【SNMP】を【オン】にします。
- 6** トラップIPアドレスに、SNMP通知を受信するIPアドレスを入力します。0～255の数字を入力します。



127.x.x.x、224.0.0.0～255.255.255.255のIPアドレスは使用できません(xは0～255の数値)。

- 7** 設定が終わったら、【設定完了】を選択します。画面の指示に従って設定を保存してメニューを終了します。

関連項目

- 「プロジエクターを監視および制御する」 p.96



コンピューターからUSB経由で本機を監視・制御できます。本機とコンピューターをUSBケーブルで接続して、通信コマンド(ESC/NP21コマンド)を入力します。

関連項目

- 「プロジェクターを監視および制御する」 [p.96](#)
- 「ESC/NP21コマンドを使用するための準備をする」 [p.103](#)
- 「ESC/NP21コマンドリスト」 [p.103](#)
- 「通信プロトコル」 [p.104](#)

ESC/NP21コマンドを使用するための準備をする

ESC/NP21コマンドでプロジェクターを監視・制御するには以下の準備が必要です。次回からはドライバーのインストールは不要です。

- 1** お使いのコンピューターに、USB通信ドライバー(EPSON USB-COM Driver)をインストールします。EPSON USB-COM Driverについては、お問い合わせ先に記載の連絡先にお問い合わせください。
- 2** [拡張設定]メニューで[USB Type B]を[Link 21L]に設定します。
- 3** コンピューターと本機のUSB-B端子をUSBケーブルで接続します。

次回からは手順2から始めます。

関連項目

- 「ESC/NP21コマンドを使ってプロジェクターを監視・制御する」 [p.103](#)

ESC/NP21コマンドリスト

本機に電源オンのコマンドを送信すると、電源が入りウォームアップ状態になります。電源オンの状態になると、本機はコロン「:」(3Ah)を返信します。

本機はコマンドを受け取ると、そのコマンドを実行後「:」を返信し、次のコマンドを受け付けます。

異常終了のときは、エラーメッセージを出力した後に「:」を返信します。

以下のコマンドを使用できます。

項目	コマンド		
電源のオン/オフ	オン	PWR ON	
	オフ	PWR OFF	
信号切り替え	コンピューター	オート	SOURCE 1F
		RGB	SOURCE 11
	HDMI、HDMI1	コンポーネント	SOURCE 14
			SOURCE 30
HDMI2*		SOURCE A0	
ビデオ		SOURCE 41	
S-ビデオ**		SOURCE 42	
USB Display		SOURCE 51	
USB		SOURCE 52	
LAN		SOURCE 53	
AVミュート機能のオン/オフ	オン	MUTE ON	
	オフ	MUTE OFF	

* HDMI2はEB-U32でのみ使用できます。



** S-ビデオは、EB-W31/EB-X36/EB-X31/EB-S31/EB-W420/EB-S04でのみ使用できます。

各コマンドの最後に復帰(CR)コード(0Dh)を追加して送信してください。

詳細はお買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

関連項目

- 「ESC/VP21 コマンドを使ってプロジェクターを監視・制御する」
[p.103](#)

通信プロトコル

- ボーレート基準速度：9600bps
- データ長：8bit
- パリティ：なし
- ストップビット：1bit
- フロー制御：なし

関連項目

- 「ESC/VP21 コマンドを使ってプロジェクターを監視・制御する」
[p.103](#)

メニューの設定

プロジェクターメニューの機能と設定について説明します。

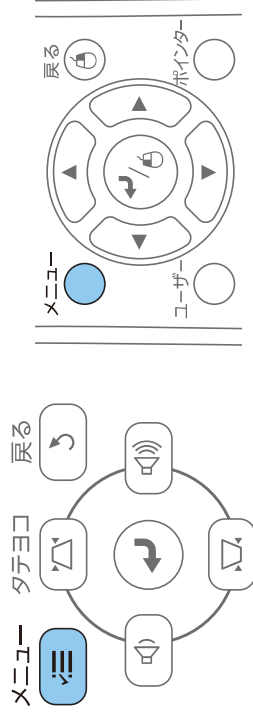
関連項目

- 「プロジェクターメニューを操作する」 [p.106](#)
- 「ソフトウェアボードを操作する」 [p.107](#)
- 「画質メニュー」 [p.108](#)
- 「映像メニュー」 [p.110](#)
- 「設定メニュー」 [p.112](#)
- 「拡張設定メニュー」 [p.114](#)
- 「ネットワークメニュー」 [p.116](#)
- 「節電メニュー」 [p.122](#)
- 「情報メニュー」 [p.124](#)
- 「初期化メニュー」 [p.126](#)
- 「メニュー設定を別のプロジェクターにコピーする（一括設定機能）」 [p.127](#)



投写画面に表示されるメニューを使って、本機の各種動作を設定します。

- 1 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。



【画質】メニューが表示されます。



- 2 上下ボタンを押して、左側に表示されるメニュー項目を選択します。各メニューの設定が右側に表示されます。



現在投写している入カソースによって設定できる項目が異なります。

- 3 表示されている項目を変更するには、【決定】ボタンを押します。
- 4 上下ボタンを押して、設定を選択します。
- 5 メニュー画面の下に表示されるナビゲーションに従って項目を設定します。
- 6 メニュー設定をすべて初期設定に戻すには、【初期化】を選択します。
- 7 メニューの設定が終わったら、【戻る】ボタンを押します。
- 8 【メニュー】ボタンまたは【戻る】ボタンを押してメニューを終了します。

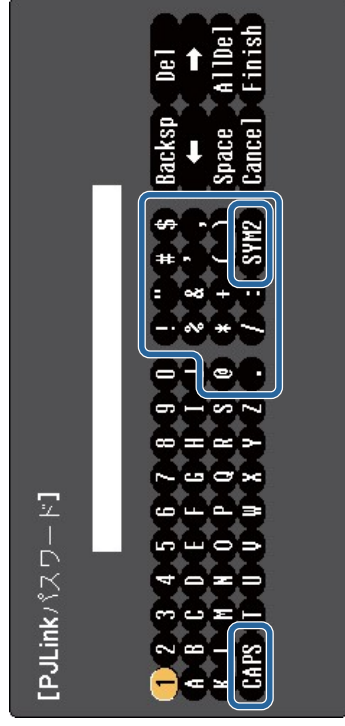
関連項目

- 「メニューの設定」 p.105



数字や文字の入力が必要なときはソフトキーボードが表示されます。

- 1 リモコンまたは操作パネルの上下左右ボタンのいずれかを押して、入力する数字や文字を選択し、[決定]ボタンを押します。



[CAPS]キーを選択すると、大文字小文字が切り替わります。
[SYM1/2]キーを選択すると、枠に囲まれている記号が変わります。

- 2 テキストの入力後、キーボードの[Finish]を選択して入力を確定します。[Cancel]を選択すると、テキストの入力を取り消します。

関連項目

- 「メニューの設定」 [p.105](#)
- 「ソフトキーボードで入力可能な文字」 [p.107](#)
- 「Webブラウザを使ってネットワークプロジェクターを制御する」 [p.98](#)

ソフトキーボードで入力可能な文字

ソフトキーボードでは、以下の文字を入力できます。

文字タイプ	詳細
数字	0123456789
アルファベット	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
記号	! " # \$ % & ' () * + , - . / : ; < = > ? @ [\] ^ _ ` { } ~

関連項目

- 「ソフトキーボードを操作する」 [p.107](#)



[画質]メニューでは、現在投写している入カソースの映像の画質を調整できます。現在投写している入カソースによって設定できる項目が異なります。



設定を変更するには、変更したい入カソースの映像が投写されていることを確認してください。

設定	選択肢	説明
色温度	色温度 カスタム	映像全体の色合いを調整します。値を高くすると青みがかった映像になり、値を低くすると赤みがかった映像になります。 [色温度]: 3,200K ~ 10,000K(カラーモードがsRGBの場合は、0 ~ 10(その他のカラーモードの場合)の範囲内で設定します。 [カスタム]: オフセット、ゲインをR(赤)、G(緑)、B(青)の成分ごとに調整します。
イメージ強調	ノイズリダクション	アナログ映像のざらつきを抑えます。
アドバンスト	プログレッシブ変換 (インターレース信号 [480i/576i/1080i]入力時)	インターレース信号をプログレッシブ信号に変換します。 [オフ]: 動きの速いビデオ映像に適しています。 [ビデオ]: 一般のビデオ映像に適しています。
オートアイリス	オフ 標準 高速	[フィルム/オート]: 映画フィルムやCG、アニメーションに適しています。 カラーモードを「ダイナミック」または「シネマ」に設定しているときは、映像に合わせて投写時の光量を調整します。
初期化	—	[カラーモード]を除く、「[画質]」メニューで調整したすべての値を初期値に戻します。

設定	選択肢	説明
カラーモード	カラーモードの一覧を参照	使用シーンに応じて、画質を選択できます。
明るさ	レベル調整	映像の明るさを調整します。
コントラスト	レベル調整	映像のコントラストを調整します。
色の濃さ	レベル調整	映像の色の濃さを調整します。
色合い	レベル調整	映像の色合いを調整します。
シャープネス	レベル調整	映像のシャープ感を調整します。



- [明るさ]の設定はランプの明るさには影響しません。ランプの明るさを変更するには、[節電]メニューで[明るさ切替]を設定します。
- 以下のときは、[ノイズリダクション]は設定できません。
 - ・ [プログレッシブ変換]が[オフ]に設定されている。
 - ・ デジタルRGB信号が入力されている。
 - ・ インターレース信号(480i/576i/1080i)が入力されている。

関連項目

- 「メニューの設定」 [p.105](#)
- 「カラーモードの種類」 [p.56](#)



本機は入力信号方式を自動的に検出し、映像設定を最適化します。詳細な設定が必要なときは、[映像]メニューを使用できます。現在投写している入力ソースによって設定できる項目が異なります。



以下の入力ソースのときは、[映像]メニューを設定できません。

- USB Display
- USB
- LAN



リモコンの【自動調整】ボタンを押して、[トラッキング]、[同期]、[表示位置]の設定を初期値に戻すことができます。

設定を変更するには、変更したい入力ソースの映像が投写されていることを確認してください。

設定	選択肢	説明
アスペクト	アスペクト比の一覧を参照	映像のアスペクト比(縦横比)を設定します。
トラッキング	レベル調整	映像に縦の縞模様が出ないように映像を調整します。
同期	レベル調整	映像にぼやけ、ちらつきが出ないように映像に映像を調整します。
表示位置	上 下 左 右	投写画面内の映像の表示位置を調整します。
自動調整	オン オフ	[オン]にすると、トラッキング、同期、表示位置を最適な状態に自動調整します。
オーバーキャン (コンポーネントビデオ信号、RGBビデオ信号の入力時)	オート オフ 4% 8%	出画率(投写する映像の範囲)を変更して、映像がトリミングされる範囲を設定します。

設定	選択肢	説明
入力解像度	オート ノーマル ワイド	[オート]に設定しても投写映像が欠けるときは、入力信号の解像度を設定します。



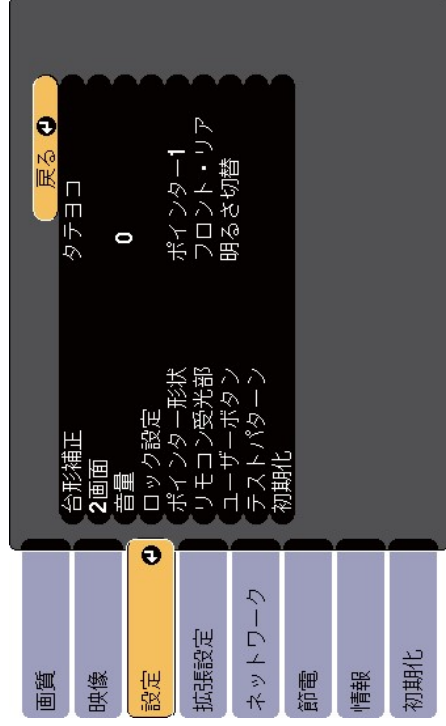
設定	選択肢	説明
アドバンスト	HDMI ビデオレベル 入力信号方式 ビデオ信号方式	<p>[HDMI ビデオレベル] HDMI端子に接続された機器の設定に合わせて、本機のビデオレベルを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> [オート]：ビデオレベルを自動的に検出します。 [通常]：コンピューター以外の機器からの映像に適しています。映像の黒い部分が明るすぎる場合に選択すると効果的です。 [拡張]：コンピューターからの映像に適しています。映像が暗すぎる場合に選択すると効果的です。 <p>[入力信号方式]： コンピューター端子からの映像信号を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> [オート]：映像信号を自動的に検出します。 [RGB]：コンピューター/RGBビデオ入力の色を補正します。 [コンポーネント]：コンポーネントビデオ入力の色を補正します。 [ビデオ信号方式] ビデオ端子からの映像信号を設定します。 <p>[オート]：映像信号を自動的に検出します。[オート]に設定している場合に映像にノイズが入ったり、映像が映らないときは、接続している機器に応じて適切な映像信号を選択します。</p>
初期化	—	<p>[映像]メニューで調整した、以下を除くすべての値を初期値に戻します。</p> <ul style="list-style-type: none"> [入力信号方式]

関連項目

- 「メニューの設定」 p.105
- 「アスペクトモードの種類」 p.53



[設定]メニューでは、プロジェクターの各種設定ができます。



設定	選択肢	説明
台形補正	タテヨコ Quick Corner	台形にゆがんだ投写画面を補正します。 [タテヨコ]：縦方向、横方向のゆがみを補正します。また、[自動タテ補正]と[スライド式ヨコ補正]のオン/オフを設定します。 [Quick Corner]：投写画面のコーナーの形状を個別に補正します。
2画面	画面サイズ 入力ソース 左右画面入替 音声切替 QRコード表示	投写画面を分割し、2つの映像を横に並べて表示します。([戻る]ボタンを押すと、2画面表示を終了します。)
ズーム (EB-S31/EB-S04)	—	投写映像のサイズを調整します。

設定	選択肢	説明
音量	レベル調整	本機のスピーカーの音量を調整します。 設定した内容は入カソースごとに保持されます。
ロック設定	操作ボタンロック	操作パネルの操作制限を設定します。 [全ロック]：すべてのボタンをロックします。 [操作ロック]：電源ボタンを除くすべてのボタンをロックします。 [オフ]：ボタンをロックしません。
ポインター形状	ポインター1： ポインター2： ポインター3： 	ポインター形状を選択します。
リモコン受光部	フロント・リア フロント リア オフ	リモコンからの操作信号を受信する受光部を制限します。[オフ]にすると、リモコンからの操作ができなくなります。
ユーザーボタン	明るさ切替 情報 プログレッシブ変換 テストパターン 入力解像度 QRコード表示	リモコンの【ユーザー】ボタンに割り当てるメニュー項目を設定します。ボタンを押すと、割り当てたメニュー項目がワンタッチで表示されます。



設定	選択肢	説明
テストパターン	—	<p>機器を接続せずに映像のフォーカス、ズーム、台形補正を調整できるようにテストパターンを表示します。(【戻る】ボタンを押すと、パターン表示を終了します。)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>注意 長時間パターンを表示している と投写映像に残像が残ることが あります。</p> </div>
初期化	—	<p>[設定]メニューで調整した、以下を除くすべての値を初期値に戻します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [ズーム] • [ユーザーボタン]

関連項目

- 「メニューの設定」 p.105



[拡張設定]メニューでは、プロジェクトの詳細な設定ができます。



設定	選択肢	説明
ホーム画面設定	ホーム画面自動表示 カスタム機能1 カスタム機能2	ホーム画面の表示オプションを選択します。 [ホーム画面自動表示]: ホーム画面を自動的に表示するかしないかを選択します。 [カスタム機能1]/[カスタム機能2]: お好みの機能や設定メニューをホーム画面に割り当てます。

設定	選択肢	説明
表示設定	メッセージ表示 背景表示 スタートアップスクリーン AVミュート	表示に関する設定をします。 [メッセージ表示]: [オン]にすると、入力ソース名、カラーモード名、アスペクト比、映像信号が入力されていないときのメッセージや高温警告などのメッセージが投写画面上に表示されます。 [背景表示]: 映像信号が入力されていないときに投写する画面の背景色やロゴ表示を選択します。 [スタートアップスクリーン]: [オン]にすると、投写開始時にユーザーロゴを表示します。 [AVミュート]: AVミュート時に表示する画面の背景色やロゴ表示を選択します。
ユーザーロゴ	—	本機の識別やセキュリティ向上のために、本機で表示するユーザーロゴを登録します。
設置モード	フロント フロント・天吊り リア リア・天吊り	映像が正しい方向で投写されるように、スクリーンに対する本機の設置方法を選択します。



設定	選択肢	説明
動作設定	ダイレクトパワーオン 高地モード 自動入力検出 オートパワーオン	本機の動作に関する設定をします。 [ダイレクトパワーオン]：電源プラグを差し込むだけで、本機の電源が入ります。 [高地モード]：標高約1,500m以上の場所では本機を使用するように動作を制御します。 [自動入力検出]：[オン]にすると、現在の入力ソースからの映像信号がないときに、自動的に他の入力ソースからの入力信号を検出して映像を投写します。 [オートパワーオン]：本機がスタンバイ状態でも、選択した入力ソースからの映像信号を検出すると、自動的に本機の電源が入ります。オートパワーオンを有効にするには、コンピュータケーブルまたはUSBケーブルで接続します。 [USB Display]：USBディスプレイが有効になります。 [Link 21L]：ESC/MP21コマンドが有効になります。
USB Type B	USB Display Link 21L	
プロジェクトID	オフ 1～9	複数のプロジェクトをリモコンから操作するときには本機のIDを設定します。
言語	言語設定	メニュー、メッセージに表示する言語を選択します。

設定	選択肢	説明
初期化	—	[拡張設定]メニューで調整した、以下を除くすべての値を初期値に戻します。 <ul style="list-style-type: none"> • [ユーザーロゴ] • [設置モード] • [高地モード] • [自動入力検出] • [USB Type B] • [プロジェクトID] • [言語]



[パスワードプロテクト]で[ユーザーロゴ保護]を[オン]にすると、ユーザーロゴに関する設定([表示設定]の[背景表示]、[スタートアップスクリーン]、[AVミュート])は変更できません。事前に[ユーザーロゴ保護]を[オフ]に設定します。

関連項目

- 「メニューの設定」 p.105
- 「パスワードプロテクトの種類を設定する」 p.81



[ネットワーク]メニューでは、ネットワーク情報の表示、ネットワーク経由で本機を使うための設定ができます。

[パスワードプロテクト]で[ネットワーク保護]を[オン]にすると、ネットワーク設定は変更できません。事前に[ネットワーク保護]を[オフ]に設定します。



設定	選択肢	説明
無線電源	無線LANオン オフ	無線LAN接続を設定します。本機とコンピューターを無線LAN経由で接続するには[無線LANオン]を選択します。無線LANで接続しないときは、オフに設定しておくこと他人からの不正アクセスを防ぐことができます。

設定	選択肢	説明
ネットワーク情報 - 無線LAN	接続モード 無線LAN方式 アンテナレベル プロジェクト名 SSID DHCP IPアドレス サブネットマスク ゲートウェイアド レス MACアドレス 地域コード	[無線電源]を[無線LANオン]に設定しているときは、無線ネットワークのステータスや詳細情報を表示します。
QRコード表示	—	QRコードを表示します。
ネットワーク設定 画面へ	ネットワーク設定 画面へ移動	ネットワークの詳細設定をします。



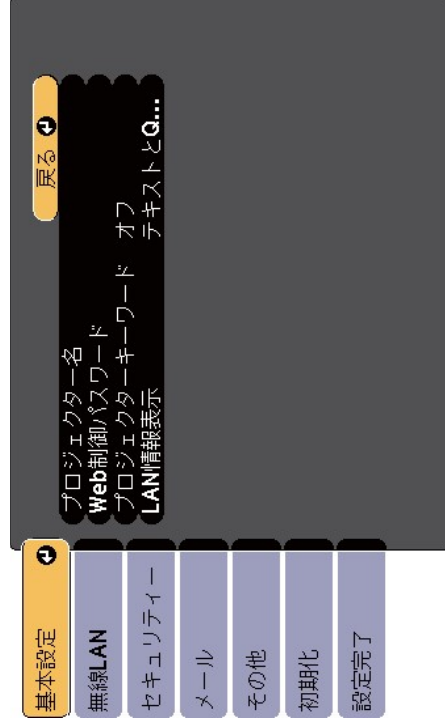
プロジェクトをネットワークに接続すると、コンピューターのWebブラウザを使って、プロジェクトのメニュー設定や制御を離れた場所から操作できます。

関連項目

- [メニューの設定] [p.105](#)
- [ネットワークメニュー - 基本設定メニュー] [p.117](#)
- [ネットワークメニュー - 無線LANメニュー] [p.117](#)
- [ネットワークメニュー - セキュリティメニュー] [p.118](#)
- [ネットワークメニュー - メールメニュー] [p.120](#)
- [ネットワークメニュー - その他メニュー] [p.120](#)
- [ネットワークメニュー - 初期化メニュー] [p.121](#)
- [パスワードプロテクトの種類を設定する] [p.81](#)

ネットワークメニュー - 基本設定メニュー

[基本設定]メニューでは、ネットワークの基本設定ができます。
 ● [ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [基本設定]



設定	選択肢	説明
プロジェクター キーワード	オン オフ	[オン]にすると、他のユーザーが誤って映像を投写しないように、セキュリティキーワードを有効にできます。プロジェクターから映像を投写するには、投写画面に表示されるキーワードを EasyMP Network Projection、EasyMP Multi PC Projection で入力する必要があります。
LAN情報表示	テキストと QR コード テキスト	LAN待機画面の表示形式を設定します。QRコードを表示させると、Epson iProjectionでQRコードを読み取るだけでネットワーク接続ができるようになります。初期値は、[テキストとQRコード]です。

関連項目

- 「ネットワークメニュー」 p.116

ネットワークメニュー - 無線LANメニュー

[無線LAN]メニューでは、無線LANの設定ができます。

- [ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [無線LAN]

設定	選択肢	説明
プロジェクター名	16文字以内の半角英数字 (「* + , / ; < = > ? [\] スペースは使用不可)	ネットワーク上で本機を識別するための名前を入力します。
Web制御パスワード	8文字以内の半角英数字 (* : スペースは使用不可)	Web制御で本機の設定や制御をするときの認証用パスワードを設定します。(デフォルトのユーザー名はEPSONWEB、デフォルトのパスワードはadminです。)



設定	選択肢	説明
接続モード	かんたんモード マニュアルモード	接続モードを選択します。 [かんたんモード]：1台のコンピューターと無線で直接接続できます。本機が簡易アクセスポイントになります。EasyMP Network Projectionを使用するときは、必要に応じて[セキュリティ]メニューでセキュリティの種類とパスワードを設定します。 [マニュアルモード]：無線LANアクセスポイント経由でコンピューターと接続できます。インフラストラクチャモードで接続が構成されます。
チャンネル設定	1ch 6ch 11ch	[かんたんモード]の無線通信で使用する周波数の帯域(チャンネル)を選択します。
SSID	32文字以内の半角英数字	本機のSSID(ネットワーク名)を設定します。本機が接続する無線LANシステムでSSIDが定められているときは、そのSSIDを設定します。

設定	選択肢	説明
アクセスポイント検索	検索画面へ移動	マニュアルモードで接続するとき、周囲の無線LANアクセスポイントを検索します。アクセスポイントの設定によっては、一覧に表示されないアクセスポイントがあります。セキュリティは別途設定が必要です。
IP設定	DHCP IPアドレス サブネットマスク ゲートウェイアドレス	[DHCP]：DHCPを使用できるネットワークの場合は、[オン]にします。DHCPを使用できないネットワークの場合は、[オフ]にして、プロジェクターの[IPアドレス]、[サブネットマスク]、[ゲートウェイアドレス]を入力します。0～255の数字を入力します。 0.0.0.0、127.x.x.x、224.0.0.0～255.255.255.255のアドレスは、IPアドレス、ゲートウェイアドレスに使用できません(xは0～255の数値)。0.0.0.0、255.255.255.255のアドレスはサブネットワークに使用できません。
SSID表示	オン オフ	LAN待機画面にSSIDを表示するかしないかを選択します。
IPアドレス表示	オン オフ	LAN待機画面にIPアドレスを表示するかしないかを選択します。

関連項目

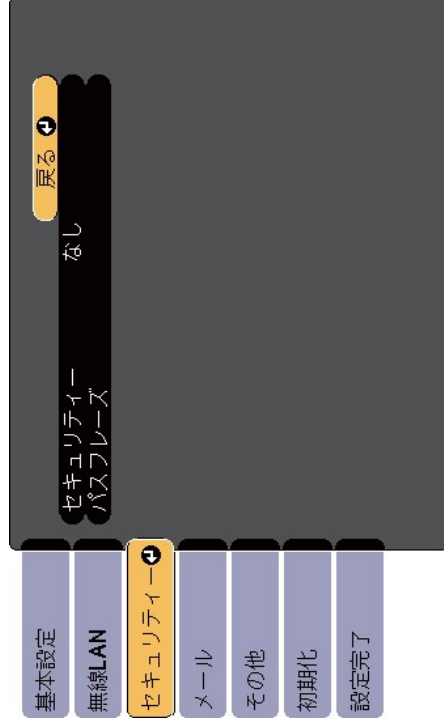
- [ネットワークメニュー] p.116

ネットワークメニュー - セキュリティメニュー

[セキュリティ]メニューでは、本機が無線通信に使うセキュリティを設定できます。



☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [セキュリ
ティ]



設定	選択肢	説明
セキュリティ	なし WPA2-PSK WPA/WPA2-PSK	無線LANの設定に合わせてセキュリ ティの種類を選択します。 セキュリティの設定については、 ネットワーク管理者の指示に従って ください。

設定	選択肢	説明
パスワード	8～32文字のパス フレーズ (Webブラウザ から入力する場 合：8～63文字の パスワード)	セキュリティの設定で[WPA2-PSK] または[WPA/WPA2-PSK]を選択したと きは、ネットワークに接続するための パスワードを入力します。 パスワードを入力し、【決定】ボタ ンを押すと、値が設定されます。設定 された値はアスタリスク(*)で表示さ れます。 パスワードがデフォルトから変更さ れていない場合に、EasyMP Network Projectionを使用して接続するときは、 パスワードをコンピューターに入力 する必要はありません。 セキュリティ強化のため、パスフ レーズは定期的に変更することをお勧 めします。ネットワーク設定を初期化 すると、パスワードは初期値に戻り ます。

セキュリティの種類

マニュアルモードで無線LANに接続するときは、セキュリティを設定
することを強くお勧めします。

WPAは、無線ネットワークのセキュリティ強度を向上するための暗号
化規格です。本機はTKIP、AESの暗号化方式に対応しています。

また、WPAにはユーザー認証機能もあります。WPA認証には、認証サー
バーを使用する方法と、サーバーを使用せずにコンピューターとアクセ
スポイントの間で認証する方法があります。本機は、認証サーバーを使
用しない方法に対応しています。



設定の詳細については、ネットワーク管理者の指示に従ってくださ
い。

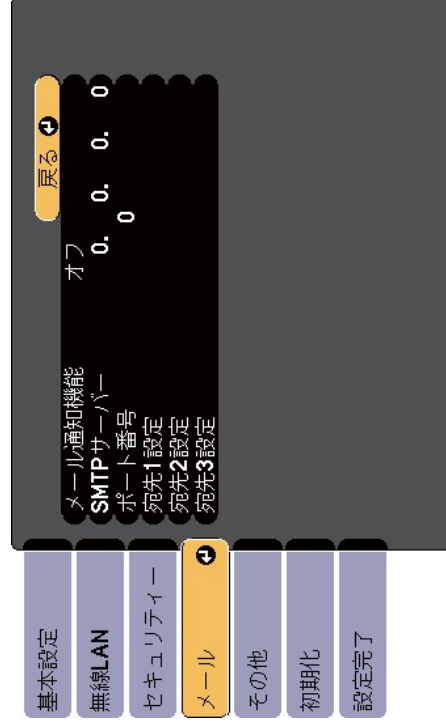
関連項目

- 「ネットワークメニュー」 p.116

ネットワークメニュー - メールメニュー

[メール]メニューでは、本機が異常/警告状態になったとき、異常状態が電子メールで通知されるようにメール通知機能を設定できます。

☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [メール]



設定	選択肢	説明
メール通知機能	オン オフ	[オン]にすると、本機が異常/警告状態になったとき、設定した宛先に異常状態を通知するメールを送信します。
SMTPサーバー	IPアドレス	SMTPサーバーのIPアドレスを入力します。0～255の数字を入力します。 127.x.x.x、224.0.0.0～255.255.255.255のIPアドレスは使用できません(xは0～255の数値)。

設定	選択肢	説明
ポート番号	1～65535 (デフォルトは25)	SMTPサーバーのポート番号を選択します。
宛先1設定	32文字以内の半角英数字	メールアドレスおよびメール通知する異常/警告の種類を選択します。宛先は3つまで設定できます。
宛先2設定	("()、:、;、<、>、[、\、スペースは使用不可)	
宛先3設定		

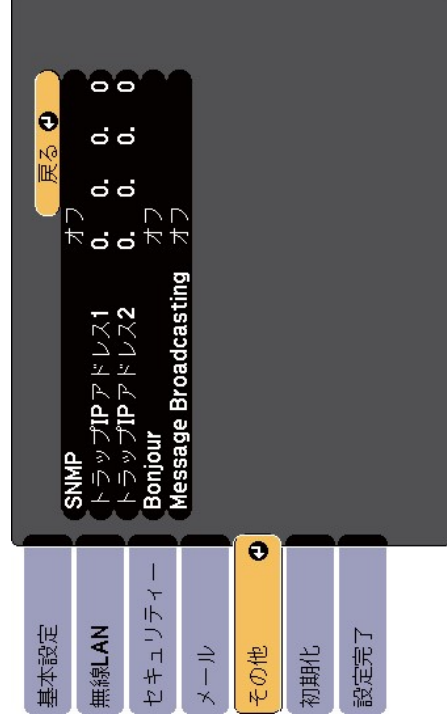
関連項目

- 「ネットワークメニュー」 p.116

ネットワークメニュー - その他メニュー

[その他]メニューでは、ネットワークの詳細な設定ができます。

☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [その他]





設定	選択肢	説明
SNMP	オン オフ	[オン]にすると、SNMPを使用して本機を監視します。本機を監視するには、コンピュータにSNMPマネージャープログラムがインストールされている必要があります。SNMPによる管理は、必ずネットワーク管理者が行ってください。 初期値は[オフ]です。
トラップIPアドレス1 トラップIPアドレス2	IPアドレス	SNMP通知を受信するIPアドレスを入力します。0～255の数字を入力します。 127.x.x.x、224.0.0.0～255.255.255.255のIPアドレスは使用できません(xは0～255の数値)。
Bonjour	オン オフ	Bonjourを使用してネットワークに接続するときは、[オン]にします。 Bonjourサービスの詳細については、Apple社のWebサイトをご覧ください。 http://www.apple.com/
Message Broadcasting	オン オフ	[オン]にすると、EPSON Message Broadcasting機能を有効にします。 Message Broadcastingおよび操作ガイドは以下のWebサイトからダウンロードできます。 http://www.epson.jp/download/

関連項目

- 「ネットワークメニュー」 p.116

ネットワークメニュー - 初期化メニュー

[初期化]メニューでは、ネットワーク設定をすべて初期化できます。

☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [初期化]

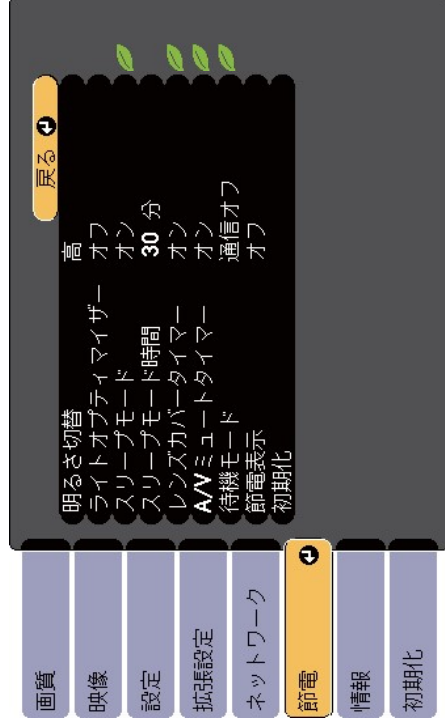


設定	選択肢	説明
ネットワーク設定を初期化します。	はい いいえ	[はい]を選択すると、ネットワーク設定をすべて初期化します。

関連項目

- 「ネットワークメニュー」 p.116

[節電]メニューでは、本機の消費電力を抑えるための設定ができます。節電効果が有効な設定をしているときは、メニュー項目の横に葉っぱのアイコンが表示されます。



設定	選択肢	説明
スリープモード	オン オフ	[オン]に設定すると、一定時間映像信号の入力がなくなると、自動的に本機の電源が切れます。
スリープモード時間	1~30分	スリープモードで電源が自動で切れるまでの時間を設定します。
レンズカバータイマー	オン オフ	[オン]に設定すると、スライド式レンズカバーを閉じてから30分後に自動的に本機の電源が切れます。
AVミュートタイマー	オン オフ	[オン]に設定すると、AVミュートを実行してから30分後に自動的に本機の電源が切れます。
待機モード	通信オン 通信オフ	[通信オン]に設定すると、スタンバイ状態でも以下の操作が可能です。 <ul style="list-style-type: none"> • ネットワーク経由で本機を監視・制御する
節電表示	オン オフ	[オン]に設定すると、ランプの明るさが通常状態と低輝度状態で切り替わるときに、投写画面の左下に節電状態を示す葉っぱのアイコンを表示します。
初期化	—	[待機モード]を除く、[節電]メニューで調整したすべての値を初期値に戻します。



- [スリープモード時間]がオンに設定されているときは、入力信号がない間はランプの明るさを抑えて動作します。
- [レンズカバータイマー]または[AVミュートタイマー]がオンに設定されているときは、レンズカバーが閉じているときやAVミュートを実行してから電源が切れるまで、ランプの明るさを抑えて動作します。レンズカバーを開けたときやAVミュートを解除したときは、通常どおり動作します。

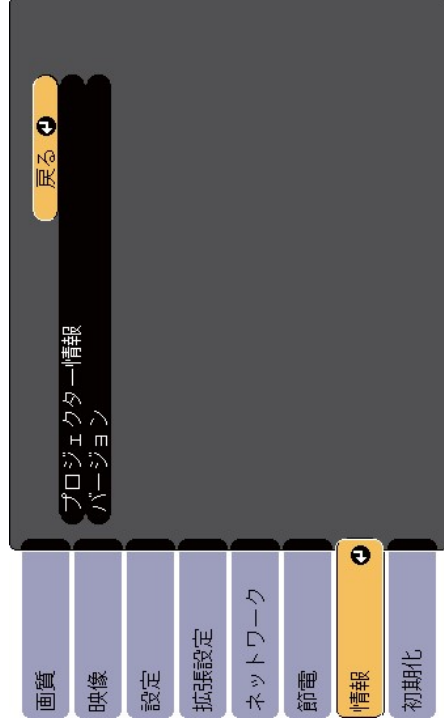
設定	選択肢	説明
明るさ切替	高 低	ランプの明るさを選択します。 [高]：ランプを最も明るくします。 [低]：投写映像が明るすぎるときにランプの明るさを抑えます。投写中の消費電力とファン回転音が低下します。 高地または高温になりやすい場所では本機をお使いのときは、設定が変更できないことがあります。
ライトオフタイマー （[明るさ切替]を [高]に設定して いるときのみ設定 可能）	オン オフ	[オン]に設定すると、投写する映像に応じてランプの明るさを調整します。ランプを低輝度で動作させることにより、消費電力を軽減できます。設定値はカラーモードごとに保存されます。



関連項目

- 「メニューの設定」 [p.105](#)
- 「拡張設定メニュー」 [p.114](#)

「情報」メニューでは、本機の情報、バージョンを確認できます。このメニューの設定は変更できません。



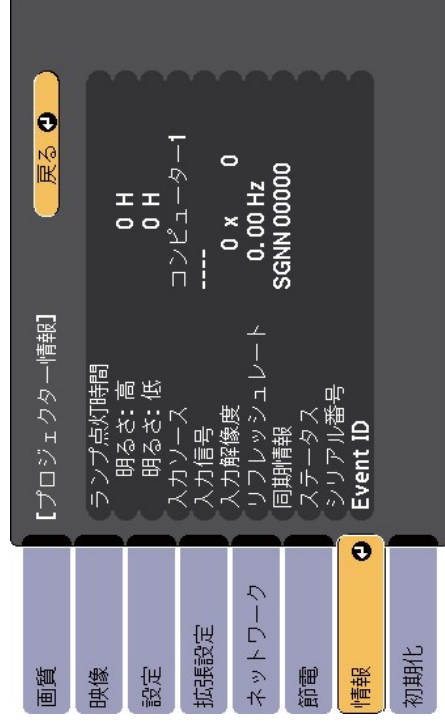
情報の項目	説明
プロジェクトクター情報	プロジェクトクターの情報を表示します。
バージョン	ファームウェアバージョンを表示します。

関連項目

- 「メニューの設定」 [p.105](#)
- 「情報メニュー - プロジェクトクター情報」 [p.124](#)

情報メニュー - プロジェクトクター情報

「情報」メニューの「プロジェクトクター情報」では、本機の状態や投写している映像信号の情報を確認できます。



現在投写している入力ソースによって設定できる項目が異なります。ランプ点灯時間は、ランプを10時間以上使用するまで加算されません。

情報の項目	説明
ランプ点灯時間	[明るさ：高]、[明るさ：低]のそれぞれでランプを使用した時間([H])を表示します。黄色で情報が表示される場合は、エプソン純正の交換用ランプを早めに入手してください。
入力ソース	現在の入力ソースが接続されている端子の名前を表示します。
入力信号	現在の入力ソースの入力信号方式を表示します。
入力解像度	現在の入力ソースの解像度を表示します。
ビデオ信号方式	現在の入力ソースのビデオ信号方式を表示します。
リフレッシュレート	現在の入力ソースのリフレッシュレートを表示します。
同期情報	サービス技術者が必要とする情報を表示します。
ステータス	サービス技術者が必要とするプロジェクトクターの問題に関する情報を表示します。



情報の項目	説明
シリアル番号	本機のシリアル番号を表示します。
Event ID	プロジェクトの特定の問題に対応するEvent ID番号を表示します。Event IDコードの一覧を参照してください。

関連項目


- 「情報メニュー」 [p.124](#)
- 「Event ID一覧」 [p.125](#)

Event ID一覧

「情報メニュー」の[Event ID]に番号が表示されるときは、番号を確認して以下のとおり対処してください。

問題が解決しないときは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。か、お問い合わせ先に記載の連絡先にお問い合わせください。

Event ID	原因と対処法
0432	ネットワークソフトウェアの起動に失敗しました。プロジェクトの電源を一度切ってから、再度電源を入れます。
0434	ネットワークの通信状態が不安定です。ネットワークの通信状態を確認し、しばらくしてから再接続します。
0481	
0482	
0485	
0433	転送した映像を表示できません。ネットワークソフトウェアを再起動します。
0484	コンピューターから通信が切断されました。ネットワークソフトウェアを再起動します。

Event ID	原因と対処法
0483	ネットワークソフトウェアが予期せず終了しました。ネットワークの通信状態を確認してから、プロジェクトの電源を一度切り、再度電源を入れます。
0479	プロジェクトにシステムエラーが発生しました。プロジェクトの電源を一度切ってから、再度電源を入れます。
04FF	
0891	同じSSIDのアクセスポイントが見つかりません。プロジェクト、コンピューター、アクセスポイントに同一のSSIDを設定します。
0892	WPA/WPA2の認証方式が一致しません。無線ネットワークのセキュリティ設定が正しいことを確認します。
0893	TKIP/AES暗号化方式が一致しません。無線ネットワークのセキュリティ設定が正しいことを確認します。
0894	不正なアクセスポイントに接続したため通信が切断されました。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
0898	DHCPの取得に失敗しました。DHCPサーバーが正しく動作していることを確認します。DHCPを使用しないときは、本機の[ネットワーク]メニューにある[DHCP]設定を[オフ]にします。
0899	 [ネットワーク] > [無線LAN] > [IP設定] > [DHCP] その他、接続に関するエラー

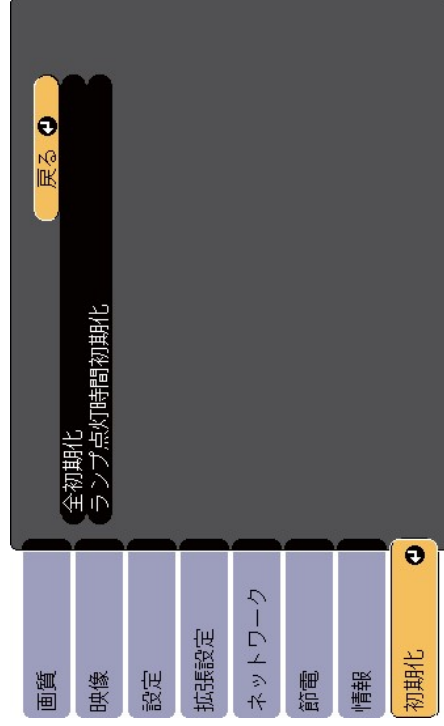
関連項目

- 「情報メニュー - プロジェクト情報」 [p.124](#)



[初期化]メニューの[全初期化]を選択して、本機の設定を初期化できます。

また、[ランプ点灯時間初期化]を選択して、ランプを交換したときにランプ点灯時間をゼロに戻すこともできます。



以下の設定は、[全初期化]を実行しても初期値に戻りません。

- 入力信号方式
- ズーム
- ユーザーロゴ
- 言語
- [ネットワーク]メニュー項目
- ランプ点灯時間
- パスワード

関連項目

- 「メニューの設定」 p.105



本機で設定したメニューの内容を、USB経由で他の複数台のプロジェクターにコピーできます(一括設定機能)。一括設定機能は同じ型番のプロジェクター間でのみ使用できます。

以下の内容は一括設定機能ではコピーされません。

- [ネットワーク]メニュー([メール]メニュー、[その他]メニューを除く)
- [情報]メニューの[ランプ点灯時間]、[ステータス]



台形補正などの投写画面の調整をする前に一括設定機能を実行してください。一括設定機能では、タテヨコ補正などの投写画面の調整値もコピーされます。投写画面の調整後に一括設定を行うと、調整した投写画面が変わってしまうことがあります。

一括設定機能を実行すると、ユーザーロゴもコピーされます。複数のプロジェクター間で共有したくない画像は、ユーザーロゴとして設定しないでください。



注意

一括設定は、お客様の責任において行ってください。停電や通信異常などが原因で一括設定に失敗したときは、修理費用が有償となることがあります。

関連項目

- 「メニューの設定」 [p.105](#)
- 「USBメモリーを使って一括設定する」 [p.127](#)
- 「USBケーブルを使って一括設定する」 [p.128](#)

USBメモリーを使って一括設定する

USBメモリーを使用して、同じ型番のプロジェクターにメニュー設定をコピーできます。



FAT形式でフォーマットされ、セキュリティー機能のついていないUSBメモリーを使用してください。また、空のUSBメモリーを使用してください。一括設定ファイル以外のデータが入っていると、設定を正しく保存できないことがあります。

- 1 プロジェクターから電源コードを外し、すべてのインジケータースが消えていることを確認します。
- 2 空のUSBメモリーを、コピー元のプロジェクターのUSB-A端子に直接接続します。
- 3 リモコンまたは操作パネルの[戻る]ボタンを押したまま、電源コードをプロジェクターに接続します。
- 4 インジケータースがすべて点灯したら、[戻る]ボタンを離します。インジケータースが点滅に変わると、一括設定ファイルがUSBメモリーに書き込まれます。書き込みが正常に終了すると、プロジェクターがスタンバイ状態になります。



注意

ファイルの書き込み中は、プロジェクターから電源コードやUSBメモリーを取り外さないでください。電源コードやUSBメモリーを取り外すと、プロジェクターが正常に起動しなくなることがあります。

- 5 USBメモリーを取り外します。



一括設定ファイルのファイル名はPJCONFDATA.binです。ファイル名を変更するときは、半角英数字のみを使用してPJCONFDATAの後に文字列を追加します。ファイル名のPJCONFDATAの部分を変更すると、ファイルが正しく認識できないことがあります。

6 コピー先のプロジェクターから電源コードを外し、すべてのインジケーターが消えていることを確認します。

7 一括設定ファイルが保存されているUSBメモリーを、コピー先のプロジェクターのUSB-A端子に接続します。

8 リモコンまたは操作パネルの【メニュー】ボタンを押したまま、電源コードをプロジェクターに接続します。

9 インジケーターがすべて点灯したら、【メニュー】ボタンを離します。（インジケーターは約75秒点灯します。）

インジケーターが点滅に変わると、一括設定の書き込みが始まります。書き込みが正常に終了すると、プロジェクターがスタンバイ状態になります。

**注意**

ファイルの書き込み中は、プロジェクターから電源コードやUSBメモリーを取り外さないでください。電源コードやUSBメモリーを取り外すと、プロジェクターが正常に起動しなくなることがあります。

10 USBメモリーを取り外します。

関連項目

- 「メニュー設定を別のプロジェクターにコピーする（一括設定機能）」

USBケーブルを使って一括設定する

コンピューターとプロジェクターをUSBケーブルで接続して、同じ型番のプロジェクターにメニュー設定をコピーできます。



USBケーブルを使用した一括設定機能は、以下のバージョンで使用できます。

- Windows Vista以降
- OS X 10.5.3以降

1 プロジェクターから電源コードを外し、すべてのインジケーターが消えていることを確認します。

2 コンピューターのUSB端子とコピー元のプロジェクターのUSB-B端子をUSBケーブルで接続します。

3 リモコンまたは操作パネルの【戻る】ボタンを押したまま、電源コードをプロジェクターに接続します。

4 インジケーターがすべて点灯したら、【戻る】ボタンを離します。コンピューター上で、プロジェクターがリムーバブルディスクとして認識されます。

5 リムーバブルディスクを開き、一括設定ファイルをコンピューターにコピーして保存します。



一括設定ファイルのファイル名はPJCONFDATA.binです。ファイル名を変更するときは、半角英数字のみを使用してPJCONFDATAの後に文字列を追加します。ファイル名のPJCONFDATAの部分を変更すると、ファイルが正しく認識できないことがあります。

6 コンピューター上でUSB機器の取り外し(Windows)、またはリムーバブルディスクの取り出し(OS X)をします。

7 USBケーブルを取り外します。
プロジェクトがスタンバイ状態になります。


8 コピー先のプロジェクトから電源コードを外し、すべてのインジケーターが消えていることを確認します。

9 コンピューターのUSB端子とコピー先のプロジェクトのUSB-B端子をUSBケーブルで接続します。

10 リモコンまたは操作パネルの【メニュー】ボタンを押したまま、電源コードをプロジェクトに接続します。

11 インジケーターがすべて点灯したら、【メニュー】ボタンを離します。
コンピューター上で、プロジェクトがリムーバブルディスクとして認識されます。

12 コンピューターに保存した一括設定ファイル(PJCONFDATA.bin)を、リムーバブルディスクの最上位のフォルダーにコピーします。

 一括設定ファイル以外のファイルやフォルダーをリムーバブルディスクにコピーしないでください。

13 コンピューター上でUSB機器の取り外し(Windows)、またはリムーバブルディスクの取り出し(OS X)をします。

14 USBケーブルを取り外します。
インジケーターが点滅に変わると、一括設定の書き込みが始まります。書き込みが正常に終了すると、プロジェクトがスタンバイ状態になります。

⚠ 注意





ファイルの書き込み中は、プロジェクトから電源コードを外さないでください。電源コードを外すと、プロジェクトが正常に起動しないことがあります。

関連項目

- 「メニュー設定を別のプロジェクトにコピーする（一括設定機能）」 p.127
- 「一括設定でエラーが発生したときは」 p.129

一括設定でエラーが発生したときは

一括設定でエラーが発生したときは、インジケーターでお知らせします。インジケーターの状態をご確認ください。

インジケーターの状態	状態と対処法
 ステータスランプ  ランプ  温度  温度	一括設定ファイルに異常があるか、USBメモリーまたはUSBケーブルが正しく接続されていない可能性があります。 USBメモリーまたはUSBケーブルを取り外し、プロジェクトの電源コードを抜いて差し直してから、もう一度お試しください。
<ul style="list-style-type: none"> • ランプ：橙速点滅 • 温度：橙速点滅 	



インジケータの状態	状態と対処法
<p>ステータス</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 電源：青速点滅 ● ステータス：青速点滅 ● ランプ：橙速点滅 ● 温度：橙速点滅 	<p>一括設定ファイルの書き込みに失敗して、プロジェクトのファームウェアに異常が生じた可能性があります。</p> <p>ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先に修理を依頼してください。</p>

関連項目

- 「USBケーブルを使って一括設定する」 [p.128](#)

プロジェクターをメンテナンスする

プロジェクターのレンズは定期的に掃除する必要があります。また、エアフィルターや吸排気口も掃除して、本機の内部温度が上昇しないようにしてください。

交換が必要な部品は、ランプ、エアフィルター、およびリモコンの電池のみです。他の部品を交換する必要があるときは、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。



警告

掃除をするときは、本機の電源をオフにして電源コードを抜いてから行ってください。また、取扱説明書で指示している場合を除き、本機のケースを開けないでください。内部には電圧の高い部分が多くあり、火災・感電・事故の原因となります。

関連項目

- 「レンズを清掃する」 [p.132](#)
- 「本機を掃除する」 [p.133](#)
- 「エアフィルターと吸排気口をメンテナンスする」 [p.134](#)
- 「ランプをメンテナンスする」 [p.137](#)
- 「リモコンの電池を交換する」 [p.141](#)



プロジェクターのレンズは定期的に掃除し、表面に付着したホコリや汚れに気付いたときにも掃除してください。

- レンズのホコリや汚れは、市販のメガネ拭きなどで軽くふき取ってください。
- 汚れがひどいときは、柔らかい布をレンズクリーナーで湿らせ、レンズを軽くふき取ります。レンズに液体を直接スプレーしないでください。

警告

レンズに付着したゴミ・ホコリの除去に可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。本機内部ではランプが高温になっているため、引火による火災の原因となります。

注意

レンズの表面は傷つきやすいので、かたいものでこすったり、たいたたりしないでください。また、エアダスターも使用しないでください。

関連項目

- 「プロジェクターをメンテナンスする」 [p.131](#)

本機の掃除をするときは、本機の電源をオフにして電源コードを抜いてから行ってください。

- 本機のホコリや汚れは柔らかい布で軽くふき取ってください。
- 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に布をひたしてかたくしぼり、軽くふき取ってから乾いた布で仕上げてください。本機に液体を直接スプレーしないでください。

注意

ワックス、ベンジン、シンナーなど揮発性のものは使わないでください。ケースが変質、変色することがあります。また、エアダスターも使用しないでください。

関連項目

- 「プロジェクターをメンテナンスする」 [p.131](#)

エアフィルターは定期的にメンテナンスしてください。プロジェクトターの内部温度が高くなってきていることを示すメッセージが表示されたらエアフィルターを掃除してください。また、約3ヶ月に一度は掃除することをお勧めします。ホコリの多い環境でお使いの場合は、より短い周期で掃除してください。

注意

定期的にメンテナンスをしないと、プロジェクトターの内部温度が高くなつたときにメッセージが表示されます。本機内部の温度が上昇すると、故障や光学部品の早期劣化の原因となります。メッセージが表示されたらすみやかにエアフィルターを掃除してください。

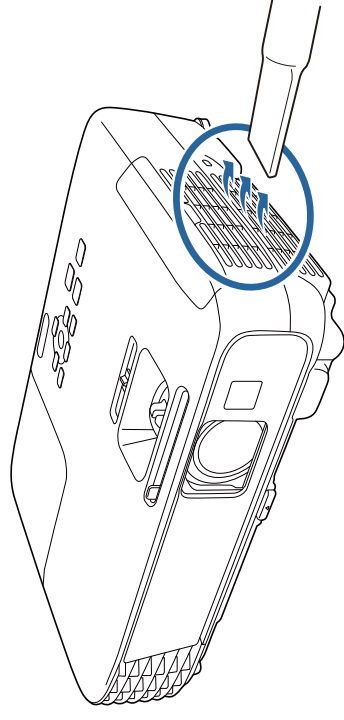
関連項目


- 「プロジェクトターをメンテナンスする」 p.131
- 「エアフィルターおよび吸排気口を清掃する」 p.134
- 「エアフィルターを交換する」 p.134

エアフィルターおよび吸排気口を清掃する

エアフィルターおよび吸排気口は、汚れたときや掃除を促すメッセージが表示されたときに掃除してください。

- 1** 本機の電源を切り、電源コードを抜きます。
- 2** コンピューター用の小型掃除機か、柔らかいブラシでホコリを丁寧に取り除きます。



 エアフィルターは取り外しできるため、両面を掃除できます。エアフィルターは水洗いできません。洗剤や溶剤も使わないでください。

注意

エアダスターは使用しないでください。可燃性の物質が残留したり、精密部分にホコリが入り込むおそれがあります。

- 3** 掃除をしても頻繁にメッセージが表示されるときは交換時期です。新しいエアフィルターに交換してください。

関連項目

- 「エアフィルターと吸排気口をメンテナンスする」 p.134

エアフィルターを交換する

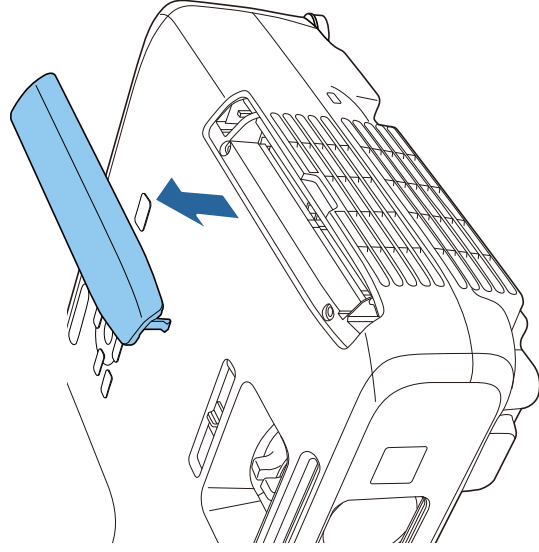
以下の場合、エアフィルターを交換してください。

- エアフィルターの清掃後に清掃または交換することを促すメッセージが表示される

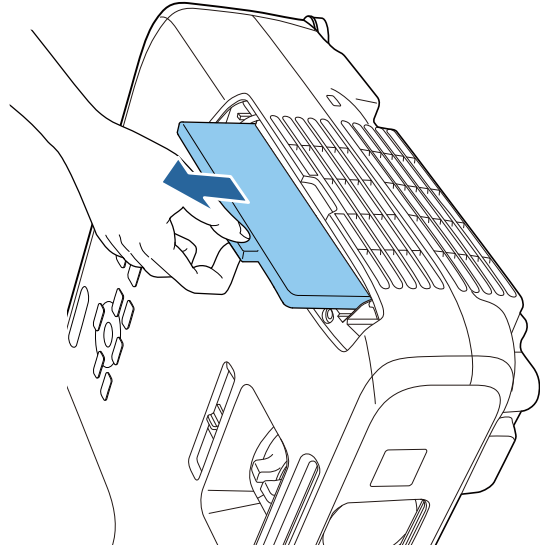


• エアフィルターが破損している本機は天吊り設置したままでもエアフィルターの交換ができません。

- 1** 本機の電源を切り、電源コードを抜きます。
- 2** エアフィルターカバーを開けます。



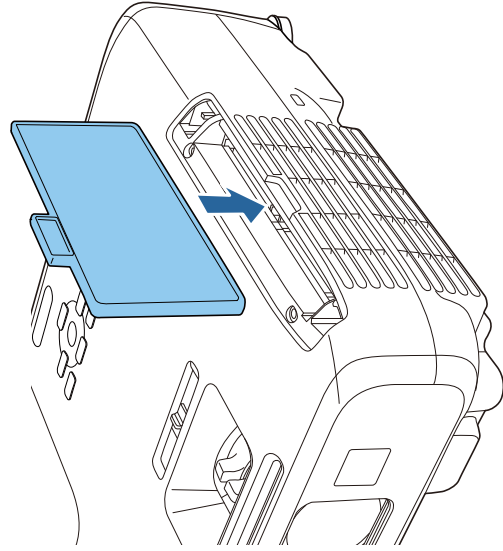
- 3** エアフィルターのタブに指をかけて、まっすぐ引き出します。



使用済みのエアフィルターは、地域の廃棄ルールに従って廃棄してください。会社等でお使いのときは、会社の廃棄ルールに従ってください。

- フィルターの枠：ABS
- フィルター：ポリウレタンフォーム

- 4** 新しいエアフィルターをスライドさせて差し込み、カチッと音がするまで丁寧に押し込みます。



5 エアフィルターカバーを閉めます。

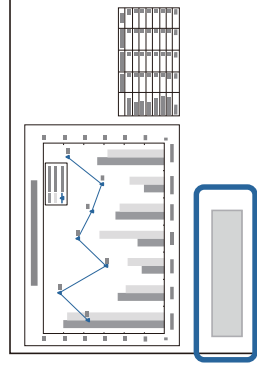
関連項目

- 「エアフィルターと吸排気口をメンテナンスする」 [p.134](#)
- 「消耗品」 [p.162](#)

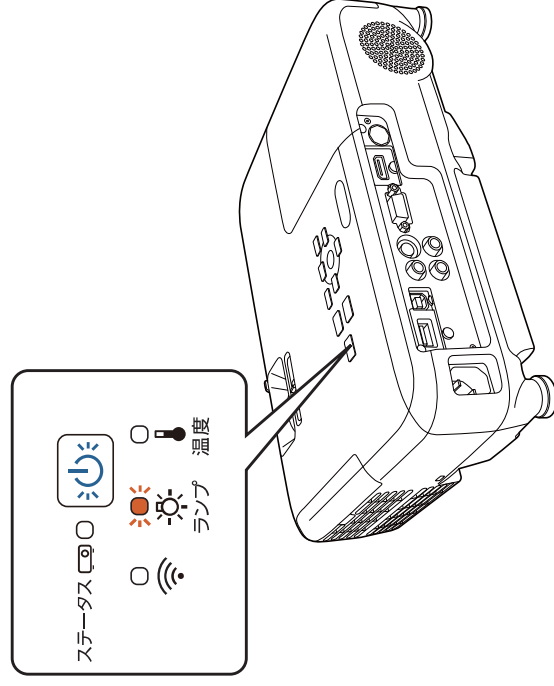
ランプの点灯時間は情報メニューで確認できます。

以下の場合、ランプを交換してください。

- 初期に比べ、明るさや画質が落ちたとき
- ランプの交換を促すメッセージが表示されたとき(メッセージはランプ寿命の100時間前に到達したときに表示され、30秒経過すると消えます)



- 電源インジケータが青色に点滅して、ランプインジケータが橙色に点滅したとき



注意

- ランプ寿命を超えて使い続けると、ランプが破裂する可能性が一段と高くなります。ランプ交換のメッセージが表示されたら、まだランプが点灯する状態でも、すみやかに新しいランプと交換してください。
- 電源オフ直後に電源をオンにする操作を繰り返さないでください。頻繁に電源オフ/オンを繰り返すと、ランプ寿命が短くなるおそれがあります。
- 個々のランプの特性や使用条件などで、ランプ交換のメッセージが表示される前に暗くなったり、点灯しなくなるものがあります。交換用ランプをあらかじめ準備しておくことをお勧めします。
- プロジェクターの性能を十分に発揮するために、エプソン純正品の交換用ランプをお使いください。純正品以外のランプを使用すると、プロジェクター本体に品質面、安全面で悪影響を及ぼす可能性があります。純正品以外のランプを使用して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内でも有償修理となります。

関連項目

- 「プロジェクターをメンテナンスする」 p.131
- 「ランプを交換する」 p.137
- 「ランプ点灯時間を初期化する」 p.140
- 「本機仕様」 p.169

ランプを交換する

本機は天吊り設置したままでもランプの交換ができます。

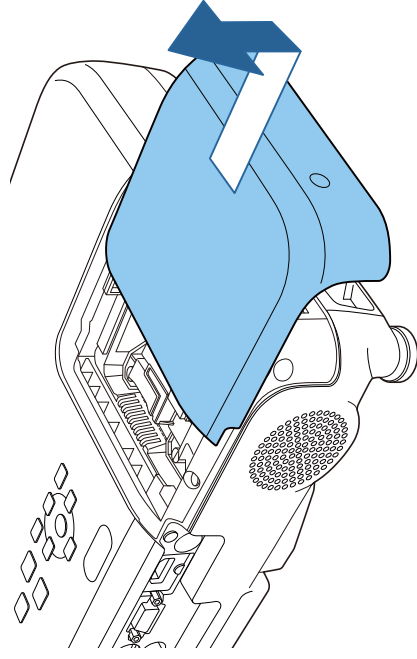
警告

- ランプが十分冷えてからランプカバーを外してください。熱で、やけど・けがの原因となることがあります。ランプが十分冷えるには、電源を切ってから約1時間必要です。
- ランプの分解・改造は、絶対にしないでください。分解・改造したランプをセットして本機を使用すると、火災・感電・事故の原因となります。

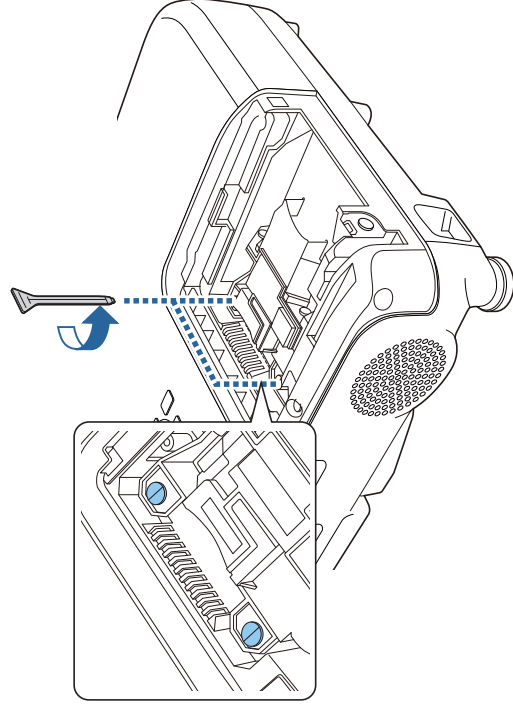
- 1** 本機の電源を切り、電源コードを抜きます。
- 2** ランプを最低1時間冷まします。
- 3** ランプカバーの固定ネジを、交換用ランプに同梱のドライバーまたは+のドライバーでゆるめます。

警告

ランプが点灯しなくなり交換するときは、ランプが割れている可能性があります。本機を天吊り設置していてランプ交換を行うときは、ランプが割れていることを想定しランプカバーの真下に立たずに横から作業してください。また、ランプカバーをそと取り外してくださいます。ランプカバーを取り外す際に細かいガラス破片が落ちてくる可能性があります。けがの原因となります。万一、目や口にガラス破片が入ったときは、直ちに医師の診察を受けてください。

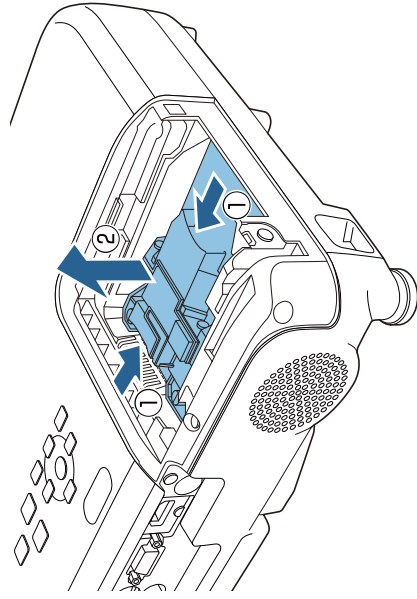


- 5** ランプ固定ネジをゆるめます。ネジが完全に外れることはありません。



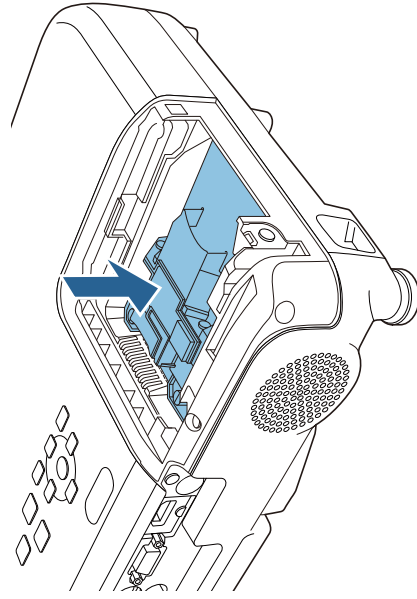
- 4** ランプカバーをまっすぐスライドさせて、持ち上げて外します。

- 6** ランプの突起部をつまんで取り出します。



- ランプが割れているときは、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。
- 本製品のランプには水銀 (Hg) が含まれています。使用済みのランプは、地域の廃棄ルールに従って廃棄してください。会社等でお使いのときは、会社の廃棄ルールに従ってください。一般ゴミに混ぜないでください。

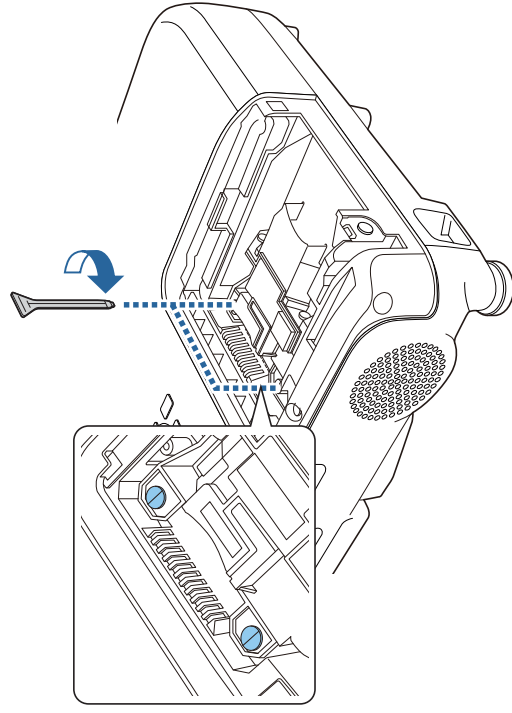
7 新しいランプを取り付けます。ランプを収納部の形に合う向きでガイドレールに沿って入れ、しっかりと押し込みます。



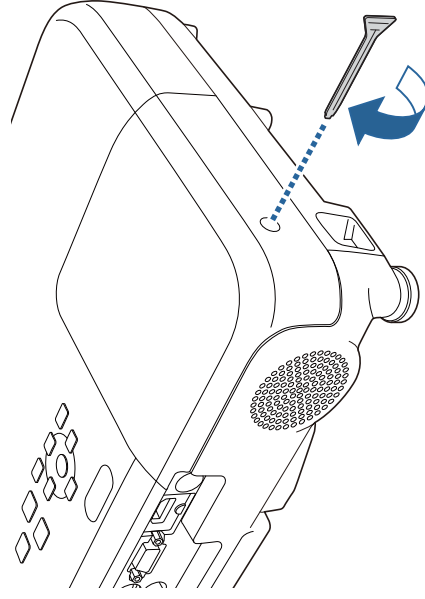
注意

ランプのガラス部分に触れないでください。

8 ランプ固定ネジを締めます。



9 ランプカバーを取り付けます。





- ランプは確実に取り付けてください。本機は安全のため、ランプカバーを外すと自動的にランプが消灯します。ランプやランプカバーの取り付けが不十分だと点灯しません。
- ランプカバーの浮きや変形がないことを確認してから使用してください。

ランプ点灯時間をゼロに初期化して、新しいランプの点灯時間をカウントします。

関連項目

- 「ランプをメンテナンスする」 p.137
- 「消耗品」 p.162

ランプ点灯時間を初期化する

本機はランプ点灯時間を記憶し、累計が交換時間に達するとメッセージやインジケータでお知らせします。ランプ交換を実施した後は、初期化メニューでランプ点灯時間の累計を初期化してください。



ランプ点灯時間の初期化は、ランプを交換したとき以外は行わないでください。ランプの交換時期が正しく表示されなくなります。

- 1** 本機の電源を入れます。
- 2** 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】 ボタンを押します。
- 3** 【初期化】メニューを選択し、【決定】ボタンを押します。
- 4** 【ランプ点灯時間初期化】を選択し、【決定】ボタンを押します。



ランプ点灯時間を初期化するかを確認するメッセージが表示されます。

- 5** 【はい】を選択し、【決定】ボタンを押します。

- 6** 【メニュー】ボタンまたは【戻る】ボタンを押してメニューを終了します。

関連項目

- 「ランプをメンテナンスする」 p.137

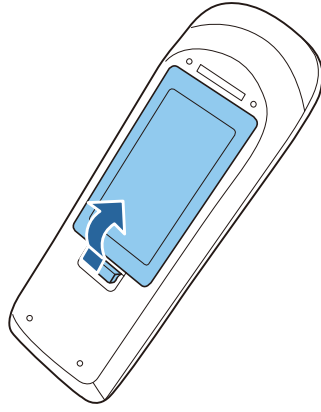


リモコンの交換用電池は単3形マンガンあるいはアルカリ乾電池2本を用意してください。電池がなくなったら電池を交換してください。

注意

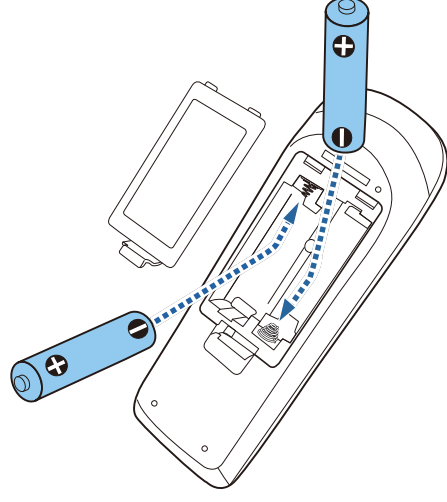
電池を取り扱う前に、『安全にお使いいただくために』を必ずお読みください。

1 電池カバーを開きます。



2 電池を取り外します。

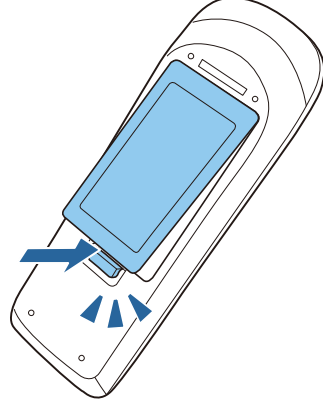
3 電池の+と-の向きを確認してリモコンにセットします。



警告

電池ホルダー内の表示を確認し、(+) (-)を正しく入れてください。電池の使い方を誤ると、電池の破裂・液もれにより、火災・けが・製品腐食の原因となることがあります。

4 電池カバーを閉め、カチッと音がするまで押し込みます。





関連項目

- 「プロジェクターをメンテナンスする」 [p.131](#)

困ったときに

想定されるトラブルと、その対処方法について説明します。

関連項目

- 「トラブルの対処方法」 [p.144](#)
- 「インジケータの見方」 [p.145](#)
- 「ヘルプの見方」 [p.148](#)
- 「映像や音声に関するトラブル」 [p.149](#)
- 「プロジェクター、リモコンの操作に関するトラブル」 [p.156](#)
- 「ネットワークに関するトラブル」 [p.158](#)



プロジェクトが正しく動作しないときは、一度電源を切り、電源コードを差し直してから再度電源を入れます。

問題が解決しないときは、以下を確認します。

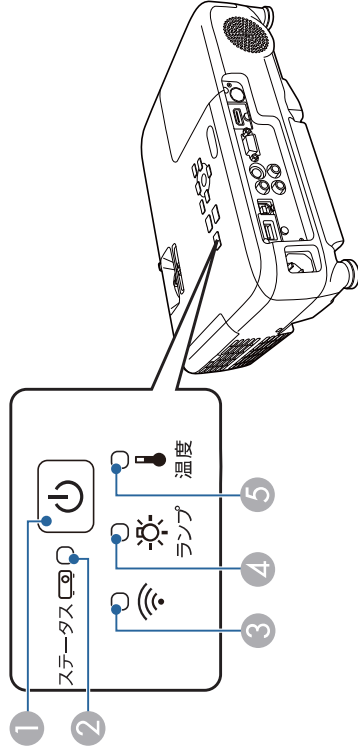
- インジケーターで本機の状態を確認する。
- ヘルプでトラブル発生時の解決方法を確認する。
- 本書のトラブル一覧で対処方法を確認する。

問題が解決しないときは、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

関連項目

- 「困ったときに」 [p.143](#)


インジケータは、本機の状態をお知らせします。インジケータの色と状態を確認し、対処方法については以下の表を参照してください。



- ① 電源インジケータ
- ② ステータスインジケータ
- ③ 無線LANインジケータ (EB-U32でのみ動作)
- ④ ランプインジケータ
- ⑤ 温度インジケータ

インジケータの状態	状態と対処方法
電源：青点滅 ステータス：消灯 ランプ：消灯 温度：消灯	ネットワーク監視の準備状態のため、すべての操作が無効になります。
電源：青点滅 ステータス：状態依存 ランプ：状態依存 温度：橙点滅	内部温度が高くなっています。 <ul style="list-style-type: none"> ● エアフィルタ・排気口がふさがれていないか、周辺の物や壁で通気が妨げられていないか確認します。 ● エアフィルタが目詰まりしているときは、掃除または交換します。 ● 高温にならない環境で使用するようにします。
電源：消灯 ステータス：青点滅 ランプ：消灯 温度：橙点滅	内部高温異常(オーバーヒート)状態です。ランプが自動的に消灯し、投写できなくなります。電源を切った状態で5分間待ち、温度を下げます。 <ul style="list-style-type: none"> ● エアフィルタ・排気口がふさがれていないか、周辺の物や壁で通気が妨げられていないか確認します。 ● エアフィルタが目詰まりしているときは、掃除または交換します。 ● 標高1,500m以上の場所でお使いのときは、[拡張設定]メニューで[高地モード]を[オン]にします。 ● [拡張設定] > [動作設定] > [高地モード]の問題が解決しないときは、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先先に記載の連絡先にご相談ください。

インジケータの状態	状態と対処方法
電源：青点灯 ステータス：青点灯 ランプ：消灯 温度：消灯	投写中の状態です。
電源：青点灯 ステータス：青点滅 ランプ：消灯 温度：消灯	ウォームアップ中またはシャットダウン中です。ウォームアップ中の場合は、約30秒経つと映像が表示されます。 ウォームアップ中、シャットダウン中は、すべてのボタン操作が無効になります。
電源：青点灯 ステータス：消灯 ランプ：消灯 温度：消灯	スタンバイ状態、スリープモード、ネットワーク監視状態のいずれかの状態です。 電源ボタンを押すと、投写を開始します。

インジケータの状態	状態と対処方法
電源： 消灯 ステータス： 青点滅 ランプ： 橙点灯 温度： 消灯	ランプ異常、ランプ点灯失敗状態です。 <ul style="list-style-type: none"> ランプを取り出してランプが割れていないか確認します。必要に応じて、ランプを取り付け直すか、交換します。 エアフィルターを掃除します。 標高1,500m以上の場所でお使いのときは、[拡張設定]メニューで[高地モード]を[オン]にします。  [拡張設定] > [動作設定] > [高地モード] 問題が解決しないときは、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。 ランプカバー開放状態です。 ランプとランプカバーが確実に取り付けられているか確認してください。ランプとランプカバーの取り付けが不完全なときはランプが点灯しません。
電源： 青点滅 ステータス： 状態依存 ランプ： 橙点滅 温度： 状態依存	ランプの交換勧告です。新しいランプに交換します。ランプ寿命を超えて使い続けると、ランプが破裂する可能性が一段と高くなります。
電源： 消灯 ステータス： 青点滅 ランプ： 消灯 温度： 橙点滅	ファン異常またはセンサー異常状態です。ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先にご相談ください。
電源： 消灯 ステータス： 青点滅 ランプ： 橙点滅 温度： 消灯	内部異常状態です。ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先にご相談の連絡先にご相談ください。

インジケータの状態	状態と対処方法
電源： 消灯 ステータス： 青点滅 ランプ： 橙点滅 温度： 橙点滅	オートイリス異常状態です。ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。
電源： 消灯 ステータス： 青点滅 ランプ： 橙点灯 温度： 橙点灯	電源系異常(バラスト)状態です。ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。
無線LANインジケータの状態	状態と対処方法
青点灯	無線LANを使用できます。
速い青点滅	機器に接続中です。
遅い青点滅	異常状態です。本機の電源を切り、再度電源を入れ直します。 問題が解決しないときは、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。
消灯	無線LANを使用できません。無線LANの設定が正しいことを確認してください。



各インジケータがこの表にない状態のときは、ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

関連項目

- 「困ったときに」 [p.143](#)
- 「エアフィルターおよび吸排気口を清掃する」 [p.134](#)
- 「エアフィルターを交換する」 [p.134](#)

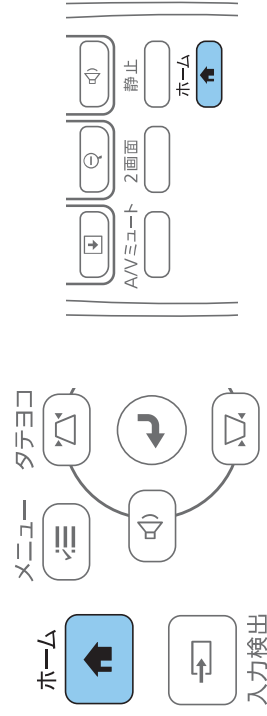


- 「ランプを交換する」 [p.137](#)

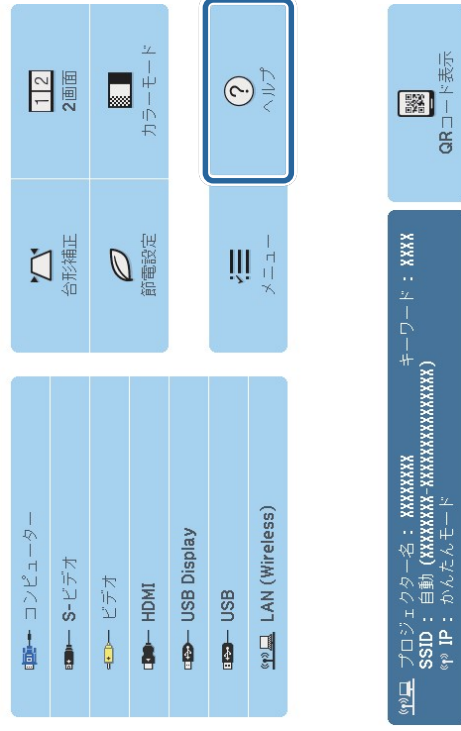


トラブル発生時の解決方法を投写映像に表示できます。質問に答えていくと適切な状態に設定することもできます。

- 1 本機の電源を入れます。
- 2 操作パネルまたはリモコンの【ホーム】ボタンを押します。



- 3 ホーム画面で【ヘルプ】を選択します。



ヘルプメニューが表示されます。

- 4 上下ボタンを使用して、問題の項目を選択します。

【ヘルプ】

映像が小さい。
映像が台形に投写される。
色合いがおかしい。
音が出ない・小さい。

- 5 【決定】ボタンを押して、対処方法を表示します。
- 6 確認が終わったら、以下のいずれかの操作をします。
 - 他の問題を選ぶ場合は【戻る】ボタンを押します。
 - ヘルプを終了する場合は【メニュー】ボタンを押します。

関連項目

- 「困ったときに」 [p.143](#)



投写する映像や、出力する音声に関するトラブルの対処方法を確認してください。

関連項目

- 「困ったときに」 [p.143](#)
- 「映像が表示されない」 [p.149](#)
- 「USBディスプレイの映像が表示されない」 [p.150](#)
- 「映像信号が入力されていません」というメッセージが表示される」 [p.150](#)
- 「この信号は本プロジェクターでは受けられません」というメッセージが表示される」 [p.151](#)
- 「映像の一部が表示されない」 [p.152](#)
- 「映像がゆがむ」 [p.152](#)
- 「映像にノイズが入る、乱れる」 [p.153](#)
- 「映像がぼやける」 [p.153](#)
- 「映像の明るさや色合いが違う」 [p.154](#)
- 「音が出ない、小さい」 [p.154](#)
- 「PC Freeで画像ファイル名が正しく表示されない」 [p.155](#)

映像が表示されない

映像が表示されないときは、次の対処方法を確認してください。

- 電源ボタンを押して電源を入れます。
- レンズカバーを完全に開けます。
- リモコンの【AVミュート】ボタンを押して、映像が一時的に消されないか確認します。
- 【AVミュート】ボタンを押しても解決しない場合は、レンズシャッタースイッチが故障している可能性があります。お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先に修理を依頼してください。

- 必要なケーブルがすべて接続されていること、本機の電源が入っていること、接続された映像機器の電源が入っていることを確認します。
- 入力映像が黒一色でないことを確認します(コンピューターの映像投写時のみ)。
- 本機のメニュー設定が正しいことを確認します。
- スタンバイ状態、スリープモードから復帰するには、本機の電源ボタンを押します。また、接続されたコンピューターがスリープ状態でないか、黒一色のスクリーンセーバーが表示されていないか確認します。
- 「映像」メニューの設定が接続している機器に合っているか確認します。
- 「画質」メニューで「明るさ」を調整するか、「[節電]メニュー」で「明るさ切替」を「高」に設定します。
- 「拡張設定」メニューの「表示設定」で「メッセージ表示」を「オン」に設定します。
- 操作パネルのボタンを押してもプロジェクターが反応しないときは、ボタン操作がロックされている可能性があります。ボタンのロックを解除します。
- リモコンのボタンを押してもプロジェクターが反応しないときは、リモコン受光部の設定を確認します。
- Windows Media Centerで映像を投写するときは、全画面表示を使用せず、縮小画面表示にしてください。
- Windows DirectXを使用するアプリケーションは、正しく表示されないことがあります。
- 著作権保護された動画をコンピューターで再生すると、プロジェクターから投写されないことがあります。詳しくは、コンピューターの取扱説明書をご覧ください。

関連項目

- 「映像や音声に関するトラブル」 [p.149](#)



- 「映像メニュー」 p.110
- 「画質メニュー」 p.108
- 「節電メニュー」 p.122
- 「操作ボタンロックを解除する」 p.84
- 「拡張設定メニュー」 p.114

USBディスプレイの映像が表示されない

USBディスプレイで映像が正しく表示されないときは、次の対処方法を確認してください。

- リモコンの【USB】ボタンを押します。
- USBディスプレイドライバーが正しくインストールされていることを確認します。必要な場合は手動でインストールします。
- OS Xの場合：[Dock]の[USB Display]アイコンを選択します。USB Displayアイコンが[Dock]に表示されないときは、[アプリケーション]フォルダーの[USB Display]をダブルクリックします。
- [Dock]の[USB Display]アイコンメニューで[終了]を選択すると、次回USBケーブルを接続したときにUSBディスプレイは自動的に起動しません。
- Windows 2000搭載のコンピューターをユーザー権限でお使いのときは、Windowsのエラーメッセージが表示され使用できないことがあります。Windowsをアップデートして最新の状態にし、コンピューターを再起動してから再度接続し直してください。詳細はお買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。
- Windows Media Centerで映像を投写するときは、全画面表示を使用せず、縮小画面表示にしてください。
- Windows DirectXを使用するアプリケーションは、正しく表示されないことがあります。

- マウスカーソルがちらつくときは、[Epson USB Displayの設定]で、[デスクトップ画面のマウスカーソルをきれいにする]を選択します (Windows 2000は対応していません)。
- [Epson USB Displayの設定]で、[レイヤーウィンドウの転送]をオフにします。
- 解像度がWUXGA (1920 x 1200)のプロジェクターで投写中にコンピューターの解像度を変更すると、映像の品質が低下することがあります。

関連項目

- 「映像や音声に関するトラブル」 p.149
- 「USBケーブルを接続して映像と音声を出力する」 p.23

「映像信号が入力されていません」というメッセージが表示される

「映像信号が入力されていません」というメッセージが表示されるときは、次の対処方法を確認してください。

- 【入力検出】ボタンを押し、映像が表示されるまで数秒待ちます。
- 接続された映像機器の電源を入れ、必要な場合は再生を押しプレゼンテーションや動画の再生を開始します。
- 投写に必要なケーブルがすべて接続されているか確認します。
- プロジェクターと映像機器を直接接続してください。
- ノート型コンピューターから投写するときは、コンピューターの設定を切り替えて、プロジェクターに映像を表示します。
- 必要に応じて、本機および接続された映像機器の電源を一度切った後、再度電源を入れます。
- HDMIケーブルで接続しているときにこのメッセージが表示される場合は、ケーブルを短いものに交換して試してください。



関連項目

- 「映像や音声に関するトラブル」 p.149
- 「ノート型コンピューターから映像を出力する」 p.151
- 「Macのノート型コンピューターから映像を出力する」 p.151

ノート型コンピューターから映像を出力する

ノート型コンピューターからの投写時に「映像信号が入力されています」というメッセージが表示される場合は、コンピューターの設定を切り替えて、プロジェクト型コンピューターに映像を表示します。

- 1 ノート型コンピューターの[Fn]キーを押しながら、モニターのアイコンや[CRT/LCD]が表示されているキーを押します。(詳しくはお使いのコンピューターの取扱説明書をご覧ください。)映像が表示されるまで数秒待ちます。
- 2 ノート型コンピューターの画面とプロジェクト型の両方で映像を表示するには、もう一度同じキーを押します。
- 3 ノート型コンピューターとプロジェクト型で同じ映像が表示されないときは、Windowsの[ディスプレイ]ユーティリティで、外部モニター端子が有効であるか、拡張ディスプレイが無効になっているかを確認します。(詳しくはお使いのコンピューターまたはWindowsの取扱説明書をご覧ください。)
- 4 必要に応じて、ビデオカードの設定を確認し、マルチディスプレイオプションを[クロール]または[ミラー]に設定します。

関連項目

- 「映像信号が入力されていません」というメッセージが表示される」

p.150

Macのノート型コンピューターから映像を出力する

Macのノート型コンピューターからの投写時に、「映像信号が入力されていません」というメッセージが表示される場合は、コンピューターの設定でディスプレイをミラーリングします。(詳しくはお使いのコンピューターの取扱説明書をご覧ください。)

- 1 [システム環境設定]を開き、[ディスプレイ]を選択します。
- 2 必要に応じて、[ディスプレイ]または[カラーLCD]を設定します。
- 3 [調整]または[アレンジメント]をクリックします。
- 4 [ディスプレイをミラーリング]を選択します。

関連項目

- 「映像信号が入力されていません」というメッセージが表示される」 p.150

「この信号は本プロジェクト型では受けられません」というメッセージが表示される

- 「この信号は本プロジェクト型では受けられません」というメッセージが表示される場合は、次の対処方法を確認してください。
- 「映像」メニューで正しい入力信号方式が選択されているか確認します。



- コンピューターのディスプレイ解像度が本機に対応解像度、周波数と合っているか確認します。必要に応じて、コンピューターのディスプレイ解像度を変更します。（詳しくはお使いのコンピューターの取扱説明書をご覧ください。）

関連項目

- 「映像や音声に関するトラブル」 p.149
- 「映像メニュー」 p.110

映像の一部が表示されない

映像が部分的にしか表示されないときは、次の対処方法を確認してください。

- リモコンの【自動調整】ボタンを押して映像信号を最適化します。
- 「映像」メニューの【表示位置】で映像の表示位置を調整します。
- リモコンの【アスペクト】ボタンを押して、アスペクト比を変更します。
- 接続された機器の信号に応じて、「映像」メニューの【入力解像度】を設定します。
- 【ズーム】ボタンで映像をズームしたときは、【戻る】ボタンを押してズームを解除します。
- コンピューターのディスプレイ設定でデュアルディスプレイが無効になっているか、本機に対応解像度に合った設定がされているか確認します。（詳しくはお使いのコンピューターの取扱説明書をご覧ください。）
- プレゼンテーションファイルの解像度を確認して、異なる解像度でファイルが作成されていないか確認します。（詳しくはお使いのソフトウェアのヘルプをご覧ください。）

- 正しい設置モードを選択していることを確認します。[拡張設定]メニューの[設置モード]で[フロント]、[フロント・天吊り]、[リア]、[リア・天吊り]を選択します。

関連項目

- 「映像や音声に関するトラブル」 p.149
- 「映像メニュー」 p.110
- 「拡張設定メニュー」 p.114
- 「対応解像度」 p.167

映像がゆがむ

投写画面がゆがむときは、次の対処方法を確認してください。

- 投写画面に対してプロジェクターを平行に設置します。
- フットを使って映像の高さを調整したときは、台形補正ボタンを押して、映像のゆがみを補正します。
- 「設定」メニューで、スライド式ヨコ補正をオンにします。ヨコ補正スライダーを左右に移動させて、映像が長方形に表示されるように調整します。
- 「設定」 > [台形補正] > [タテヨコ] > [スライド式ヨコ補正]
- 「設定」メニューで、自動タテ補正をオンにします。本機を動かすと、自動的に投写映像が補正されます。
- 「設定」 > [台形補正] > [タテヨコ] > [自動タテ補正]
- Quick Cornerを使って、コーナーの形状を個別に補正します。
- 「設定」 > [台形補正] > [Quick Corner]



関連項目

- 「映像や音声に関するトラブル」 p.149
- 「自動タテ補正」 p.43
- 「台形補正ボタンで映像のゆがみを補正する」 p.44
- 「Quick Corner機能で映像のゆがみを補正する」 p.45

映像にノイズが入る、乱れる

投写映像に電子的な干渉(ノイズ)や妨害が入るときは、次の対処方法を確認してください。

- 本機と映像機器を接続しているケーブルの状態を確認します。ケーブルが以下の状態であることを確認してください。
 - 干渉を受けないように、電源コードから離れている
 - ケーブルの両端が確実に接続されている
 - 延長ケーブルを使用しない
 - ケーブルの長さを3メートル以内にする
- 「映像」メニューの設定が接続している機器に合っているか確認します。
- 「画質」メニューの「プログレッシブ変換」と「ノイズリダクション」が設定できる入力ソースのときはこれらの設定をします。
- コンピューターのディスプレイ解像度やリフレッシュレートが本機に対応解像度、リフレッシュレートと合っているか確認します。
- コンピューターから映像を投写しているときは、リモコンの【自動調整】ボタンを押して「トラッキング」と「同期」の設定を最適化します。映像が正しく調整されないときは、「映像」メニューで「トラッキング」と「同期」を設定します。
- 「映像」メニューで「入力解像度」を「オート」に設定します。
- 映像のゆがみを補正したときは、「画質」メニューで「シャープネス」を低い値に設定し、表示画質を向上させます。

- 延長ケーブルを使用して電源に接続しているときは、延長ケーブルを使わずに投写して、映像にノイズが入らないか確認します。

- USBディスプレイを使って投写するときは、「Epson USB Displayの設定」で「レイヤードウィンドウの転送」をオフにします。

関連項目

- 「映像や音声に関するトラブル」 p.149
- 「映像メニュー」 p.110
- 「画質メニュー」 p.108
- 「対応解像度」 p.167

映像がぼやける

投写映像がぼやけるときは、次の対処方法を確認してください。

- 映像のピンントを合わせます。
- 本機のレンズを掃除します。



寒い場所から暖かい場所に持ち込んだときは、レンズの表面が結露して映像がぼやけることがあります。お使いになる1時間くらい前に、通電しない状態で本機を設置するようにします。

- 投写距離の推奨範囲内で設置します。
- 映像の高さ調整のために本機の傾斜角度を大きくすると映像がゆがみます。傾斜角度を小さくして台形補正の調整値を小さくします。
- 「設定」メニューで、自動タテ補正をオンにします。
 - 「設定」> 「台形補正」> 「タテヨコ」> 「自動タテ補正」
- 「画質」メニューで「シャープネス」を調整して、表示画質を上げます。



- コンピューターから映像を投写しているときは、リモコンの【自動調整】ボタンを押してトラッキングと同期の設定を最適化します。映像に縦の縞模様が出たり、全体的にぼやけるときは、均一なパターン画面を表示し、[映像]メニューで[トラッキング]と[同期]を設定します。
- コンピューターから映像を投写しているときは、解像度を下げるか、本機の解像度に合わせて解像度を変更します。

関連項目

- [映像や音声に関するトラブル] p.149
- [フォーカスリングで映像のピントを調整する] p.50
- [レンズを清掃する] p.132
- [映像メニュー] p.110
- [画質メニュー] p.108
- [対応解像度] p.167

映像の明るさや色合いが違う

- 投写映像が暗すぎたり明るすぎるとき、また色合いが正しく表示されないときは、次の対処方法を確認してください。
- リモコンの【カラーモード】ボタンを押して、映像と投写環境に合うカラーモードを選択します。
 - お使いのビデオ機器の設定を確認します。

- [画質]メニューで[明るさ]、[コントラスト]、[色合い]、[カラー調整]、[色の濃さ]などを設定します。

- [映像]メニューで[入力信号方式]または[ビデオ信号方式]を正しく設定します。

- [映像] > [アドバンス] > [入力信号方式]
- [映像] > [アドバンス] > [ビデオ信号方式]

- 必要なケーブルが本機とビデオ機器に確実に接続されていることを確認します。ケーブルが長いときは、短いケーブルで接続します。
- [節電]メニューの[明るさ切替]で[低]を選択しているときは、[高]に設定します。



高地や高温になりやすい場所では、映像が暗めに表示されます。このとき[明るさ切替]が設定できないことがあります。

- 投写距離の推奨範囲内で設置します。
- ランプの交換時期が近づくと映像が暗くなったり色合いが悪くなったりします。新しいランプと交換してください。

関連項目

- [映像や音声に関するトラブル] p.149
- [カラーモードを設定する] p.56
- [映像メニュー] p.110
- [画質メニュー] p.108
- [節電メニュー] p.122

音が出ない、小さい

- 音が出ない、小さすぎるなどの問題があるときは、次の対処方法を確認してください。
- 本機の音量設定を調整します。

- 一時的に映像と音を消したときは、リモコンの【AVミュート】ボタンを押して、映像と音を再開します。
- コンピューター、ビデオ機器で音量が大きくなっているか、音声出力が正しく設定されているか確認します。
- オーディオケーブルを一度外し、再度接続します。
- プロジェクターとビデオ機器のケーブルが正しく接続されているか確認します。
- HDMIケーブルで接続している音声が出ないときは、接続されている機器をPCM出力に設定します。
- 接続するオーディオケーブルは「抵抗なし」と表記されているものを使用します。
- USBディスプレイを使って投写するときは、[Epson USB Displayの設定]で[音声をプロジェクターで出力する]をオンにします。
- MacとプロジェクターをHDMIケーブルで接続している音が出ないときは、MacがHDMI端子からの音声出力に対応しているか確認します。
- コンピューターの音量を最小、プロジェクターの音量を最大に設定していると、ノイズが入ることがあります。コンピューターの音量を上げて、プロジェクターの音量を下げてください。(EasyMP Network Projection、EasyMP Multi PC Projection、USBディスプレイ、クイックワイヤレスを使用する場合)

関連項目

- 「映像や音声に関するトラブル」 [p.149](#)
- 「音量ボタンで音量を調整する」 [p.59](#)
- 「プロジェクターを接続する」 [p.22](#)
- 「拡張設定メニュー」 [p.114](#)
- 「節電メニュー」 [p.122](#)

PC Freeで画像ファイル名が正しく表示されない

ファイル名の文字数が表示幅を超える場合や、非対応の記号が含まれている場合は、PC Free機能ではファイル名が短縮または変更されます。ファイル名を短縮もしくは変更してください。

関連項目

- 「映像や音声に関するトラブル」 [p.149](#)


プロジェクター、リモコンの操作に関するトラブルの対処方法を確認してください。

関連項目

- 「困ったときに」 [p.143](#)
- 「電源が入らない、予期せず切れる」 [p.156](#)
- 「リモコンで操作できない」 [p.156](#)
- 「パズワードが入力できない」 [p.157](#)

電源が入らない、予期せず切れる

電源ボタンを押しても本機の電源が入らない、予期せず電源が切れるときは、次の対処方法を確認してください。

- 電源コードが本機とコンセントに確実に接続されていることを確認します。
- セキュリティーのため、操作パネルのボタン操作がロックされていることがあります。[設定]メニューで[操作ボタンロック]を解除するか、リモコンを使用して本機の電源を入れます。
 [設定] > [ロック設定] > [操作ボタンロック]
- 電源コードが故障している可能性があります。電源コードを抜いて、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。
- 本機のランプが予期せず消えるときは、一定時間操作が行われずスリープモードになっている可能性があります。いずれかのボタンを押して、スリープモードから復帰します。スリープモードを無効にするには、[節電]メニューで[スリープモード]を[オフ]にします。

- 本機のランプが予期せず消えるときは、AVミュートタイマーが有効になっている可能性があります。AVミュートタイマーを無効にするには、[節電]メニューで[AVミュートタイマー]を[オフ]にします。
- 本機のランプが予期せず消えるときは、レンズカバータイマーが有効になっている可能性があります。レンズカバータイマーを無効にするには、[節電]メニューで[レンズカバータイマー]を[オフ]にします。
- 本機のランプが消え、ステータスインジケーターが点滅して温度インジケーターが点灯しているときは、本機の内部温度が高温になったため電源がオフになっています。
- リモコンの電源ボタンを押しても本機の電源が入らないときは、リモコンの電池を確認します。また、[設定]メニューで[リモコン受光部]の設定を確認します。

関連項目

- 「プロジェクター、リモコンの操作に関するトラブル」 [p.156](#)
- 「操作ボタンロックを解除する」 [p.84](#)
- 「節電メニュー」 [p.122](#)
- 「インジケーターの見方」 [p.145](#)
- 「設定メニュー」 [p.112](#)

リモコンで操作できない

本機がリモコン操作に反応しないときは、次の対処方法を確認してください。

- リモコンの電池を正しくセットして、電池が切れていないことを確認します。必要に応じて、電池を交換します。
- 受光可能な角度、距離の範囲内でリモコンを操作します。

- 本機がウォームアップ中またはシャットダウン中でないか確認します。
- リモコンのボタンが押し込まれた状態になっていないか確認します。その状態ではリモコンが操作できないことがあります。ボタンを元の状態に戻してください。
- 蛍光灯の強い光、直射日光、赤外線機器の信号が、本機のリモコン受光部に干渉することがあります。強い光などがリモコン受光部に当たる場所を避けて本機を設置してください。
- 【設定】メニューの[リモコン受光部]で、いずれかの受光部がオンになっていることを確認します。
- [リモコン受光部]がオフに設定されているときは、リモコンの【メニュー】ボタンを15秒以上押したままにして、この設定を初期値に戻します。
- 複数のプロジェクターを1つのリモコンから操作するため、ID番号を設定したときは、ID設定の確認、変更が必要になることがあります。
- リモコンを紛失した場合は、新たにリモコンをお買い求めいただけます。

関連項目

- 「プロジェクター、リモコンの操作に関するトラブル」 [p.156](#)
- 「リモコンを操作する」 [p.32](#)
- 「操作対象のプロジェクターIDをリモコンで選択する」 [p.77](#)
- 「リモコンの電池を交換する」 [p.141](#)
- 「設定メニュー」 [p.112](#)

パスワードが入力できない

パスワードを入力できない、または忘れたいときは、次の対処方法を確認してください。

- パスワードを設定せずに、パスワードプロテクトを有効にしていることがあります。初期パスワード**0000**を入力します。
- 誤ったパスワードを何度も入力すると、問い合わせコードを示すメッセージが表示されます。そのコードをメモして、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。パスワードに関してお問い合わせをいただいた際は、お客様のお名前や連絡先をお聞きし、ご本人であることを確認させていただきます。
- リモコンを紛失したときはパスワードを入力できません。新たにリモコンをお買い求めください。

関連項目

- 「プロジェクター、リモコンの操作に関するトラブル」 [p.156](#)

ネットワーク経由でプロジェクターを使用するとき想定されるトラブルの対処方法を確認してください。

関連項目

- 「困ったときに」 [p.143](#)
- 「Webブラウザを使って設定を変更できない」 [p.158](#)
- 「異常が起きたときにメール通知されない」 [p.158](#)
- 「ネットワーク経由で投写した映像が乱れる」 [p.158](#)

Webブラウザを使って設定を変更できない

Webブラウザを使って本機の設定を変更できないときは、正しいIDとパスワードを使用していることを確認します。

- ユーザーIDには**EPSONWEB**と入力します。(ユーザーIDは変更できません。)
- パスワードには、[基本設定]メニューで設定しているパスワードを入力します。デフォルトのパスワードは**admin**です。
- プロジェクターが接続しているネットワークへのアクセス権を持っていることを確認します。



ユーザーID、パスワードの大文字小文字は区別されます。

関連項目

- 「ネットワークに関するトラブル」 [p.158](#)
- 「ネットワークメニュー - 基本設定メニュー」 [p.117](#)

異常が起きたときにメール通知されない

プロジェクターの異常/警告を通知するメールが受け取れないときは、次の対処方法を確認してください。

- 本機の電源が入っているか、ネットワークに正しく接続されているか確認します。(本機に致命的な異常が発生し、瞬時に起動停止状態になったときは、メールが送信できないことがあります。)
- [メール]メニューまたはネットワークソフトウェアでメール通知機能を正しく設定していることを確認します。
- 本機がスタンバイ状態のときもプロジェクターを監視できるように、[節電]メニューで[待機モード]を[通信オン]に設定します。
- 本機をお使いの地域が停電になっていたり、本機の電源を取っているコンセントのブレーカーが切れていないか確認してください。

関連項目

- 「ネットワークに関するトラブル」 [p.158](#)
- 「ネットワークメニュー - メールメニュー」 [p.120](#)

ネットワーク経由で投写した映像が乱れる

ネットワーク経由で投写した映像が乱れるときは、次の対処方法を確認してください。

- アクセスポイントとコンピューターやモバイルデバイス、プロジェクターの間に障害物がないかを確認し、電波状況がよくなるようにそれらの位置を変更します。
- アクセスポイントとコンピューターやモバイルデバイス、プロジェクターが離れすぎているか確認します。離れすぎているときは、近づけて接続します。



- 映像の表示が遅いときや、投写映像にノイズが入るときは、Bluetoothを使用する機器や電子レンジなどからの干渉がないか確認してください。干渉の可能性のある機器を遠ざけるか、無線帯域を確保します。
- 映像の表示が遅いときは、接続している機器の数を減らしてください。

関連項目

- 「ネットワークに関するトラブル」 [p.158](#)

付録

本機の仕様や使用上の注意事項については、以下の項目をご確認ください。

関連項目

- 「オプション・消耗品一覧」 [p.161](#)
- 「スクリーンサイズと投写距離」 [p.163](#)
- 「対応解像度」 [p.167](#)
- 「本機仕様」 [p.169](#)
- 「外形寸法図」 [p.171](#)
- 「USBディスプレイのシステム要件」 [p.172](#)
- 「IEC60950-1 A2対応安全規格対応シンボルマーク」 [p.173](#)
- 「用語解説」 [p.175](#)
- 「一般のご注意」 [p.177](#)

下記のオプション・消耗品を用意しています。用途に合わせてお買い求めください。これらのオプション品は2015年3月現在のものです。予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

関連項目

- 「付録」 p.160
- 「オプション」 p.161
- 「消耗品」 p.162

オプション

- **電子黒板ユニット ELPIU02**
投写画面上でコンピュータ画面の操作をするときに使います。
- **書画カメラ ELPDC06/ELPDC12/ELPDC20**
書籍やOHP原稿、スライドなどを投写するときに使います。
- **ソフトキヤリングケース ELPKS63 (EB-W31/EB-X36/EB-X31/EB-S31/EB-W420/EB-S04)**
本機の持ち運びに便利なソフトケースです。
- **60型スクリーン ELPSC27**
- **80型スクリーン ELPSC28**
- **100型スクリーン ELPSC29**
携帯型ロールスクリーンです。(アスペクト比4:3)
- **70型スクリーン ELPSC23**
- **80型スクリーン ELPSC24**
- **90型スクリーン ELPSC25**
携帯型ロールスクリーンです。(アスペクト比16:10)
- **64型スクリーン ELPSC31**
携帯型マグネットスクリーンです。(アスペクト比4:3)

- **50型スクリーン ELPSC32**
持ち運びに便利なコンパクトスクリーンです。(アスペクト比 4:3)
- **コンピュータケーブル ELPKC02 (ミニD-Sub 15pin/ミニD-Sub 15pin用1.8m)**
- **コンピュータケーブル ELPKC09 (ミニD-Sub 15pin/ミニD-Sub 15pin用 3m)**
- **コンピュータケーブル ELPKC10 (ミニD-Sub 15pin/ミニD-Sub 15pin用 20m)**
コンピュータ端子に接続するときに使います。

- **無線LANユニット ELPAP10**
コンピュータから無線LAN接続で投写するときに使います。
- **クイックワイヤレス用USBキー ELPAP09**
本機とWindows搭載のコンピュータを1対1で無線接続して投写するときに使います。
- **パイプ450(450mm) ELPFP13**
- **パイプ700(700mm) ELPFP14**
高天井および化粧天井に取り付けるときに使います。
- **天吊金具 ELPMB23**
天井に取り付けるときに使います。



天井り設置には特別な技術が必要です。詳細はお買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

関連項目

- 「オプション・消耗品一覧」 p.161



消耗品

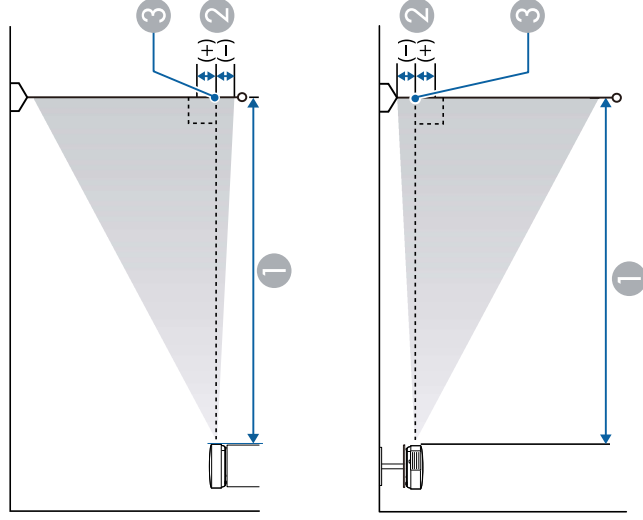
- **交換用ランプ ELPLP88**
使用済みランプと交換します。
- **エアフィルター ELPAF32**
使用済みエアフィルターと交換します。

関連項目

- 「オプション・消耗品一覧」 [p.161](#)



この表に従って、スクリーンからプロジェクターまでの距離を、投写映像の大きさに応じて決めます。



- ① 投写距離 (cm)
- ② レンズ中心からスクリーン下端(天井りの場合はスクリーン上端)までの高さ (cm)
- ③ レンズ中心

SVGA (EB-S31/EB-S04)

4 : 3スクリーンサイズ		①	②
		最短(ワイド)~最長(テレ)	最短(ワイド)
30型	61 × 46	88 - 119	-5
50型	102 × 76	147 - 200	-8

4 : 3スクリーンサイズ		①	②
		最短(ワイド)~最長(テレ)	最短(ワイド)
60型	122 × 91	177 - 240	-10
70型	142 × 107	207 - 280	-12
80型	163 × 122	237 - 321	-13
100型	203 × 152	297 - 401	-17
150型	305 × 229	446 - 603	-25
200型	406 × 305	595 - 805	-33

16 : 9スクリーンサイズ		①	②
		最短(ワイド)~最長(テレ)	最短(ワイド)
28型	62 × 35	89 - 121	1
30型	66 × 37	96 - 130	1
50型	111 × 62	161 - 218	1
60型	133 × 75	193 - 262	2
70型	155 × 87	226 - 306	2
80型	177 × 100	258 - 349	2
100型	221 × 125	323 - 437	3
150型	332 × 187	486 - 657	4
200型	443 × 249	649 - 877	5

XGA (EB-X31)

4 : 3スクリーンサイズ		①	②
		最短(ワイド)~最長(テレ)	最短(ワイド)
30型	61 × 46	89 - 107	-5

XGA (EB-X36)

①		②
4 : 3スクリーンサイズ		最短(ワイド)～最長(テレ)
40型	81 × 61	119 - 143
50型	102 × 76	150 - 180
60型	122 × 91	180 - 217
80型	163 × 122	241 - 290
100型	203 × 152	302 - 363
150型	305 × 229	454 - 546
200型	406 × 305	607 - 729
250型	508 × 381	759 - 912
300型	610 × 457	912 - 1095

①		②
4 : 3スクリーンサイズ		最短(ワイド)～最長(テレ)
30型	61 × 46	84 - 101
40型	81 × 61	113 - 136
50型	102 × 76	142 - 171
60型	122 × 91	171 - 206
80型	163 × 122	229 - 275
100型	203 × 152	287 - 345
150型	305 × 229	432 - 519
200型	406 × 305	577 - 693
250型	508 × 381	722 - 867
300型	610 × 457	867 - 1041

①		②
16 : 9スクリーンサイズ		最短(ワイド)～最長(テレ)
28型	62 × 35	90 - 109
30型	66 × 37	97 - 117
40型	89 × 50	130 - 156
50型	111 × 62	163 - 196
60型	133 × 75	196 - 236
80型	177 × 100	263 - 316
100型	221 × 125	329 - 396
150型	332 × 187	495 - 595
200型	443 × 249	661 - 794
250型	553 × 311	827 - 994
275型	609 × 342	910 - 1093

①		②
16 : 9スクリーンサイズ		最短(ワイド)～最長(テレ)
28型	62 × 35	85 - 103
30型	66 × 37	91 - 110
40型	89 × 50	123 - 148
50型	111 × 62	155 - 186
60型	133 × 75	186 - 224
80型	177 × 100	249 - 300
100型	221 × 125	313 - 376
150型	332 × 187	471 - 566
200型	443 × 249	629 - 755
250型	553 × 311	787 - 945



16 : 9スクリーンサイズ		①	②
		最短(ワイド)~最長 (テレビ)	
275型	609 × 342	866 - 1040	10

WXGA (EB-W31/EB-W420)

4 : 3スクリーンサイズ		①	②
		最短(ワイド)~最長 (テレビ)	
29型	59 × 44	90 - 109	-4
30型	61 × 46	94 - 113	-4
40型	81 × 61	126 - 152	-5
50型	102 × 76	158 - 190	-7
60型	122 × 91	190 - 229	-8
70型	142 × 107	222 - 267	-10
80型	163 × 122	255 - 306	-11
100型	203 × 152	319 - 383	-14
150型	305 × 229	480 - 577	-20
200型	406 × 305	641 - 770	-27
280型	569 × 427	898 - 1079	-38

16 : 9スクリーンサイズ		①	②
		最短(ワイド)~最長 (テレビ)	
32型	71 × 40	91 - 109	-2
35型	77 × 44	99 - 120	-2
40型	89 × 50	114 - 137	-2
50型	111 × 62	143 - 172	-3

16 : 9スクリーンサイズ		①	②
		最短(ワイド)~最長 (テレビ)	
60型	133 × 75	172 - 208	-3
70型	155 × 87	202 - 243	-4
80型	177 × 100	231 - 278	-4
100型	221 × 125	289 - 348	-5
150型	332 × 187	435 - 523	-8
200型	443 × 249	582 - 699	-11
310型	686 × 386	903 - 1084	-17

16 : 10スクリーンサイズ		①	②
		最短(ワイド)~最長 (テレビ)	
33型	71 × 44	91 - 110	-4
35型	75 × 47	97 - 117	-4
40型	86 × 54	111 - 134	-5
50型	108 × 67	139 - 168	-6
60型	129 × 81	168 - 202	-7
80型	172 × 108	225 - 270	-10
100型	215 × 135	281 - 338	-12
150型	323 × 202	424 - 509	-18
200型	431 × 269	566 - 680	-24
320型	689 × 431	907 - 1089	-39



WUXGA(EB-U32)

4 : 3スクリーンサイズ		①	②
		最短(ワイド)~最長(テレ)	
27型	55 × 41	89 - 109	-4
30型	61 × 46	99 - 121	-4
40型	81 × 61	133 - 163	-6
50型	102 × 76	168 - 205	-7
60型	122 × 91	202 - 246	-8
70型	142 × 107	236 - 288	-10
80型	163 × 122	270 - 329	-11
100型	203 × 152	339 - 412	-14
150型	305 × 229	509 - 620	-21
200型	406 × 305	680 - 828	-28
260型	528 × 396	885 - 1078	-36

16 : 9スクリーンサイズ		①	②
		最短(ワイド)~最長(テレ)	
30型	66 × 37	90 - 110	-2
35型	77 × 44	105 - 129	-2
40型	89 × 50	121 - 148	-2
50型	111 × 62	152 - 185	-3
60型	133 × 75	183 - 223	-3
70型	155 × 87	214 - 261	-4
80型	177 × 100	245 - 299	-5
100型	221 × 125	307 - 374	-6
150型	332 × 187	462 - 563	-8

16 : 9スクリーンサイズ		①	②
		最短(ワイド)~最長(テレ)	
200型	443 × 249	617 - 752	-11
290型	642 × 361	897 - 1091	-16

16 : 10スクリーンサイズ		①	②
		最短(ワイド)~最長(テレ)	
30型	65 × 40	87 - 107	-4
35型	75 × 47	102 - 125	-4
40型	86 × 54	118 - 144	-5
50型	108 × 67	148 - 180	-6
60型	129 × 81	178 - 217	-7
80型	172 × 108	238 - 291	-10
100型	215 × 135	299 - 364	-12
150型	323 × 202	450 - 548	-18
200型	431 × 269	601 - 731	-24
300型	646 × 404	902 - 1098	-37

関連項目

- 「付録」 p.160

映像信号ごとのリフレッシュレートと解像度を示します。

コンピューター映像(アナログRGB)

EB-U32/EB-W31/EB-X36/EB-X31/EB-W420

信号	リフレッシュレート(Hz)	解像度(ドット)
VGA	60/72/75/85	640 × 480
SVGA	60/72/75/85	800 × 600
XGA	60/70/75/85	1024 × 768
WXGA	60	1280 × 768
	60	1366 × 768
	60/75/85	1280 × 800
WXGA+	60/75/85	1440 × 900
WXGA++	60	1600 × 900
SXGA	70/75/85	1152 × 864
	60/75/85	1280 × 960
	60/75/85	1280 × 1024
SXGA+	60/75	1400 × 1050
WSXGA+ *	60	1680 × 1050
UXGA	60	1600 × 1200
WUXGA **	60	1920 × 1200

* [映像]メニューの[入力解像度]で[ワイド]を選択しているときのみ
(EB-U32/EB-W31/EB-W420)

** EB-U32のみ

EB-S31/EB-S04

信号	リフレッシュレート(Hz)	解像度(ドット)
VGA	60/72/75/85	640 × 480

信号	リフレッシュレート(Hz)	解像度(ドット)
SVGA	60/72/75/85	800 × 600
XGA	60/70/75/85	1024 × 768
WXGA	60	1280 × 768
	60	1366 × 768
	60/75	1280 × 800
WXGA+	60	1440 × 900
SXGA	70/75	1152 × 864
	60	1280 × 960
	60	1280 × 1024
SXGA+	60	1400 × 1050

上記以外の信号が入力された場合でも、映像を投写することができます。ただし、機能が制限されることがあります。

コンポーネントビデオ

信号	リフレッシュレート(Hz)	解像度(ドット)
SDTV (480i/480p)	60	720 × 480
SDTV (576i/576p)	50	720 × 576
HDTV (720p)	50/60	1280 × 720
HDTV (1080i)	50/60	1920 × 1080

コンポジットビデオ

信号	リフレッシュレート(Hz)	解像度(ドット)
TV (NTSC)	60	720 × 480
TV (SECAM)	50	720 × 576
TV (PAL)	50/60	720 × 576



HDMI入力

信号	リフレッシュレート(Hz)	解像度(ドット)
VGA	60	640 × 480
SVGA	60	800 × 600
XGA	60	1024 × 768
WXGA	60	1280 × 800
	60	1366 × 768
WXGA+	60	1440 × 900
	60	1600 × 900
UXGA *	60	1600 × 1200
WSXGA+ **	60	1680 × 1050
WUXGA ***	60	1920 × 1200
SXGA	60	1280 × 960
	60	1280 × 1024
SXGA+	60	1400 × 1050
	60	720 × 480
SDTV (480i/480p)	60	720 × 576
SDTV (576i/576p)	50	1280 × 720
HDTV (720p)	50/60	1920 × 1080
HDTV (1080i)	50/60	1920 × 1080
HDTV (1080p)	24/30/50/60	1920 × 1080

* EB-U32/EB-W31/EB-X36/EB-X31/EB-W420のみ

** EB-U32/EB-W31/EB-W420のみ

*** EB-U32のみ

MHL入力(EB-U32/EB-W31)

信号	リフレッシュレート(Hz)	解像度(ドット)
VGA	60	640 × 480
SDTV (480i/480p)	60	720 × 480
SDTV (576i/576p)	50	720 × 576
HDTV (720p)	50/60	1280 × 720
HDTV (1080i)	50/60	1920 × 1080
HDTV (1080p)	24/30	1920 × 1080

関連項目

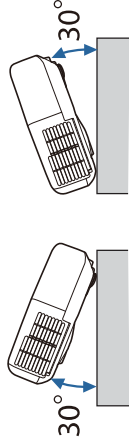
- 「付録」 p.160

商品名	EB-U32/EB-W31/EB-X36/EB-X31/EB-S31/EB-W420/EB-S04
外形サイズ	EB-W31/EB-X36/EB-X31/EB-S31/EB-W420/EB-S04 : 幅297 × 高さ77 × 奥行き234 mm (突起部を含む) EB-U32 : 幅297 × 高さ77 × 奥行き244 mm (突起部を含む)
液晶パネルサイズ	EB-X31/EB-S31/EB-S04 : 0.55" EB-X36 : 0.63" EB-W31/EB-W420 : 0.59" EB-U32 : 0.67"
表示方式	ポリシリコンTFT アクティブマトリクス
画素数	EB-S31/EB-S04 : 480,000個 SVGGA (横800 × 縦600ドット) × 3 EB-X36/EB-X31 : 786,432個 XGA (横1024 × 縦768ドット) × 3 EB-W31/EB-W420 : 1,024,000個 WXGA (横1280 × 縦800ドット) × 3 EB-U32 : 2,304,000個 WUXGA (横1920 × 縦1200ドット) × 3
フォーカス調整	手動

ズーム調整	EB-S31/EB-S04 : 1.0 - 1.35 (デジタル) EB-U32/EB-W31/EB-X36/EB-X31/EB-W420 : 1 - 1.2
ランプ	UHEランプ定格200 W 型番 : ELP88
ランプ寿命	<ul style="list-style-type: none"> ● 節電メニューの明るさ切替が高の場合 : 約5,000 時間 ● 節電メニューの明るさ切替が低の場合 : 約10,000 時間
音声最大出力	EB-W420/EB-S04 : 1W EB-U32/EB-W31/EB-X36/EB-X31/EB-S31 : 2W
スピーカー	1個
電源	100-240V AC±10% 50/60Hz 2.9 - 1.3 A
消費電力	100-120V 工 リア 定格消費電力 : 291 W 待機時消費電力(通信オン) : 2.3 W 待機時消費電力(通信オフ) : 0.2 W
	220-240V 工 リア 定格消費電力 : 277 W 待機時消費電力(通信オン) : 2.4 W 待機時消費電力(通信オフ) : 0.26 W
	動作高度 標高 0~3,000 m
動作温度範囲	+5~+35°C (結露しないこと)(標高 0~2,286m) +5~+30°C (結露しないこと)(標高 2,287~3,000 m)
保存温度範囲	-10~+60°C(結露しないこと)
質量	EB-W31/EB-X36/EB-X31/EB-S31/EB-W420/EB-S04 : 約2.4 kg EB-U32 : 約2.6 kg



傾斜角度



30°以上傾けてお使いになると、故障や事故の原因となります。

関連項目

- 「付録」 p.160
- 「接続端子」 p.170



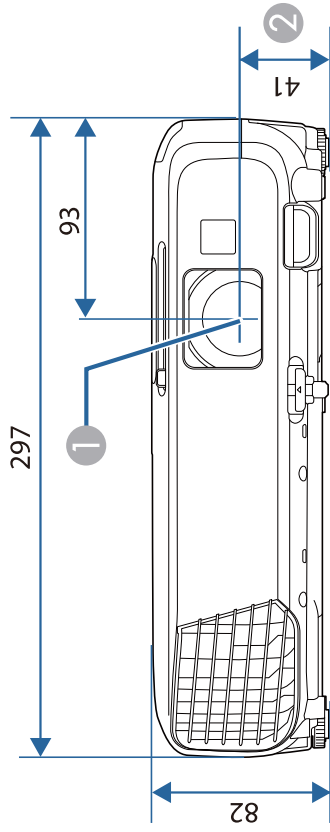
- USB-A端子とUSB-B端子はUSB2.0に対応しています。ただし、USB対応機器すべての動作を保証するものではありません。
- USB-B端子はUSB1.1には対応していません。

関連項目

- 「本機仕様」 p.169

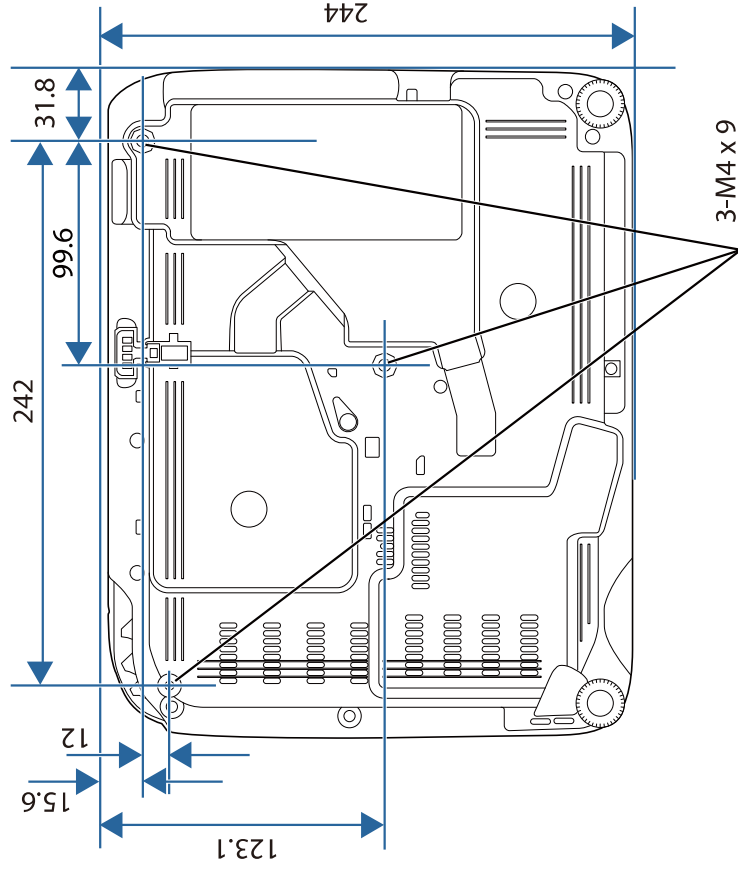
接続端子

コンピュータ端子	1系統	ミニD-Sub 15pin(メス)
ビデオ端子	1系統	RCAピンジャック
S-ビデオ端子 (EB-W31/EB-X36/EB-X31/ EB-S31/EB-W420/EB-S04)	1個	ミニDIN 4pin
音声入力端子	1系統	RCAピンジャック×2(L-R)
HDMI 端子 (EB-X36/EB-X31/EB-S31/ EB-W420/EB-S04)	1個	HDMI(音声はPCM(このみ対応))
HDMI/MHL 端子 (EB-W31)		
HDMI1、HDMI2/MHL 端子 (EB-U32)		
USB-A 端子	1系統	USBコネクタ(Aタイプ)
USB-B 端子	1系統	USBコネクタ(Bタイプ)

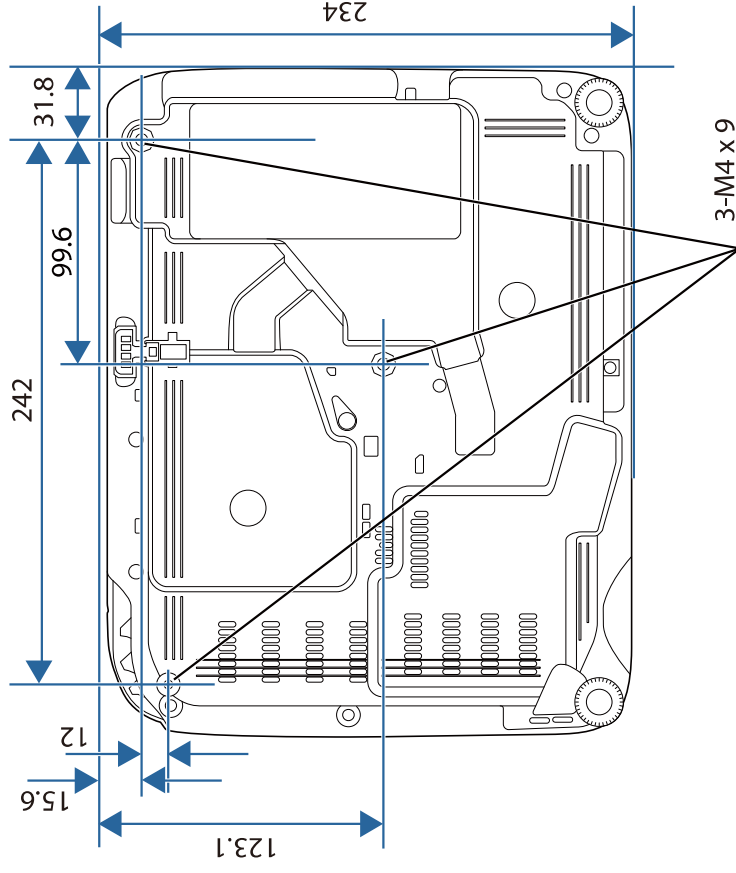


- ① レンズ中心
- ② レンズ中心から天吊り固定部までの寸法

EB-U32



EB-W31/EB-X36/EB-X31/EB-S31/EB-W420/EB-S04



単位：mm

関連項目

- 「付録」 p.160



USBディスプレイは以下の条件を満たすコンピューターで使用できます。



条件	Windows	Mac
OS	Windows 2000 (Service Pack 4 のみ)	OS X
	Windows XP	<ul style="list-style-type: none"> Mac OS X 10.5.x (32ビット) Mac OS X 10.6.x (32/64ビット) OS X 10.7.x (32/64ビット) OS X 10.8.x (64ビット) OS X 10.9.x (64ビット) OS X 10.10.x (64ビット)
	<ul style="list-style-type: none"> Professional (32ビット) Home Edition (32ビット) Tablet PC Edition (32ビット) 	
	Windows Vista	
	<ul style="list-style-type: none"> Ultimate (32ビット) Enterprise (32ビット) Business (32ビット) Home Premium (32ビット) Home Basic (32ビット) 	
	Windows 7	
	<ul style="list-style-type: none"> Ultimate (32/64ビット) Enterprise (32/64ビット) Professional (32/64ビット) Home Premium (32/64ビット) Home Basic (32ビット) Starter (32ビット) 	
	Windows 8	
	<ul style="list-style-type: none"> Windows 8 (32/64ビット) Windows 8 Pro (32/64ビット) Windows 8 Enterprise (32/64ビット) 	










条件	Windows	Mac
	Windows 8.1 <ul style="list-style-type: none"> Windows 8.1 (32/64ビット) Windows 8.1 Pro (32/64ビット) Windows 8.1 Enterprise (32/64ビット) 	
CPU	Mobile Pentium III 1.2 GHz以上 (推奨：Pentium M 1.6 GHz以上)	Power PC G4 1 GHz以上 (推奨：Core Duo 1.83 GHz以上)
メモリー容量	256 MB以上 (推奨：512 MB以上)	512 MB以上
ハードディスク空き容量	20 MB以上	20 MB以上
ディスプレイ	640 × 480から1920 × 1200までの解像度 16ビットカラー以上	640 × 480から1920 × 1200までの解像度 16ビットカラー以上

関連項目

- 「付録」 p.160

製品上にシンボルマークが表示されている場合は、それぞれ以下の意味を持っていきます。

No.	シンボルマーク	対応規格	説明
①		IEC60417 No.5007	電源ON 電源への接続を示す。
②		IEC60417 No.5008	電源OFF 電源からの切り離しを示す。
③		IEC60417 No.5009	スタンバイ 機器・装置の一部だけを通電状態にし、機器・装置を待機状態にするためのスイッチまたはその位置を示す。
④		ISO7000 No.0434B, IEC3864- B3.1	注意 製品取扱時の全般的な注意を示す。
⑤		IEC60417 No.5041	注意(高温) 高温の可能性があり、不注意に触れない方がよい箇所であることを示す。
⑥		IEC60417 No.6042 ISO3864- B3.6	注意(感電危険) 感電(電撃)の危険性がある機器・装置であることを示す。
⑦		IEC60417 No.5957	屋内専用 屋内使用専用を目的とする電気機器・装置であることを表す。

No.	シンボルマーク	対応規格	説明
⑧		IEC60417 No.5926	直流電源コネクタ極性 直流電源を接続してもよい機器のプラスおよびマイナス電極の接続を示す。
⑨		—	No.8と同じ
⑩		IEC60417 No.5001B	電池(一般) 電池を電源とする機器・装置に使用する。電池装着部分の力ハーまたは接続端子を示す。
⑪		IEC60417 No.5002	電池の向き 電池ケース本体および電池ケース内での向きを示す。
⑫		—	No.11と同じ
⑬		IEC60417 No.5019	保護接地 障害発生時の電撃(感電)保護用外部導体への接続端子または保護接地極の端子であることを示す。
⑭		IEC60417 No.5017	アース No.13の使用が明示的に要請されない場合の接地(アース)端子であることを示す。
⑮		IEC60417 No.5032	交流 交流専用の機器・装置であり、交流に対応する端子であることを示す。
⑯		IEC60417 No.5031	直流 直流専用の機器・装置であり、直流に対応する端子であることを示す。



No.	シンボルマーク	対応規格	説明
17		IEC60417 No.5172	クラスⅡ機器 JIS C 9335-1/JIS C 8105-1でクラスⅡ機器と規定した安全性要求事項に適合する機器・装置であることを示す。
18		ISO 3864	一般的な禁止 特定しない一般的な禁止通告を示す。
19		ISO 3864	接触禁止 機器の特定の場所に触れることによって傷害が起こる可能性がある場合の禁止通告を示す。
20		—	プロジェクター動作中の投写レンズ覗きこみ禁止を示す。
21		—	プロジェクターの上に物を置いてはならないことを示す。
22		ISO3864 IEC60825-1	注意(レーザー放射) 製品上に注意が必要なレベルのレーザー放射部があることを示す。
23		ISO 3864	分解禁止 機器を分解することで感電などの傷害が起こる可能性がある場合の禁止通告を示す。

関連項目

- 「付録」 p.160

本書で使用している用語で、本文中に説明がないものや難しいものを簡単に説明します。詳細は市販の書籍などでご確認ください。

AMX Device Discovery	AMX Device Discoveryとは、AMX社のコントロールシステムとその対象機器の構成を容易にする、AMX社の提唱する技術です。 エプソンでは、その技術のプロトコルを導入して、そのプロトコル機能を有効(ON)にできる設定を用意しました。 詳細に関しては、AMX社のWebサイトを参照してください。 URL http://www.amx.com/
アスペクト比	画面の横と縦の比率をいいます。 横：縦の比率が16：9の、HDTVなどの画面をワイド画面と いいます。
コンポーネントビデオ	SDTVや、一般的なコンピュータのディスプレイのアスペクト比は4：3です。
コンポジットビデオ	映像信号の輝度信号や色信号を、1本のケーブルで伝送する方式です。
コントラスト	色の明暗の差を強くしたり弱くしたりすることにより、文字や絵がハッキリ見えたり、ソフトに見えたりすることです。この調整をコントラストの調整とといいます。
DHCP	Dynamic Host Configuration Protocolの略で、ネットワークに接続する機器に、IPアドレスを自動的に割り当てるプロトコルのことです。
ゲートウェイアドレス	サブネットマスクによって分割したネットワーク(サブネット)を超えて通信するためのサーバー(ルーター)のことで

HDCP	High-bandwidth Digital Content Protectionの略です。 DVIやHDMI端子を経由して送受信するデジタル信号を暗号化し、不正なコピーを防止する著作権保護技術です。 本機のHDMI端子はHDCPに対応しているため、HDCP技術で保護されたデジタル映像を投写できます。 ただし、HDCPの規格変更等が行われたときは、変更後の規格で保護されたデジタル映像を投写できなくなる場合があります。
HDTV	High-Definition Televisionの略で、次の条件を満たす高精細なシステムに適用されます。 <ul style="list-style-type: none"> 垂直解像度720p、1080i以上(pはプログレッシブ走査、iはインターレース走査) 画面のアスペクト比は16:9
インフラストラクチャーモード	無線LANの通信方式の一つで、各機器がアクセスポイントを経由して通信を行います。
インターレース	1つの画面を作り出す情報を上から下へ1つ飛ばしに伝送します。 1フレームの表示が1ラインおきとなるため、ちらつき(フリッカー)が出やすくなります。
IPアドレス	ネットワークに接続されたコンピュータを識別するための数字のことです。
MHL	Mobile High-definition Linkの略で、スマートフォンやタブレット端末などの携帯機器向けの接続インターフェース規格です。 画像データを圧縮することなく高速、高品質で伝送することができ、接続された機器の充電も可能です。
プログレッシブ	1つの画面を作り出す情報を一度で映し出して1フレーム分の映像を表示します。 そのため走査線の本数が同じでもインターレースと比べて時間あたりの情報量が2倍になるためちらつきが少ない映像になります。



リフレッシュレート	ディスプレイの発光体は、その明るさと色をごく短時間保持します。 そのため発光体をリフレッシュするために1秒間に何度も画像を走査しなければなりません。 その速度をリフレッシュレートと呼び、ヘルツ(Hz)で表します。
SDTV	Standard Definition Televisionの略で、HDTVの条件を満たさない標準テレビ放送のことです。
SNMP	Simple Network Management Protocolの略で、TCP/IPネットワークにおいてルーターやコンピュータなどネットワークに接続された通信機器をネットワーク経由で監視・制御するためのプロトコルです。
sRGB	各画像装置が表現する色をコンピュータのオペレーティングシステム(OS)やインターネットで簡単に扱うために規定された、色空間に関する国際標準です。接続している機器にsRGBモードがある場合、本機と接続機器の両方もsRGBに設定します。
SSID	SSIDは、無線LANの環境で相手と接続するための識別データです。SSIDが一致している機器同士で無線通信できま
サブネットワーク	す。
SVGA	IPアドレスから、分割したネットワーク(サブネット)のネットワークアドレスに使用するビット数を定義する数値のことです。
SXGA	画面サイズの規格で、横800ドット×縦600ドットのことを呼びます。
同期	画面サイズの規格で、横1,280ドット×縦1,024ドットのことを呼びます。 コンピュータから出力される信号は、ある決まった周波数で出力されます。 その周波数にプロジェクターの周波数を合わせないと、きれいな映像になりません。 信号の位相(山のずれ)を合わせると「同期を合わせる」といいます。 同期が合っていないと映像にちらつき、ぼやけ、横方向のノイズが出ます。

トラッキング	コンピュータから出力される信号は、ある決まった周波数で出力されます。 その周波数にプロジェクターの周波数を合わせないと、きれいな映像になりません。 信号の周波数(山の数)を合わせると「トラッキングを合わせる」といいます。 トラッキングが合っていないと映像に幅広の縦の縞模様が出ます。
トラップIPアドレス	SNMPで異常を通知する場合の、通知先のコンピュータのIPアドレスのことです。
VGA	画面サイズの規格で、横640ドット×縦480ドットのことを呼びます。
XGA	画面サイズの規格で、横1,024ドット×縦768ドットのことを呼びます。
WXGA	画面サイズの規格で、横1,280ドット×縦768ドットのことを呼びます。
WUXGA	画面サイズの規格で、横1,920ドット×縦1,200ドットのことを呼びます。

関連項目

- 「付録」 [p.160](#)

本機をお使いの際の注意事項については、以下の項目をご確認ください。

関連項目

- 「付録」 [p.160](#)
- 「使用限定について」 [p.177](#)
- 「本機を日本国外へ持ち出す場合の注意」 [p.177](#)
- 「瞬低（瞬時電圧低下）基準について」 [p.177](#)
- 「JIS C 61000-3-2適合品」 [p.177](#)
- 「表記について」 [p.178](#)
- 「商標について」 [p.178](#)
- 「ご注意」 [p.179](#)
- 「著作権について」 [p.179](#)

使用限定について

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、極めて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認のうえ、ご判断ください。

関連項目

- 「一般のご注意」 [p.177](#)

本機を日本国外へ持ち出す場合の注意

電源コードは販売国の電源仕様に基づき同梱されています。本機を販売国以外でお使いになるときは、事前に使用する国の電源電圧や、コンセントの形状を確認し、その国の規格に適合した電源コードを現地にしてお求めください。

関連項目

- 「一般のご注意」 [p.177](#)

瞬低（瞬時電圧低下）基準について

本装置は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることはありません。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお勧めします。

関連項目

- 「一般のご注意」 [p.177](#)

JIS C 61000-3-2適合品

本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」に適合しています。

関連項目

- 「一般のご注意」 [p.177](#)

表記について

- Microsoft® Windows® 2000 operating system
 - Microsoft® Windows® XP operating system
 - Microsoft® Windows Vista® operating system
 - Microsoft® Windows® 7 operating system
 - Microsoft® Windows® 8 operating system
 - Microsoft® Windows® 8.1 operating system
- 本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、「Windows 2000」、「Windows XP」、「Windows Vista」、「Windows 7」、「Windows 8」、「Windows 8.1」と表記しています。また、Windows 2000、Windows XP、Windows Vista、Windows 7、Windows 8、Windows 8.1を総称する場合は「Windows」と表記しています。

- Mac OS X 10.3.x
- Mac OS X 10.4.x
- Mac OS X 10.5.x
- Mac OS X 10.6.x
- OS X 10.7.x
- OS X 10.8.x
- OS X 10.9.x
- OS X 10.10.x

本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、「Mac OS X 10.3.x」、「Mac OS X 10.4.x」、「Mac OS X 10.5.x」、「Mac OS X 10.6.x」、「OS X 10.7.x」、「OS X 10.8.x」、「OS X 10.9.x」、「OS X 10.10.x」と表記しています。また、これらを総称する場合は「OS X」と表記します。

関連項目

- 「一般のご注意」 p.177

商標について

「EPSON」はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。「EXCEED YOUR VISION」、「ELPLP」はセイコーエプソン株式会社の登録商標または商標です。

Mac、Mac OS、OS Xは、Apple Inc.の商標です。

Microsoft、Windows、Windows Vista、PowerPoint、Windows ロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標、または登録商標です。

WPA™、WPA2™はWi-Fi Allianceの登録商標です。

App Storeは、Apple Inc.のサービスマークです。

Google playは、Google Inc.の商標です。

HDMIとHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標、または登録商標です。 

MHLとMHLのロゴ、及びMobile High-Definition Linkは、米国およびその他の国におけるMHL、LLCの商標または登録商標です。

QRコードは株式会社デンソーウェアの登録商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

関連項目

- 「一般のご注意」 p.177



ご注意

2015.4 412878300/412879000JA

関連項目

- (1) 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたですが、万一ご不審な点や誤り、お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
- (4) 運用した結果の影響につきましては、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- (5) 本製品がお客様により不適當に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者(「お問い合わせ先」参照)以外の第三者により、修理、変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (6) エプソン純正品、およびエプソン品質認定品以外のオプション品または消耗品、交換部品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (7) 本書中のイラストや画面図は実際と異なる場合があります。

関連項目

- 「一般のご注意」 [p.177](#)

著作権について

本書の内容は予告なく変更することがあります。

©SEIKO EPSON CORPORATION 2015. All rights reserved.

関連項目

- 「一般のご注意」 [p.177](#)